

2021 年度前期
「教員による学修成果に関する調査」

～調査結果報告～

2021 年 12 月

奈良佐保短期大学 自己点検評価室

2021 年度前期「教員による学修成果に関する調査」

～調査の概要～

1. 調査期間

2021（令和3）年度前期　：　＜教員による学修成果に関する調査A＞
2021年6月21日（月）～2021年7月2日（金）
＜教員による学修成果に関する調査B＞
2021年10月1日（金）～2021年10月29日（金）

2. 調査対象

＜教員による学修成果に関する調査A＞（5件法による教員自己評価）
学生による学修成果に関する調査を実施した全科目、及びこれらの担当教員（代表教員）

＜教員による学修成果に関する調査B＞（学生の回答結果に対する教員考察）
学生による学修成果に関する調査を実施した全科目、及びこれらの担当教員（各科目を担当する全教員）

3. 調査主体

奈良佐保短期大学

4. 調査方法

＜教員による学修成果に関するA＞（5件法による教員自己評価）
学生による学修成果に関する調査と同時期に、教員による学修成果に関する調査Aの調査票を授業担当教員に配付し実施した。

＜教員による学修成果に関するB＞（学生の回答結果に対する教員考察）
学生による学修成果に関する調査の集計結果を授業担当教員へ配付すると同時に「教員による学修成果に関する調査B」についても調査票フォームを配付した。各教員は自身の担当する1授業ごとに、受講学生の回答結果について考察して調査票フォームに入力した。

5. 調査項目（調査票見本）

< 教員による学修成果に関する調査A >（5件法による教員自己評価）

教員による学修成果に関する調査A（年度 期）

- お願い
1. 教員による学修成果に関する調査Aは実施した科目すべてについて回答してください。
 2. 各設問で、該当する数字を選び、横の空欄に「レ印、■」などマークをご記入ください。
 3. _____年 月 日()17時までに、_____ご提出ください。

教員名		
仕分 コード		考察の対象とする 授業科目
自由設定質問【8-2】の設問（実施した場合のみ、ご記入ください。）		

（社会生活に必要な知識と教養を身につけ、社会に貢献できる）

①学生に新しい知識や教養を与えることができたと思えますか。

- 5：そう思う 4：ある程度思う
3：どちらとも言えない 2：あまり思わない
1：全く思わない

（自律の神経に則り自己管理できる）

②欠席した学生に指導をしていますか。

- 5：必ずする 4：できるだけする
3：時々する 2：あまりしない
1：全くしない

③分からない事があったり欠席したりした学生に、対応していますか。

- 5：必ずする 4：できるだけする
3：時々する 2：あまりしない
1：全くしない

④事前学習や課題を1週間で合計どれぐらい課しましたか。

- 5：90分以上 4：60分程度
3：45分程度 2：30分程度
1：15分未満

⑤事後学習や課題を1週間で合計どれぐらい課しましたか。

- 5：90分以上 4：60分程度
3：45分程度 2：30分程度
1：15分未満

（自己と他者を尊重することができる）

⑥勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。

- 5：大いに配慮した 4：ある程度配慮した
3：どちらとも言えない 2：あまり配慮しなかった
1：全く配慮しなかった

（積極的に社会と関わる事ができる）

⑦この授業の内容は社会で活かすことができますか。

- 5：そう思う 4：ある程度思う
3：どちらとも言えない 2：あまり思わない
1：全く思わない

< 教員による学修成果に関する調査B > (学生の回答結果に対する教員考察)

教員による学修成果に関する調査B (年度 期)
学生による学修成果に関する調査についての教員の考察

- お願い 1. この回答書に必要な事項を記入し、データで提出ください。
担当科目すべてに回答をお願いいたします。
(回答欄が足りない場合は項目をコピーして回答してください。)
2. 年 月 日() 17時までに、自己点検評価室へ送信してください。
メールアドレス tenke_n30@narasaho-c.ac.jp

教員氏名: _____

【記入例】集計コード: 132 ←「学修成果に関する調査結果」の左上に記載された集計コードを記入してください。

考察の対象とする授業科目: 情報概論 ←科目名を入力してください

調査結果に対する見解 ←該当科目の調査結果に対する見解を回答してください。

講義形式で毎回テストをするスタイルが主であったが、学生をみると、知識を得るのはもちろんだが、ひとつの事例でディスカッションをしたり、相反する倫理について深く考えたりすることを求めている様子が見られた。授業中も「じっくり考えたい」という意見も聞かれた。「授業展開を遅くしてほしい」という項目の高さはこのためだと思う。既定のカリキュラム、定められた知識の獲得の必要はあるが、時間をとって考えることができる授業展開も考えたい

【1】集計コード:

考察の対象とする授業科目:

調査結果に対する見解

【2】集計コード:

考察の対象とする授業科目:

調査結果に対する見解

【3】集計コード:

考察の対象とする授業科目:

調査結果に対する見解

6. 有効回答率のまとめ

<教員による学修成果に関するA> (5件法による教員自己評価)

	調査対象科目数	有効回答科目数	有効回答率
2021 (R3) 前期	138科目	116科目	84.1%

※「調査対象科目数」は、学生による「学修成果に関する調査」の調査対象科目数（集計ベース）に同じ。

※「有効回答科目数」は、各担当教員から提出のあった回答用紙（仕分ベース）を、集計ベースに変換してカウントした。

<教員による学修成果に関するB> (学生の回答結果に対する教員考察)

	延べ調査対象科目数	延べ有効回答科目数	有効回答率
2021 (R3) 前期	201科目	167科目	83.1%

※「延べ調査対象科目数」は、学生による「学修成果に関する調査」の各調査対象科目（集計ベース）を担当する各教員数の積み上げ（延べ教員数）とした。

※「延べ有効回答科目数」は、各調査対象科目（集計ベース）を担当する各教員から提出のあった調査票フォーム内に考察のある科目数の積み上げ（延べ科目数）とした。

7. 授業担当教員への結果通知方法

本学ウェブサイトへ掲載した。

8. 調査票の設計・印刷、WEB アンケートの実施サポート、回答データの集計、 結果帳票の作成等の委託機関

株式会社 アイピーリサーチ

〒540-0025 大阪府中央区徳井町2-2-2 テツタニビル3F
TEL 06-6944-0977 FAX 06-6944-0979 URL <http://www.ip-r.co.jp/>

(1) 基礎教養科目

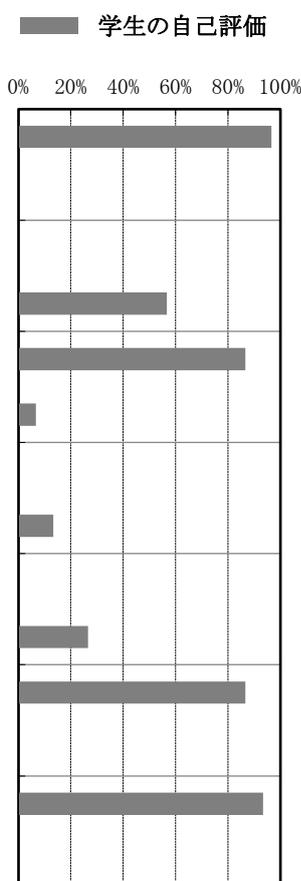
教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
1	基礎ゼミナール I (福祉)	森永 夕美	演習	6
2	基礎ゼミナール I (栄養)	飯田 晃朝	演習	7
3	基礎ゼミナール I (栄養)	紀平 佐保子	演習	8
4	基礎ゼミナール I (栄養)	島村 知歩	演習	9
5	基礎ゼミナール I (BC)	中田 奈月	演習	10
6	基礎ゼミナール I (地域こども)	勝田 麻津子	演習	11
7	基礎ゼミナール I (地域こども)	樹下 堅	演習	12
8	人権と差別	信田 和則	講義	13
9	国語表現法	屋木 瑞穂	講義	14
10	奈良の伝統文化 I	安達 えみ	講義	15
11	奈良の伝統文化 I	島村 知歩	講義	16
12	奈良の伝統文化 I	阪本 小雪	講義	17
13	奈良の伝統文化 I	島村 知歩・阪本 修・ 阪本 小雪・池田 匡志・ 安達 えみ・中尾 将啓	講義	18
14	心理学	勝田 麻津子	講義	19
15	社会学	中田 奈月	講義	20
16	キャリアデザイン	勝田 麻津子	講義	21
17	キャリアデザイン	福鹿 慶子	講義	22
18	キャリアデザイン	屋木 瑞穂	講義	23
19	日本語・日本事情 I	宮川 久美	演習	24
20	日本語 I	宮川 久美	演習	25
21	日本語Ⅲ	宮川 久美	演習	26
22	英語 I	キャンベル早川久美子	演習	27
23	英会話	キャンベル早川久美子	演習	28
24	フランス語 I	浅野 友子	演習	29
25	情報リテラシー	中田 奈月	講義	30
26	情報リテラシー	西村 隆一	講義	31
27	情報リテラシー	中田 奈月	講義	32
28	情報リテラシー	樹下 堅	講義	33
29	情報処理演習Ⅲ	中田 奈月	演習	34

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 紀平 佐保子 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I (栄養) 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001b 授業形態 : 演習 受講者数 : 34名 回答者数 : 30名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	28名	-	2名	-	-	30名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.7%	
			56.7%	40.0%	3.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			56.7%	30.0%	6.7%	-	6.7%	-	56.7%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	86.7%	
			40.0%	46.7%	6.7%	6.7%	-	-	6.7%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
3.3%	3.3%	6.7%			20.0%	66.7%	-	13.3%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			3.3%	13.3%	10.0%	33.3%	40.0%	-	26.6%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	86.7%	
			40.0%	46.7%	13.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	93.4%	
			56.7%	36.7%	6.7%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

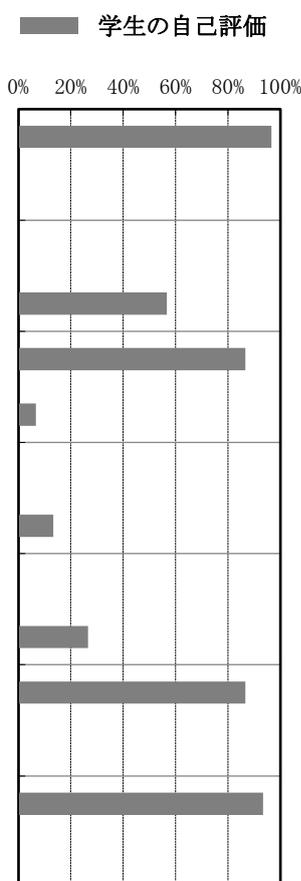
複数教員担当科目であり、主に基礎学力強化(計算・国語)の回で問題出題と解答解説を担当した。栄養士を目指すうえで、計算力向上は必須であることを説明し、反復的に問題解答を行ったことで、調査結果では「役に立った」旨の解答が多くみられた。反面で、計算力の重要性や反復学習の効果を理解しながらも、大半の学生が十分な事前事後学修を実施していないことが確認された。今後の課題として、学生が自発的に練習問題に取り組むよう、教材の工夫を行い、自宅学習の充実に繋げたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 知歩 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナール I (栄養) **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8001b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 34名 **回答者数** : 30名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	28名	-	2名	-	-	30名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.7%	
			56.7%	40.0%	3.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			56.7%	30.0%	6.7%	-	6.7%	-	56.7%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	86.7%	
			40.0%	46.7%	6.7%	6.7%	-	-	6.7%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	3.3%	3.3%	6.7%	20.0%	66.7%	-	13.3%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	3.3%	13.3%	10.0%	33.3%	40.0%	-	26.6%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
40.0%	46.7%				13.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	93.4%	
			56.7%	36.7%	6.7%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

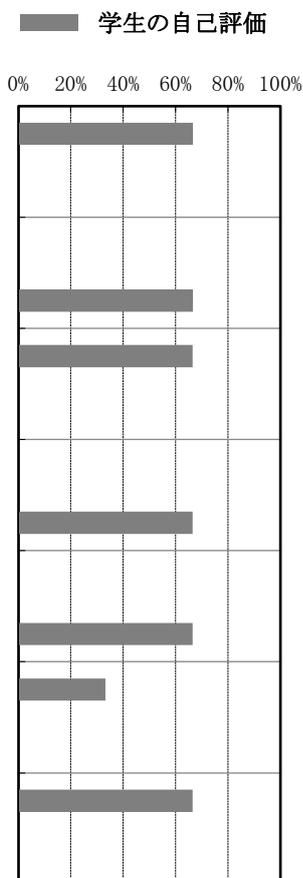
食物栄養の学習の中で欠かせない基礎学力（特に数学）の確認、力をアップするための授業を展開しながら、防災に向けた取り組みを行い、後期に開催される地域防災避難訓練にも、学生の学びの成果や実際に学生が体験し、共有すべき内容を提案できるように展開していった。数学（計算）は素養テストの結果をもとに習熟度別に問題を変えて取り組ませた。また、苦手な学生にとっては時間内だけで到達目標まで達成できず、一人では考えられない学生もいるため、別時間に補習時間も設けたが参加が少なかった。予習や復習に抵抗なく取り組める工夫をし、学生が前向きに取り組めるように考えていきたい。防災の取組は、実生活における課題や就職後も想定した上で課題を投げかけ、自分のこととして考えてもらうように説明をしたつもりだが、想像力には個人差があるため、映像や資料などを使用し、より具体的に考えていけるようにしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I (BC) 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001c 授業形態 : 演習 受講者数 : 9名 回答者数 : 3名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	3名	-	-	-	-	-	3名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	66.7%	
			66.7%	-	33.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合 66.7%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	66.6%	
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合 66.6%	
	5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合 66.6%	
	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	33.3%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	66.6%	
			33.3%	33.3%	33.3%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

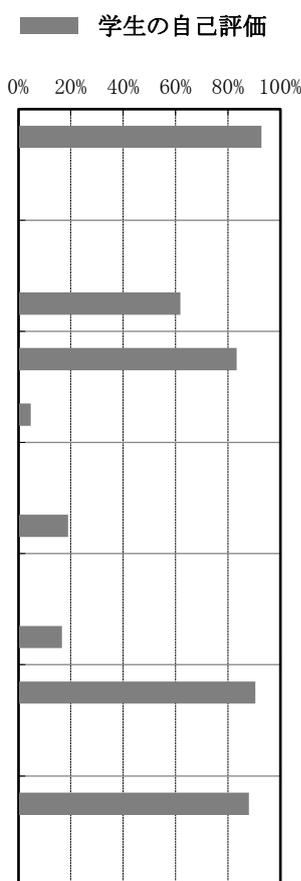
学生にとってはきつい内容だったかもしれないが、その分、学生の伸びがみられる授業になりました。大学設置基準にあるとおり課題に取り組んでいた点は評価できます。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 勝田 麻津子 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I (地域こども) 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001de 授業形態 : 演習 受講者数 : 68名 回答者数 : 42名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	41名	-	1名	-	-	-	-	-	42名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	92.8%	
			57.1%	35.7%	7.1%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			61.9%	11.9%	7.1%	2.4%	16.7%	-	61.9%	
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	83.4%	
			28.6%	54.8%	11.9%	2.4%	2.4%	-	4.8%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
7.1%	2.4%	9.5%			23.8%	54.8%	2.4%	19.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			9.5%	2.4%	4.8%	26.2%	57.1%	-	16.7%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.5%	
			42.9%	47.6%	9.5%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.1%	
			54.8%	33.3%	11.9%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

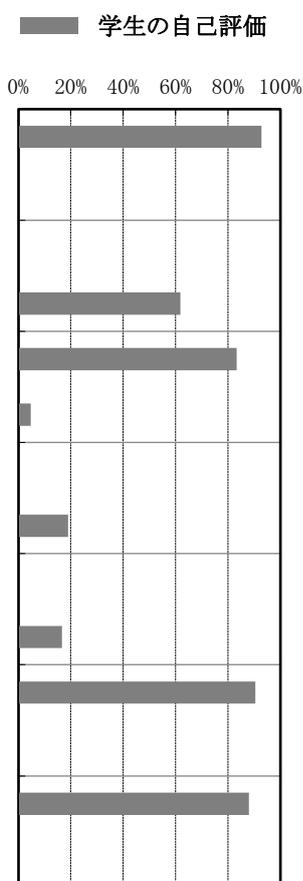
基礎ゼミナール I II は、学科推奨科目として全学生が履修し、保育者・教育者として基礎的素養を磨くことを目的とする。前期は保育所・幼稚園・児童福祉施設への訪問を予定していたが、コロナ禍の現状で実現できず、後期に予定したプレゼンテーションスキルを磨くシラバス内容へと変更し、第1回のプレゼンテーションコンテストとした。授業目的や評価基準を毎回しっかりと伝え、学習成果をはかっていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 樹下 堅 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナール I (地域こども) 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8001de 授業形態 : 演習 受講者数 : 68名 回答者数 : 42名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	41名	-	1名	-	-	-	-	-	42名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			回 答 選 択 肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	92.8%	
			57.1%	35.7%	7.1%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			61.9%	11.9%	7.1%	2.4%	16.7%	-	61.9%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	83.4%	
			28.6%	54.8%	11.9%	2.4%	2.4%	-	4.8%	
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれくらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
		7.1%	2.4%	9.5%	23.8%	54.8%	2.4%	19.0%		
	5 事後学習や課題を1週間で 合計どれくらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
			9.5%	2.4%	4.8%	26.2%	57.1%	-	16.7%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	90.5%	
			42.9%	47.6%	9.5%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	88.1%	
			54.8%	33.3%	11.9%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

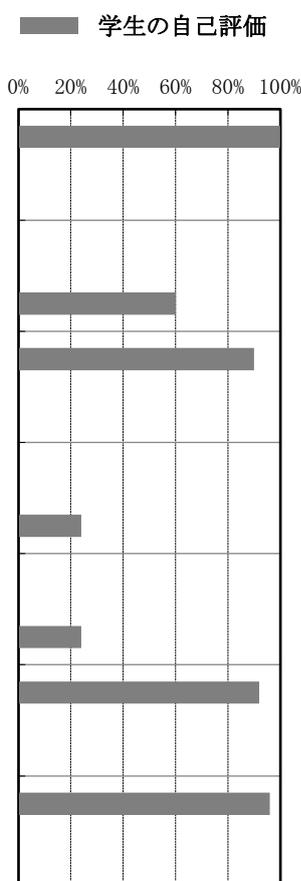
本学独自の科目で3名の教員で指導を行った。自由記述の回答には、「先生が3名いるところがよい」という記述があった。それぞれの教員の得意分野で授業できたことは価値があったと考えている。コロナ禍のため幼稚園、保育園等でのボランティア活動ができなかった。代替として学生によるプレゼンテーションに取り組んだ。本学に入学してお互いのことがよくわからない中、自分の考えていること、好きなことなどを個人個人がプレゼンしたことは、プレゼン能力がアップしただけでなく、お互いのことがよくわかりクラスとしてのまとまりの形成に役立ったと考えている。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 屋木 瑞徳 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : 国語表現法 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8110ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 72名 回答者数 : 50名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	48名	2名	-	-	-	1名	1名	48名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			84.0%	16.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			60.0%	14.0%	10.0%	6.0%	10.0%	-	60.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.0%	
			40.0%	50.0%	10.0%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
4.0%	8.0%	12.0%			48.0%	28.0%	-	24.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
		4.0%	8.0%	12.0%	36.0%	40.0%	-	24.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	92.0%	
			44.0%	48.0%	8.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.0%	
			74.0%	22.0%	4.0%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

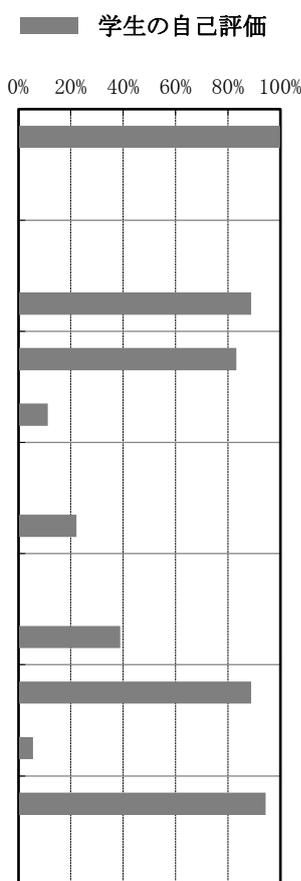
漢字・語彙力を伸ばし、文法・敬語の知識を習得する基礎編、要約文や小論文などを作成する応用編という講義内容であった。基礎編については毎回小テストを実施し、答え合わせをし解説するというスタイルであったが、「基本的なことをはじめから丁寧に学ぶことができた」「毎回小テストで復習出来るのでとても身についた」という意見が見られ、「新しい知識や教養を得ることができた」という評価項目について、5・4の回答が100%という高評価を得ることができた。理解度確認テストにより学習効果を把握することができ、より高い知識の習得につながると思われる。クラスルームで事前に講義資料スライドを配信したが、「授業で使うスライドがわかりやすい」「PDFの作り方がわかりやすくとても良い」という意見がある一方で、事前事後の学修時間が全体平均に比べて低いので、予修復修を促し国語表現のより高い知識やスキルの向上を目指したい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 知歩 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 奈良の伝統文化 I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8113 授業形態 : 講義 受講者数 : 27名 回答者数 : 18名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	17名	1名	-	-	13名	4名	-	1名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			55.6%	44.4%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	88.9%	5.6%	5.6%	-	-	-	88.9%			
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	83.3%	
	22.2%	61.1%	5.6%	5.6%	5.6%	-	11.2%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
11.1%	-	11.1%	33.3%	44.4%	-	22.2%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
22.2%	11.1%	5.6%	38.9%	22.2%	-	38.9%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	88.9%	
			22.2%	66.7%	5.6%	5.6%	-	-	5.6%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.4%	
			50.0%	44.4%	5.6%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

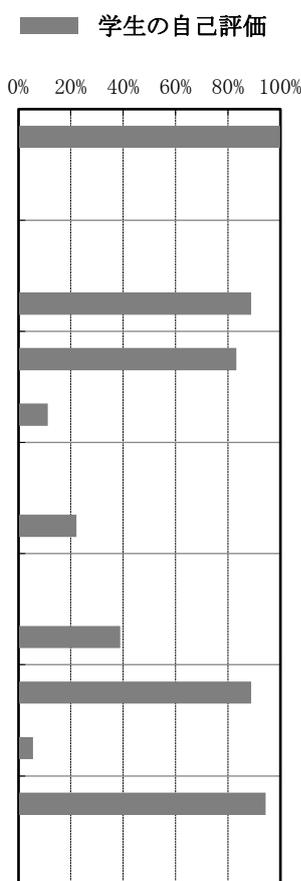
奈良の伝統工芸や食について複数の講師がオムニバス形式で実施し、授業終了時に授業感想をまとめたり、翌週に課題を提出したりするなどして振り返りを行なえるようにしていた。実際の工芸品を見たり触ったり、また製造工程などは動画で見せる、食については実際に調理して食べたりと文字だけの情報だけにならないように担当者が工夫していたが、歴史や工芸品や食に関する専門用語が出てくるため、口頭で説明を聞くだけでは理解ができなかった学生、特に留学生にとっては難しかった部分もあった。留学生については、配慮していたつもりであるが日本語能力の差もあるため、その部分も考慮すべきであった。様々な学科コースの学生が対象になるため、授業初回の方で授業への課題など把握するような機会を設けていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 阪本 小雪 職名 : 非常勤 所属 : 全学
 科目名称 : 奈良の伝統文化 I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8113 授業形態 : 講義 受講者数 : 27名 回答者数 : 18名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	17名	1名	-	-	13名	4名	-	1名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う 55.6%	ある程度思う 44.4%	どちらとも言えない -	あまり思わない -	全く思わない -	無回答 -	100.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回 88.9%	欠席回数1回 5.6%	欠席回数2回 5.6%	欠席回数3回以上 -	分からない -	無回答 -	「欠席回数0回」の割合 88.9%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする 22.2%	できるだけする 61.1%	時々する 5.6%	あまりしない 5.6%	全くしない 5.6%	無回答 -	83.3%	
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上 11.1%	60分程度 -	45分程度 11.1%	30分程度 33.3%	15分未満 44.4%	無回答 -	「45分程度」以上の割合 22.2%	
	5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上 22.2%	60分程度 11.1%	45分程度 5.6%	30分程度 38.9%	15分未満 22.2%	無回答 -	「45分程度」以上の割合 38.9%	
	III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した 22.2%	ある程度貢献した 66.7%	どちらとも言えない 5.6%	あまり貢献しなかった 5.6%	全く貢献しなかった -	無回答 -	88.9%
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う 50.0%	ある程度思う 44.4%	どちらとも言えない 5.6%	あまり思わない -	全く思わない -	無回答 -	94.4%	



調査結果に対する見解

授業時の感想及び調査結果で、「奈良の伝統に関して知らなかったことを知れて良かった」「もっと深く知りたいと興味が湧いた」という声が多くあった。講義を受けて関心を持ち、その後実際に工房見学等に足を運んだという声も聞かれた。伝統工芸の分野に関して、作り手や専門的な見識をもつ立場からのリアルな情報を提供できたことが反映されていると感じる。複数講師で担当している科目のため、座学・体験学習等バリエーションをもって講義を展開できる特性を活かしながら、科目全体としての見通しや狙いを共有し組み立てていくことが課題であると感じる。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 知歩・阪本 修・阪本 小雪・池田 匡志・
安達 えみ・中尾 将啓

職名 : 教授・非常勤 所属 : 全学

科目名称 : 奈良の伝統文化 I

科目群 : 基礎教養科目

授業コード : 8113

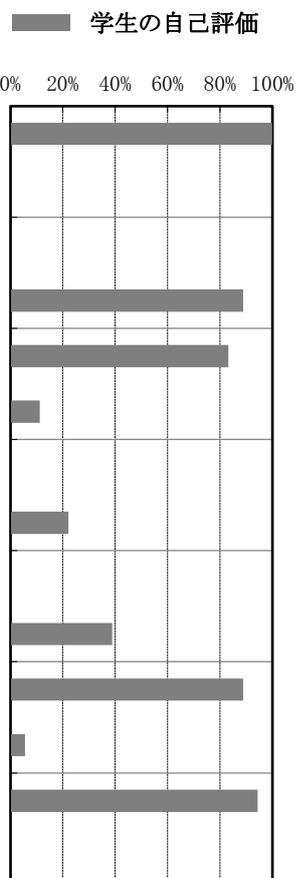
授業形態 : 講義

受講者数 : 27名

回答者数 : 18名

回答者 内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	17名	1名	-	-	13名	4名	-	1名	-	-

学修 成果	評価項目	教員 の 自己 評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			55.6%	44.4%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か らない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			88.9%	5.6%	5.6%	-	-	-	88.9%	
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	83.3%	
			22.2%	61.1%	5.6%	5.6%	5.6%	-	11.2%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
11.1%	-	11.1%			33.3%	44.4%	-	22.2%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
			22.2%	11.1%	5.6%	38.9%	22.2%	-	38.9%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	どちらとも 言えない	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	88.9%	
			22.2%	66.7%	5.6%	5.6%	-	-	5.6%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	どちらとも 言えない	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	94.4%	
			50.0%	44.4%	5.6%	-	-	-	0.0%	



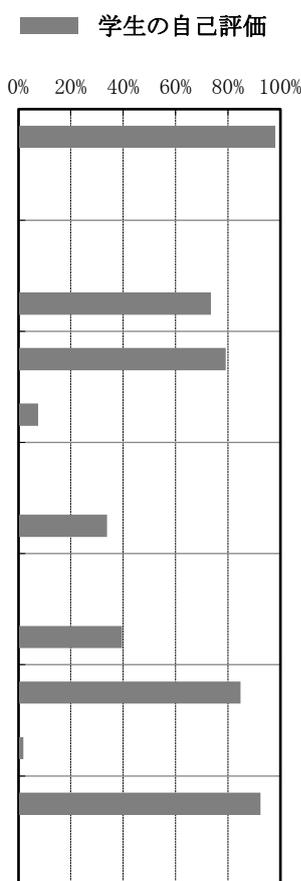
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 勝田 麻津子 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 心理学 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8125 授業形態 : 講義 受講者数 : 71名 回答者数 : 53名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	46名	7名	-	-	22名	24名	7名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.1%	
			60.4%	37.7%	1.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	あまりしない	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			73.6%	11.3%	3.8%	1.9%	9.4%	-	73.6%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけの	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	79.2%	
			37.7%	41.5%	13.2%	5.7%	1.9%	-	7.6%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	11.3%	11.3%	11.3%	32.1%	34.0%	-	33.9%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	15.1%	11.3%	13.2%	28.3%	32.1%	-	39.6%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
43.4%	41.5%				13.2%	1.9%	-	-	1.9%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	92.5%	
			64.2%	28.3%	7.5%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

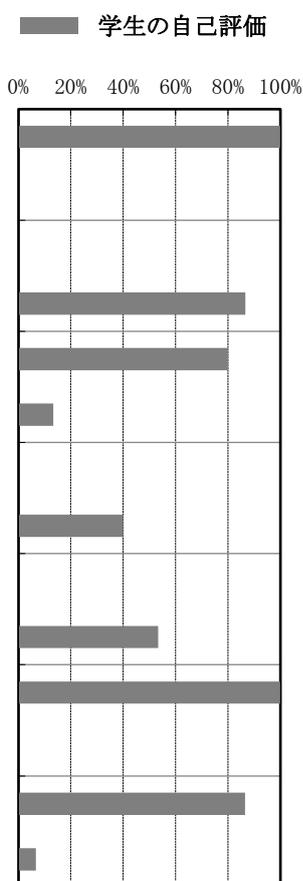
グーグルフォームを活用して理解度を確認しながら授業展開し、事例を多く提示した。一般心理学を扱うため、裾野が広く領域が多岐にわたり、受講学生層も専攻が様々であったので、深く掘り下げるのが難しい部分があり、また詳しく説明するには時間不足の点があった。受講者が70名を超え、双方向授業ができずに講義形式が中心で、ワークをする時間が少なかった反省点があり、今後の改善点としたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 社会学 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8145 授業形態 : 講義 受講者数 : 22名 回答者数 : 15名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	15名	-	-	13名	-	2名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	86.7%	13.3%	-	-	-	-	-	86.7%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	80.0%	
	66.7%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	-	-	13.4%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
20.0%	20.0%	-	46.7%	13.3%	-	-	40.0%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
20.0%	26.7%	6.7%	40.0%	6.7%	-	-	53.4%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			46.7%	53.3%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	86.6%	
			73.3%	13.3%	6.7%	6.7%	-	-	6.7%	



調査結果に対する見解

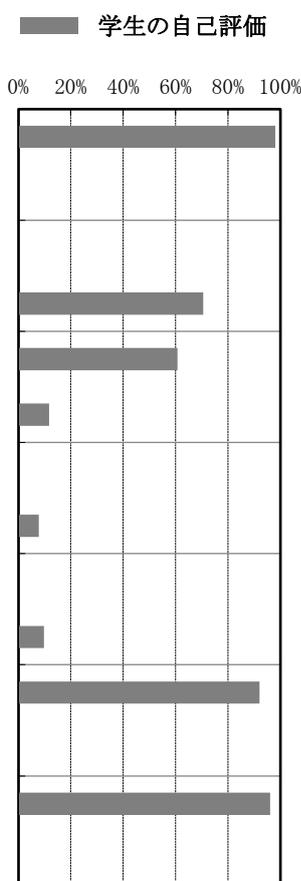
学生全員が授業貢献できる、自信をもって新しい知識や教養を得たといえる、素晴らしい学びになったことが回答から伺えました。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 勝田 麻津子 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : キャリアデザイン 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8190ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 68名 回答者数 : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	51名	-	-	-	-	-	-	-	51名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.1%	
			82.4%	15.7%	2.0%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			70.6%	11.8%	9.8%	2.0%	5.9%	-	70.6%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	60.8%	
			23.5%	37.3%	27.5%	11.8%	-	-	11.8%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
3.9%	3.9%	-			19.6%	72.5%	-	7.8%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
		5.9%	3.9%	-	21.6%	66.7%	2.0%	9.8%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	92.1%	
			52.9%	39.2%	7.8%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.1%	
			80.4%	15.7%	3.9%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

社会人としての基本マナーを習得し、自分自身の職業選択の具体的なイメージがつかめるように現職の方々をゲストティーチャーとしてお願いしたことで、学生が自分の将来像につながった様子であった。今後は、もっと身近な20代の卒業生の先輩から、現場での奮闘の様子をゲスト講師としてお話を聴ける場を検討し、率直な質問や交流につなげていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 福鹿 慶子 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : キャリアデザイン 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8190ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 68名 回答者数 : 51名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	51名	-	-	-	-	-	-	-	51名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	98.1%		
			82.4%	15.7%	2.0%	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か らない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			70.6%	11.8%	9.8%	2.0%	5.9%	-	70.6%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	60.8%		
			23.5%	37.3%	27.5%	11.8%	-	-	11.8%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
3.9%	3.9%	-	19.6%	72.5%	-	7.8%					
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
5.9%	3.9%	-	21.6%	66.7%	2.0%	9.8%					
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	92.1%		
			52.9%	39.2%	7.8%	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	96.1%		
			80.4%	15.7%	3.9%	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

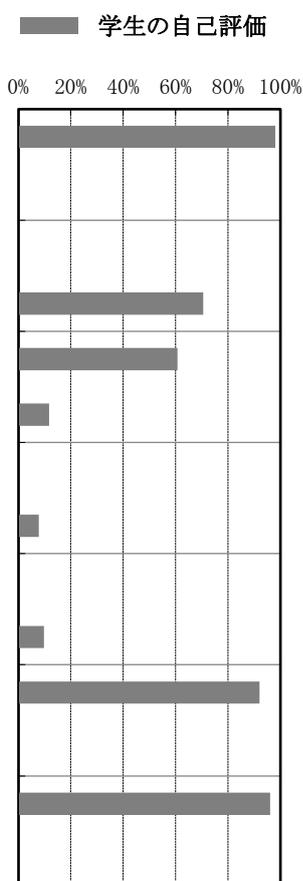
マナーの講座や様々な職種の現場の保育者の講演を聞くことで、より身近に感じることで授業であったと感じる。いろいろな仕事内容をきくことでイメージをもつことができるので今後も、外部講師により講演を続けていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 屋木 瑞徳 **職名** : 講師 **所属** : 全学
科目名称 : キャリアデザイン **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8190ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 68名 **回答者数** : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	51名	-	-	-	-	-	-	-	51名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.1%	
			82.4%	15.7%	2.0%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	70.6%	11.8%	9.8%	2.0%	5.9%	-	70.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	60.8%	
	23.5%	37.3%	27.5%	11.8%	-	-	11.8%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
3.9%	3.9%	-	19.6%	72.5%	-	7.8%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5.9%	3.9%	-	21.6%	66.7%	2.0%	9.8%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	92.1%	
52.9%	39.2%	7.8%	-	-	-	0.0%				
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.1%	
80.4%	15.7%	3.9%	-	-	-	0.0%				



調査結果に対する見解

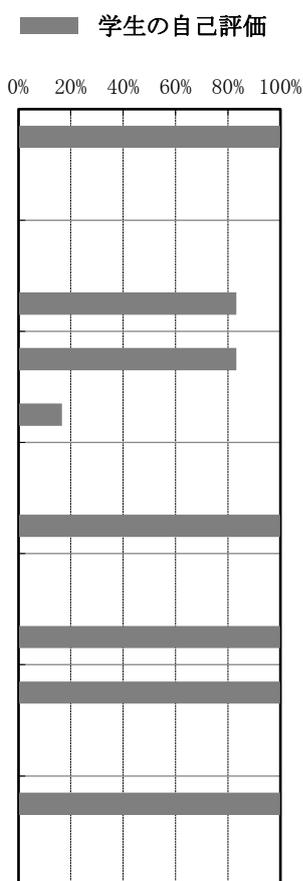
自分の将来のキャリアや進路を思い描くことを目的とした本講義においては、幼稚園や保育所、施設の職員など様々な外部講師を招くというスタイルを導入して授業を展開した。調査結果では、実際に現場の方の話を聞くことができ、自分の保育士としての未来像を思い浮かべる事ができた。「将来どのような保育士になりたいかを考えることが増え、参考になった」などの意見が多数みられ、「新しい知識や教養を得ることができた」という評価項目について、5・4の回答が98.1%という結果を得ることができた。複数教員の専門性に応じたテーマを設定してクラスを分担し、実習に向けて「お礼状の書き方」などの国語表現に関する授業を担当した。「社会で活かそうと思う内容が得られたか」という評価項目については、5・4の回答が98%という結果を得たが、一方で事前事後学修の時間が極端に低く、課題・事後レポートなどにより予修復習を促し、知識やスキルの向上を目指していきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 宮川 久美 職名 : 非常勤 所属 : 全学
 科目名称 : 日本語・日本事情 I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8205 授業形態 : 演習 受講者数 : 13名 回答者数 : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6名	-	-	-	5名	-	1名	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							
			回 答 選 択 肢							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分 か ら な い	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	83.3%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	83.3%	
			83.3%	-	-	-	16.7%	-	16.7%	
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	50.0%	50.0%	-	-	-	-	100.0%		
		90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	50.0%	16.7%	33.3%	-	-	-	100.0%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答
66.7%	33.3%				-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



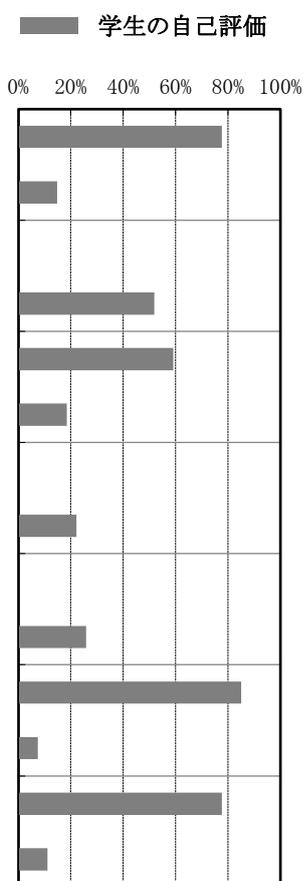
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : キャンベル早川久美子 職名 : 非常勤 所属 : 全学
 科目名称 : 英語 I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8305a 授業形態 : 演習 受講者数 : 36名 回答者数 : 27名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	27名	-	-	-	-	-	1名	26名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	77.7%	
			44.4%	33.3%	7.4%	7.4%	7.4%	-	14.8%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			51.9%	18.5%	14.8%	3.7%	11.1%	-	51.9%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	59.2%	
			33.3%	25.9%	22.2%	7.4%	11.1%	-	18.5%	
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
-			7.4%	14.8%	33.3%	44.4%	-	22.2%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
		-	11.1%	14.8%	33.3%	40.7%	-	25.9%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	85.1%	
			48.1%	37.0%	7.4%	-	7.4%	-	7.4%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	77.7%	
			44.4%	33.3%	11.1%	3.7%	7.4%	-	11.1%	



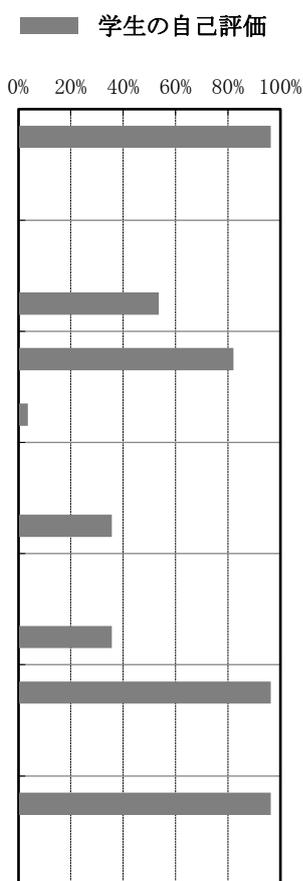
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : キャンベル早川久美子 職名 : 非常勤 所属 : 全学
 科目名称 : 英会話 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8325 授業形態 : 演習 受講者数 : 36名 回答者数 : 28名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	26名	1名	1名	-	-	2名	4名	22名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.4%	
			82.1%	14.3%	3.6%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できる だけする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			53.6%	21.4%	14.3%	7.1%	3.6%	-	53.6%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できる だけする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	82.2%	
			42.9%	39.3%	14.3%	3.6%	-	-	3.6%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
21.4%	10.7%	3.6%			32.1%	32.1%	-	35.7%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			21.4%	10.7%	3.6%	39.3%	25.0%	-	35.7%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	96.4%	
			60.7%	35.7%	3.6%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.4%	
			60.7%	35.7%	3.6%	-	-	-	0.0%	



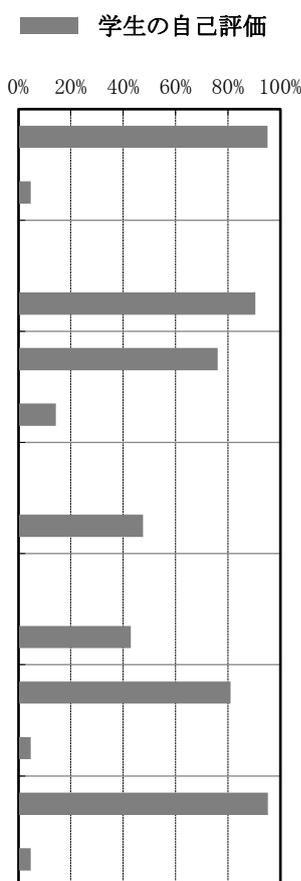
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 西村 隆一 職名 : 助教 所属 : 全学
 科目名称 : 情報リテラシー 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8400a 授業形態 : 講義 受講者数 : 28名 回答者数 : 21名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	19名	2名	-	-	13名	-	8名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	95.2%	
			71.4%	23.8%	-	4.8%	-	-	4.8%	
II	2 欠席した学生に指導を していますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
	90.5%	-	-	-	9.5%	-	90.5%			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	76.1%	
	57.1%	19.0%	9.5%	9.5%	4.8%	-	14.3%			
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
23.8%	4.8%	19.0%	14.3%	23.8%	14.3%	47.6%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
23.8%	4.8%	14.3%	23.8%	23.8%	9.5%	42.9%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	81.0%	
			38.1%	42.9%	4.8%	4.8%	-	9.5%	4.8%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	95.3%	
			52.4%	42.9%	-	4.8%	-	-	4.8%	



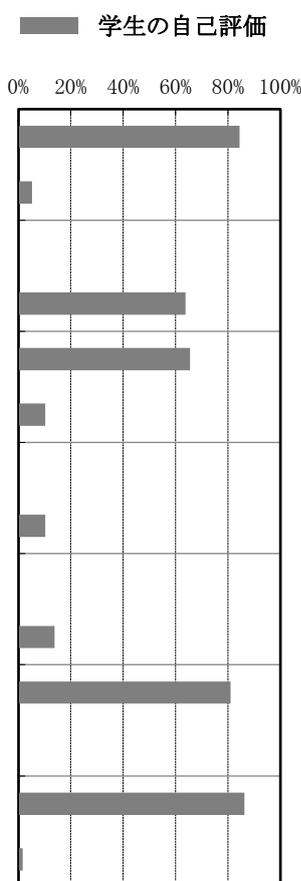
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 樹下 堅 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 情報リテラシー 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8400cd 授業形態 : 講義 受講者数 : 68名 回答者数 : 58名

回答者 内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	58名	-	-	-	-	-	-	-	58名	-	-

学修 成果	評価項目	教員 の 自己 評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	84.5%	
			50.0%	34.5%	10.3%	5.2%	-	-	5.2%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			63.8%	17.2%	10.3%	3.4%	5.2%	-	63.8%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	65.5%	
			13.8%	51.7%	24.1%	8.6%	1.7%	-	10.3%	
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	1.7%	1.7%	6.9%	27.6%	62.1%	-	10.3%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	1.7%	5.2%	6.9%	31.0%	55.2%	-	13.8%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献し なかつた	無回答	81.1%	
			25.9%	55.2%	19.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	86.3%	
			46.6%	39.7%	12.1%	-	1.7%	-	1.7%	



調査結果に対する見解

今年度から導入したクロームブックを使つての講義で、できるだけ早く学生が使いこなせるように授業を進めた。PCのアプリの授業に関しては、教師が教え込むのではなく、学生自身が版權する方法にトライした。これは、学生が現場で仕事をした際、子どもが主体的に学ぶことができるような指導が行えることをねらったからである。ペーパーレス化が進むにつれて、キーボードでの入力も要求されることから、キーボードの取り組みについては、継続的に進めた。一方で講義内容によっては話し合い活動が乏しい場面があったことから、今後はコロナ感染の収束とのバランスを取りながら、グループ活動も適宜取り入れていくようにしたい。事前学修、事後学修については、課題提示を工夫し、充実した学修ができるよう授業改善を図る。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 職名 : 教授 所属 : 全学
 科目名称 : 情報処理演習Ⅲ 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8415 授業形態 : 演習 受講者数 : 4名 回答者数 : 3名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	3名	-	-	3名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回 答 選 択 肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%		
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	-			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	33.3%		
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	-			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	66.7%	33.3%		
			-	66.7%	-	-	33.3%	-	-			
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答		「45分程度」 以上の割合
-	-	33.3%	33.3%		33.3%	-	-					
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	33.3%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%	0.0%		
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	-			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%		
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	-			

調査結果に対する見解

1回生時の情報処理演習I、IIの続きに該当する科目。昨年度の遠隔授業での補足分を取り戻すための内容が含まれていました。わからないところは自分で対応する力がついていることが学修成果から見え、その点は評価できると考えます。

(2) 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

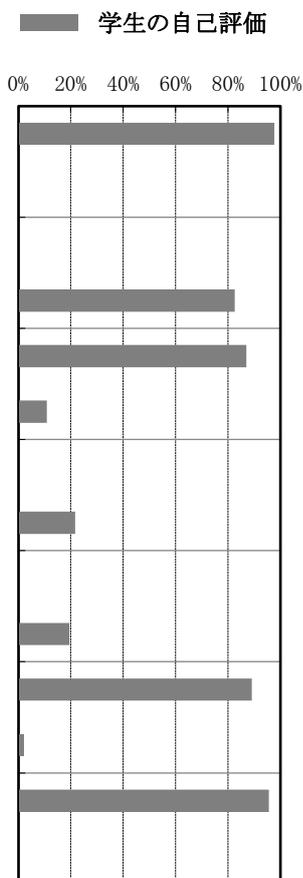
教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
30	コミュニケーション演習	碓 ともみ	演習	36
31	介護の基本 I	武田 千幸	講義	37
32	介護予防	今西 美由紀	講義	38
33	コミュニケーション技術 II	西村 隆一	演習	39
34	生活支援技術 I	武田 千幸	演習	40
35	生活支援技術 III	島村 真理子	演習	41
36	生活支援技術 III	武田 千幸	演習	42
37	介護過程 I	武田 千幸	講義	43
38	介護過程 I	西村 隆一	講義	44
39	介護過程 III	島村 真理子	演習	45
40	介護過程 III	武田 千幸	演習	46
41	介護総合演習 I	武田 千幸	演習	47
42	介護総合演習 III	島村 真理子	演習	48
43	介護総合演習 III	森永 夕美	演習	49
44	認知症の理解 I	島村 真理子	講義	50
45	認知症の理解 II	島村 真理子	講義	51
46	障害の理解 I	西村 隆一	講義	52
47	解剖生理学	小田 容子	講義	53
48	医療的ケア I	島村 真理子	演習	54
49	医療的ケア I	西 涼子	演習	55
50	グリーンプランニング	前川 良文	講義	56
51	生活と未来	池内 ますみ	演習	57
52	生活と未来	飯田 晃朝	演習	58
53	生活と未来	上田 利博	演習	59
54	生活と未来	紀平 佐保子	演習	60
55	生活と未来	島村 知歩	演習	61
56	生活と未来	武田 千幸	演習	62
57	生活と未来	中田 奈月	演習	63
58	生活と未来	箕山 なおみ	演習	64
59	生活と未来	森永 夕美	演習	65
60	生活と未来	吉村 司	演習	66
61	こども家庭福祉	松本 充史	講義	67
62	相談援助の理論と方法	小川 和代	講義	68
63	保健医療サービス	森永 夕美	講義	69
64	相談援助演習 III ①	森永 夕美	演習	70

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 碓 ともみ **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : コミュニケーション演習 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1105 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 61名 **回答者数** : 46名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	46名	-	-	-	14名	25名	7名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	97.8%	
			65.2%	32.6%	2.2%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	82.6%	10.9%	2.2%	-	4.3%	-	82.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	87.0%	
	37.0%	50.0%	2.2%	8.7%	2.2%	-	10.9%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
10.9%	4.3%	6.5%	23.9%	54.3%	-	21.7%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	89.1%	
			50.0%	39.1%	8.7%	2.2%	-	-	2.2%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	95.6%	
			73.9%	21.7%	2.2%	-	-	2.2%	0.0%	



調査結果に対する見解

本来、全面的なアクティブラーニングでの授業を計画していたものの、コロナ禍での授業展開に制限をかけて行った。それにも関わらず、調査結果が自分の期待以上の評価があり驚いている。また、自由記述欄に学生がコミュニケーションの大切さを学び、今後につなげていくコメントが多数寄せられていた。コミュニケーションを難しいことと捉えないように、今後も身近で多岐にわたる題材での授業を展開していきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護の基本 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1206 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19名	-	-	-	19名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価 0% 20% 40% 60% 80% 100%
			回 答 選 択 肢								
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	94.7%		
			68.4%	26.3%	5.3%	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			94.7%	-	5.3%	-	-	-	-		94.7%
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	84.2%		
			42.1%	42.1%	10.5%	-	5.3%	-	5.3%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		31.6%
10.5%	15.8%	5.3%	31.6%	36.8%	-	31.6%					
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	47.3%		
10.5%	10.5%	26.3%	21.1%	31.6%	-	-	47.3%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	89.4%		
			36.8%	52.6%	5.3%	5.3%	-	-	5.3%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	94.7%		
			57.9%	36.8%	5.3%	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

介護福祉士の役割を理解し、介護福祉士の専門性について考えるため主に講義形式で実施した。「尊厳の保持」という、形のな
 い難しいテーマを取り上げているため、留学生にとってはなかなか理解が難しかったようである。わかりやすいように表現を変
 え、言葉を選んで伝えているつもりではあるが、学生の理解度を具体的に図りながら授業を進める必要があると考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 今西 美由紀 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 介護予防 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1225 授業形態 : 講義 受講者数 : 19名 回答者数 : 10名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	10名	-	-	10名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	100.0%
			100.0%	-	-	-	-	-	-	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	70.0%
			70.0%	20.0%	-	-	10.0%	-	-	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.0%	90.0%
			70.0%	20.0%	10.0%	-	-	-	-	
			0.0%							
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	70.0%	
		20.0%	20.0%	30.0%	-	30.0%	-	-		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	60.0%	
		20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	-	-		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.0%	90.0%
			40.0%	50.0%	10.0%	-	-	-	-	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	100.0%
			100.0%	-	-	-	-	-	-	

調査結果に対する見解

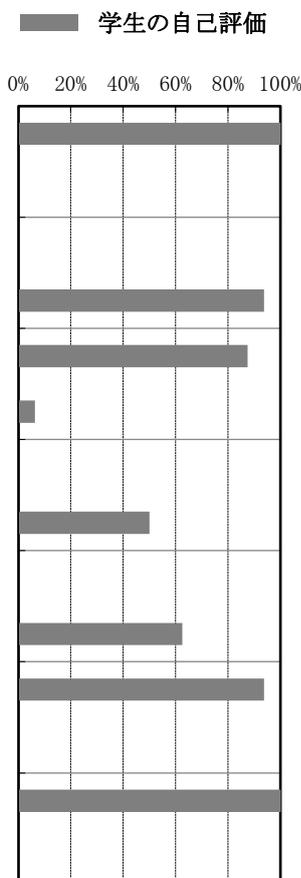
当該科目は、グループワークを中心に、介護予防の観点に即したエクササイズを企画・実践する形式で展開した。その際、介護予防の考え方の基礎となる、リハビリテーション医学について折々に詳述した。また個々の受講生の習熟度を受講生全体で共有できるように、最終試験は実技を交えたプレゼンテーション形式とした。臨床現場で応用可能な体験型の実技学習であったため、終始活気のある雰囲気の中での学びの場を受講生の皆さんによって創り上げて頂いた。解剖学や運動学の習熟度は受講生によってばらつきがみられたことから、個々の学修の進捗状況に応じたきめ細かな対応がさらに必要であると思われる。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1305ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 16名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	16名	-	-	-	16名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.1%	
			81.3%	18.8%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	93.8%	-	-	-	6.3%	-	93.8%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	87.6%	
	56.3%	31.3%	6.3%	-	6.3%	-	6.3%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
18.8%	31.3%	-	18.8%	31.3%	-	50.1%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
25.0%	31.3%	6.3%	18.8%	18.8%	-	62.6%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	93.8%	
			50.0%	43.8%	6.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.1%	
			68.8%	31.3%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

基礎介護技術を習得するための授業であるため、講義と演習を組み合わせ実施している。介護者役だけではなく利用者役も行うことで、介護を受ける側の気持ちを考えることができたようである。技術は何度も練習を繰り返して習得していくものであり、自主練習を進めているが時間割の関係上なかなか時間をとって練習することが難しかったようである。しかし実技チェック前には実習室で練習していた。また、演習記録を書くために授業での学びを振り返る時間を学生がそれぞれとっていたことがわかる。復習には時間をとっていたが、それに比べて予習の時間は短かったようである。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 真理子 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1315ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 17名 **回答者数** : 14名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	14名	-	-	14名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	-		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	-		
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	92.8%	7.1%	
			85.7%	7.1%	-	-	7.1%	-			
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		71.4%
35.7%	14.3%	21.4%	21.4%	7.1%	-						
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	78.6%		
42.9%	14.3%	21.4%	14.3%	7.1%	-						
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%	0.0%	
			57.1%	42.9%	-	-	-	-			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-			

調査結果に対する見解

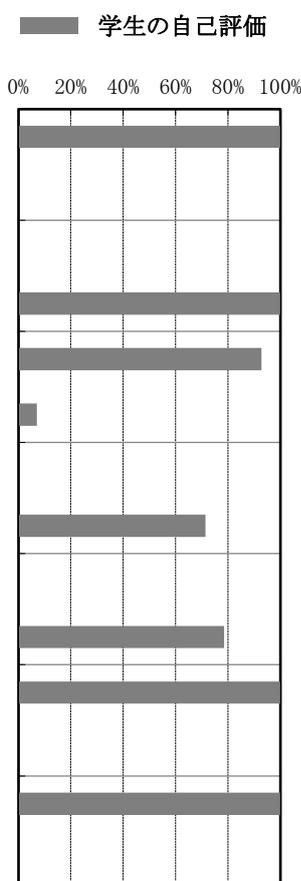
一つひとつの技術を学ぶことだけで終わってしまう学生が多い。生活は一連の動作の連続ということが理解できる教材作成が必須である。イメージできるような利用者像を作成し、学ぶ技術それぞれにパフォーマンス評価を実施するという事なども考えていく必要がある。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1315ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 17名 **回答者数** : 14名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	14名	-	-	14名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	92.8%	
			85.7%	7.1%	-	-	7.1%	-	7.1%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	35.7%	14.3%	21.4%	21.4%	7.1%	-	71.4%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	42.9%	14.3%	21.4%	14.3%	7.1%	-	78.6%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
57.1%	42.9%				-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

2年間で学ぶ生活支援技術の総まとめの授業であり、居宅における介護技術や終末期の介護について取り上げている。学生は欠席することなく全て出席しており、この講義に対する意欲がうかがえる。授業後に演習記録を記入するようにしており、復習の時間はそれぞれの学生がとっていたようである。全ての学生がこの授業での学びを社会で活かそうと考えている結果が出ており、2回生となり卒業後の進路についても考えながら、実際の支援をイメージしながら授業を受けていたのだと推測する。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 西村 隆一 職名 : 助教 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 介護過程 I 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1405 授業形態 : 講義 受講者数 : 19名 回答者数 : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19名	-	-	-	19名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			63.2%	36.8%	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	89.5%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	63.1%	15.8%	
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	31.6%	
	5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	36.9%	
	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	73.7%	5.3%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	89.4%		
			52.6%	36.8%	10.5%	-	-	-	0.0%		

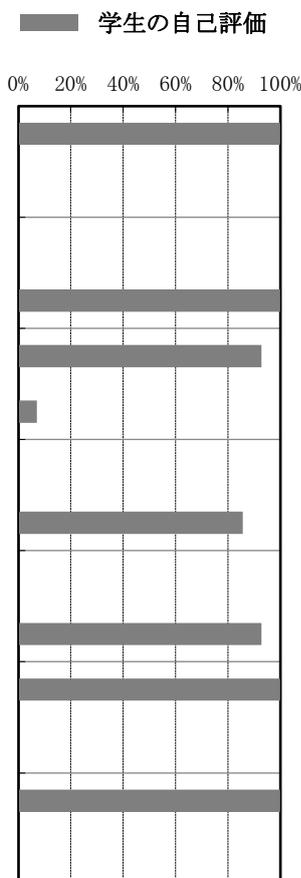
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 真理子 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 介護過程Ⅲ 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1415 授業形態 : 演習 受講者数 : 16名 回答者数 : 14名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	14名	-	-	14名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価						割合
			回答選択肢						
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	92.8%
			85.7%	7.1%	-	-	7.1%	-	7.1%
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	-	-	85.7%	
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	50.0%	21.4%	21.4%	7.1%	-	-	92.8%	
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった
64.3%	35.7%				-	-	-	-	0.0%
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%



調査結果に対する見解

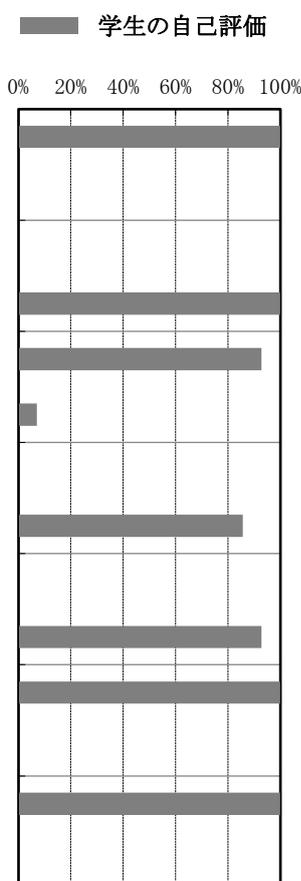
介護過程を展開するためには、思考を文章化する能力も必要となる。現在、留学生が半分以上を占めている中で、日本語を使ってどのように表現するのかということは今後も課題となる。また、5W1Hなど、具体的に記載するという事は日本人学生・留学生問わずに苦手なようである。日常的な例題を出し、具体性のある文章を記載する練習を繰り返して行く必要がある。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護過程Ⅲ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1415 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 16名 **回答者数** : 14名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	14名	-	-	14名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	100.0%	-	-	-	-	-	-	100.0%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	92.8%	
	85.7%	7.1%	-	-	7.1%	-	7.1%	7.1%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	-	-	-	85.7%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
50.0%	21.4%	21.4%	7.1%	-	-	-	92.8%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			64.3%	35.7%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

介護過程の展開を実践的に学ぶため、複数の事例をもとにアセスメントおよび計画の立案を行った。グループワークを通して意見を出し合うことで、他者の意見も参考にしながら介護過程を進めることができるような授業になっている。授業内で完結できない課題も多く、宿題となるが多かったため、予習復習の時間が多く取られたのだと考える

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護総合演習 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1450 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 18名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	18名	-	-	-	18名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価
			回 答 選 択 肢								
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	-		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	88.9%	
			88.9%	5.6%	5.6%	-	-	-	-		
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	77.8%	5.6%	
			38.9%	38.9%	16.7%	-	5.6%	-	-		
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	38.9%	
11.1%			27.8%	-	38.9%	22.2%	-	-			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	39.0%		
		5.6%	27.8%	5.6%	27.8%	33.3%	-	-			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	88.8%	5.6%	
			44.4%	44.4%	5.6%	5.6%	-	-	-		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	94.5%	0.0%	
			66.7%	27.8%	5.6%	-	-	-	-		

調査結果に対する見解

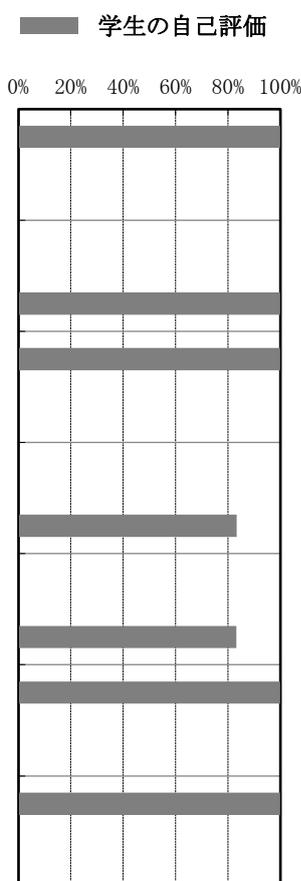
介護実習に関連する科目であり、実習の準備を行うための授業を展開した。新型コロナウイルス感染症の影響により実習の予定が変更になり、学生は困惑したと思われる。実際に施設で実習することができなかったため、学内実習に切り替えた中で学生は様々な学びをしてくれたようである。クラスメイトと共に行動し、学ぶ機会が多く、いい影響を与え合っていたと思われる。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 真理子 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 介護総合演習Ⅲ 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1461 授業形態 : 演習 受講者数 : 16名 回答者数 : 6名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	6名	-	-	6名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	50.0%	16.7%	16.7%	-	16.7%	-	83.4%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	50.0%	33.3%	-	-	16.7%	-	83.3%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
66.7%	33.3%				-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

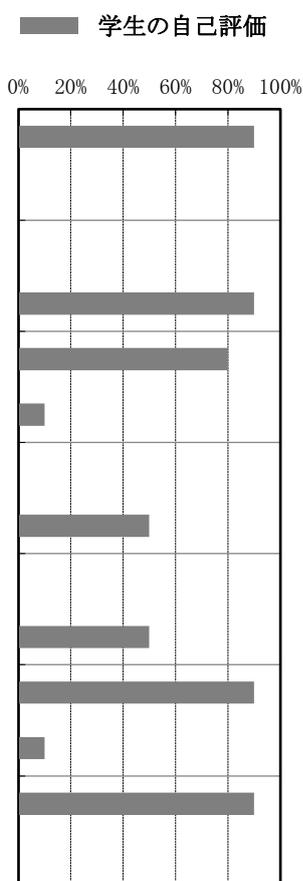
実習評価表をルーブリック評価に変更し、その上で説明を行った。実際に何ができればよいのかの指標を示すことができたとと思う。また、訪問時のマナーや実習時に起こりやすい場面をシミュレーション場面として実際に行うことで、実習前に自身の不足している点や学習を深めなくてはいけない点を把握することができたのではないかと。今後も、実際に行って気づかせるということ意識した授業展開を意識したい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 真理子 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 認知症の理解 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1515 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 20名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10名	-	-	-	10名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	90.0%	
			90.0%	-	10.0%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
	90.0%	-	-	-	10.0%	-	90.0%			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	80.0%	
	30.0%	50.0%	10.0%	-	10.0%	-	10.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
30.0%	20.0%	-	20.0%	30.0%	-	50.0%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
20.0%	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	-	50.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	90.0%	
			50.0%	40.0%	-	10.0%	-	10.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	90.0%	
			80.0%	10.0%	10.0%	-	-	0.0%		



調査結果に対する見解

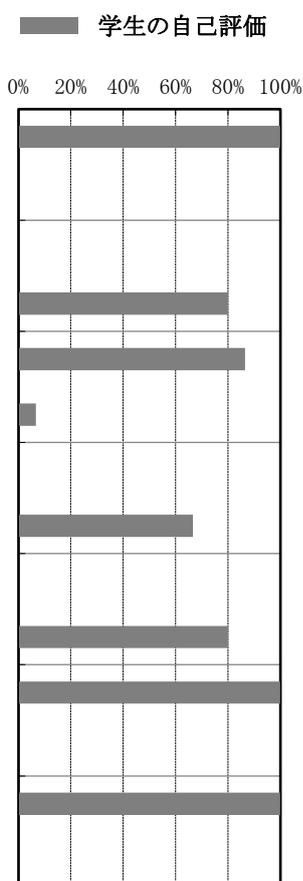
この科目は、今年度より1年前期履修科目となった（昨年度までは1年後期）科目である。入学したばかりの専門知識をもたない学生に対し、まずは認知症のイメージを好きなように書かせ、それをKJ法で振り分けてネーミングしてみるという手法を使った。認知症にネガティブな印象を抱かせることなく授業を進めることはできたが、やはり他の専門科目（特にこころとからだのしくみ領域科目）が進んでいないことで専門用語の理解に苦慮する学生が多い。今後、その対策を領域全体で取り組んでいきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 真理子 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 認知症の理解II **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1520 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 17名 **回答者数** : 15名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	15名	-	-	15名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			80.0%	20.0%	-	-	-	-	80.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	86.6%	
			73.3%	13.3%	6.7%	-	6.7%	-	6.7%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	33.3%	6.7%	26.7%	20.0%	13.3%	-	66.7%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	26.7%	46.7%	6.7%	6.7%	13.3%	-	80.1%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
53.3%	46.7%				-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

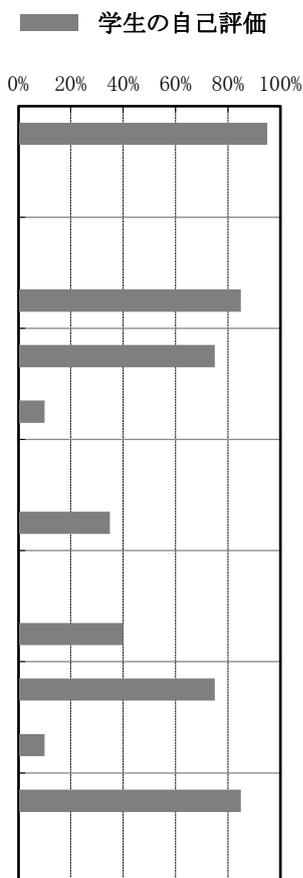
既習の認知症の理解 I の知識を想起させながらシミュレーション教育を取り入れた授業展開を行っているため、机上で得た理論や概念・モデルなどの知識を現場でどのように活かすことができるのかというところまで考えることができたのではないかと。少しでもリアルがイメージできるよう、また「知識・技能」に留まらず「思考力・判断力」が培えるような授業展開を今後も考えていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 西村 隆一 職名 : 助教 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 障害の理解 I 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1525 授業形態 : 講義 受講者数 : 20名 回答者数 : 20名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	19名	1名	-	-	19名	-	-	1名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	95.0%	
			65.0%	30.0%	5.0%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
	85.0%	-	-	10.0%	5.0%	-	85.0%			
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	75.0%	
	25.0%	50.0%	15.0%	5.0%	5.0%	-	10.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
15.0%	20.0%	-	35.0%	30.0%	-	35.0%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
5.0%	15.0%	20.0%	30.0%	30.0%	-	40.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	75.0%	
			20.0%	55.0%	10.0%	10.0%	-	5.0%	10.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	85.0%	
			50.0%	35.0%	15.0%	-	-	-	0.0%	



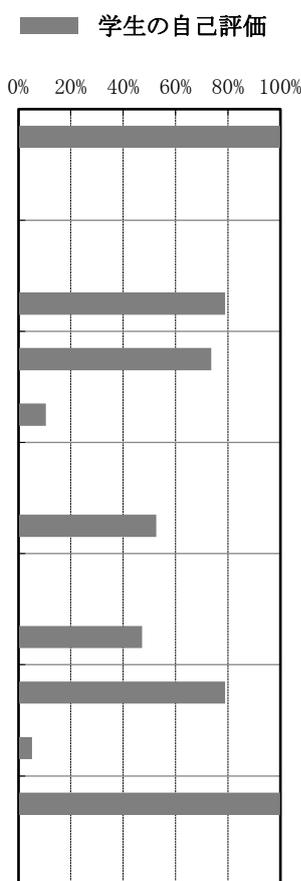
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 小田 容子 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 解剖生理学 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1540 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 26名 **回答者数** : 19名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	15名	4名	-	-	15名	1名	3名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			73.7%	26.3%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			78.9%	-	-	5.3%	15.8%	-	78.9%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけの	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	73.7%	
			47.4%	26.3%	15.8%	-	10.5%	-	10.5%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
21.1%	31.6%	-			15.8%	31.6%	-	52.7%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			10.5%	36.8%	-	21.1%	31.6%	-	47.3%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	79.0%	
			47.4%	31.6%	15.8%	5.3%	-	-	5.3%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			68.4%	31.6%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

講義形式で実施。当日の授業で重要な解剖の用語はルビ付きにして、プリント作成し配布。プリントの用語の説明後、テキストで再度確認し、重要な箇所はライン等の印をつけるように指導。また、前回の授業の理解度の確認で、可能な限り授業開始時に10～20問程度のテストを実施した。解剖の用語を説明する際、関連する疾患の例を紹介したりビデオ視聴させ、興味を持てるように工夫した。全体的にビデオ視聴は興味を持って多くの学生が見ていた。対象学生に11名の留学生を含むため、解剖の用語は時間をかけ、プリントに直接メモをとるように説明をしていた。メモをとる時間は設けていたが、各学生がどの程度まで書けているかは十分に把握できていない。医学の専門用語を教える授業で、社会人の入学生、日本語の理解力の異なる留学生が在籍。板書を写すにも時間を要するためプリントを配布し、講義時間の確保。スピードを調整するが、「授業展開を遅くしてほしい」という意見もあるため、教室内を巡回して学生の状況を把握していきたい。ビデオ視聴により理解が深まっているので、視聴回数も増やすことも検討していきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 真理子 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 医療的ケア I 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1571ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 16名 回答者数 : 14名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	14名	-	-	14名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	92.8%	
			85.7%	7.1%	-	-	7.1%	-	7.1%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	57.1%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	-	85.7%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	64.3%	28.6%	-	7.1%	-	-	92.9%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
71.4%	28.6%				-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

医行為であるため、難易度の高い科目である。理解していたとしても、それを実際の演習時に思った通り実施することが難しい様子である。医師指示書の確認から最終の報告まで、一連の流れを1つのミスもなく実施することを求めるが、声かけの内容を覚えるだけでも留学生には大変なことである。今年度より、教員によるデモンストレーションを撮影してもよいとした。今後、自宅でも復習できるような教材の作成に取りかかりたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 前川 良文 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : グリーンプランニング **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1616 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 13名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	11名	2名	-	-	11名	2名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			69.2%	30.8%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			84.6%	-	-	15.4%	-	-	84.6%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけの	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	69.3%	
			38.5%	30.8%	7.7%	15.4%	7.7%	-	23.1%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	7.7%	7.7%	23.1%	7.7%	53.8%	-	38.5%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	7.7%	7.7%	15.4%	15.4%	53.8%	-	30.8%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
30.8%	46.2%				15.4%	7.7%	-	-	7.7%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	92.3%	
			69.2%	23.1%	7.7%	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

アンケート結果を見て学生たちには講義の内容、伝えたい要点が理解できたと思う。講義、ワークショップ、実習、テストのスタイルで授業を進めたことが良かったと考える。コロナ禍の中ワークショップや実習が予定していたように出来ない状況の中、試行錯誤して問題課題を事業中に解決できるスタイルをとった結果が予習、復習が出来ていないアンケート結果になったと思う。結果を見て事前、事後レッスンが出来る課題を考える必要があると思った。到達目標の一つに「園芸療法や園芸福祉を習得し、福祉社会のニーズに応える産業人となる知識やスキルを身につける」を目指していますが学修成果が出たと考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 生活と未来 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1630 授業形態 : 演習 受講者数 : 62名 回答者数 : 51名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価		
			回 答 選 択 肢									無回答	割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-					
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	94.1%	0.0%			
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-					
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	68.6%			
			68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-					
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	76.5%	5.9%			
			37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%					
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			27.4%	
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	7.8%	13.7%	13.7%	13.7%	54.9%	3.9%	35.2%					
		7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%						
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%					
		7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%						
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	84.3%	3.9%			
			33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%					
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	88.3%	2.0%			
			47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%					

調査結果に対する見解

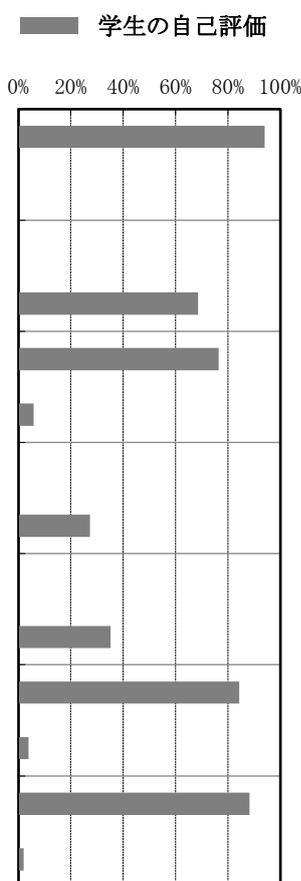
2回目の「これからの食」を担当した。今年度より導入したchromebookを活用するように工夫したが、WiFi環境が十分でなかったこともあり、思うような展開ができなかった。次年度以降はスムーズに授業を進められるよう事前に学生に資料を配布するなど改善したい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 飯田 晃朝 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 62名 **回答者数** : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.1%	
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%	
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.5%	
			37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%	5.9%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
5.9%	7.8%	13.7%			13.7%	54.9%	3.9%	27.4%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
		7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	84.3%	
			33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.3%	
			47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%	



調査結果に対する見解

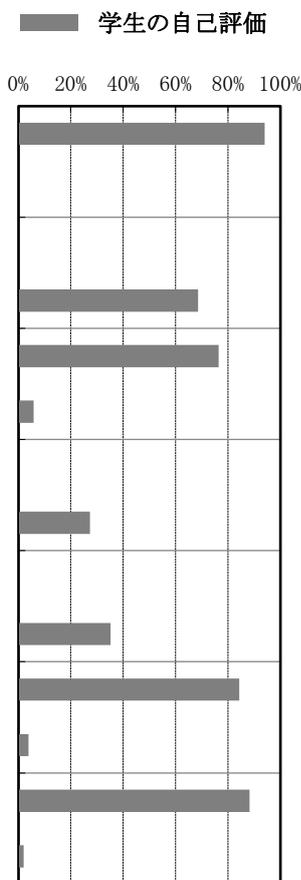
授業の特性から、生活未来科の3コースのパラパラの学習内容の中から一致する部分で、更に入学間もない学生に対して理解できて、今後の学習に繋がる様な興味が在りそうな部分だけを抽出することを心掛けました。また、他の時間でグループワークや体験学習を多く行っており、最後に、学生らが協力して、発案し発表しなければならない課題があるため、その参考になるような、講義と事例紹介と事例に伴う試食の体験を行いました。それらの内容が概ね学生に対して、好評だった様に思います。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 上田 利博 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 62名 **回答者数** : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.1%	
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.5%	
	37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%	5.9%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
5.9%	7.8%	13.7%	13.7%	54.9%	3.9%	27.4%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	84.3%	
			33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.3%	
			47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%	



調査結果に対する見解

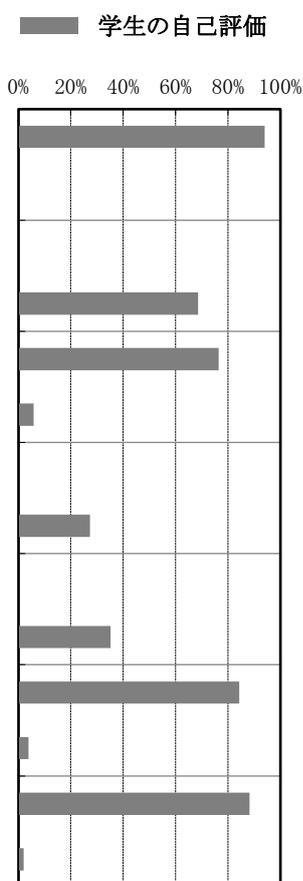
この科目の学修成果に関する調査より、新しい知識や教養が蓄積され、社会で活かせる内容であると理解されたと思われる。授業の進め方で工夫を要する要望として、私の直接携わった授業ではグループワークの実施がある。グループワークの方法や参画などをしっかりと確認し、教員間のコミュニケーションを図りながら、今後はこれまでの進め方を継続するものの、随所に参画度合いと理解度の確認を取り入れたいと考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 紀平 佐保子 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 生活と未来 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1630 授業形態 : 演習 受講者数 : 62名 回答者数 : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.1%	
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.5%	
	37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%	5.9%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
5.9%	7.8%	13.7%	13.7%	54.9%	3.9%	27.4%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	84.3%	
			33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.3%	
			47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%	



調査結果に対する見解

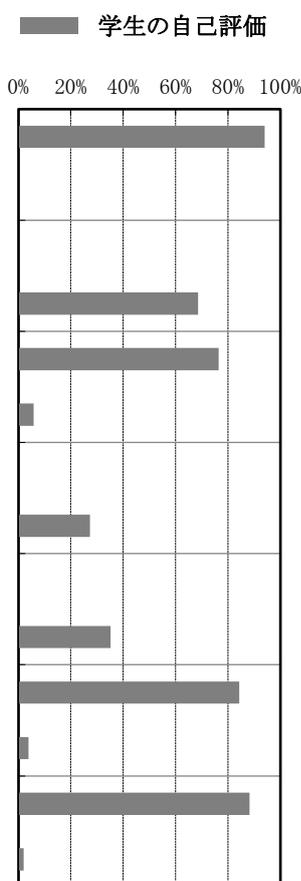
複数教員担当科目で、第8回「食事サービス」の回を主に担当。第13～15回のグループワークにワークグループにファシリテーターとして加わった。この授業は生活未来科の学科共通科目のため、履修生は所属コース以外のコースの学びに触れる機会となっていた。また、様々な学生との交流を通して知見を広げる機会となった旨の感想が聞かれた。担当回に関して、今年度は感染症対策のため、介護食サンプルの試食を1点のみ黙食にて行ったが、次年度以降は、試食種類を増やし、ディスカッションの機会を設けられるよう工夫したい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 知歩 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 62名 **回答者数** : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.1%	
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.5%	
	37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%	5.9%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	84.3%	
			33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.3%	
47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%				



調査結果に対する見解

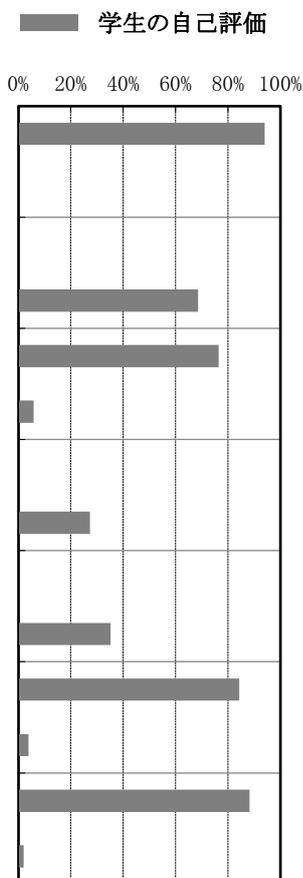
オムニバス形式でこれからの生活、大学での学び、仕事に活かせる事項を取り上げながら実施した。授業終了後には各自リアクションシートを作成してもらい、授業で新しく学んだこと、授業の要点、自分で考えたこと感想などをまとめ、また各回内容に応じて質問項目を設定するなど復習できる仕組みは作っていたが、授業に臨むにあたっての予習部分は準備不足であった。各コースで本来取り組まないような内容に触れることもあるので、予習は難しいのではないかと考えるところもあったが、触れない内容だからこそ90分の授業でより主体的に具体的に考えながら知識等を自分のものにしてもらうためにも、事前に予習をしてイメージをもって授業に取り組んでもらえるような工夫が必要だと感じた。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 生活と未来 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1630 授業形態 : 演習 受講者数 : 62名 回答者数 : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.1%	
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.5%	
	37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%	5.9%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
5.9%	7.8%	13.7%	13.7%	54.9%	3.9%	27.4%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	84.3%	
33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%				
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.3%	
47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%				



調査結果に対する見解

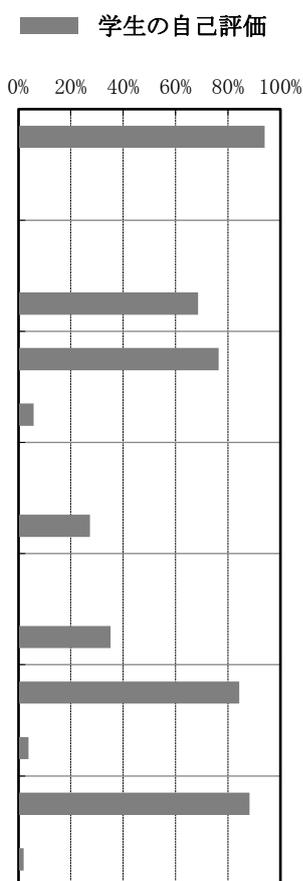
学生が互いに学びあっているさまが資料からうかがえました。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 箕山 なおみ 職名 : 助教 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 生活と未来 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
 授業コード : 1630 授業形態 : 演習 受講者数 : 62名 回答者数 : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.1%	
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%			
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.5%	
	37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%	5.9%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
5.9%	7.8%	13.7%	13.7%	54.9%	3.9%	27.4%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	84.3%	
			33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.3%	
			47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%	



調査結果に対する見解

他コースの学生と共に学ぶことで視野が広がり、自分の専門分野以外にも興味を持てるようになった学生が多く、将来の仕事にも活かせると感じているようである。グループワークでは、他コースの学生や留学生と一緒に学ぶことで、それぞれの得意分野で意見を出し合い、楽しみながら授業を受けられていたように思うが、一方で、グループワークが苦手な学生も一定数おり、休みがちになったり自分の意見を言えないなど、積極的に授業に取り組めない学生をどう指導していくのが課題でもある。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 62名 **回答者数** : 51名

回答者 内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修 成果	評価項目	教員 の 自己 評価	学生の自己評価							学生 の 自己 評価			
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」		
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-					
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	94.1%				
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%				
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合				
			68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%				
			3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない		無回答	76.5%	
					37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%		3.9%	5.9%	
					4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度		30分 程度	15分 未満	
5.9%	7.8%	13.7%					13.7%	54.9%	3.9%	27.4%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合					
		7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%					
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	84.3%				
			33.3%	51.0%	7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%				
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	88.3%				
			47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%				

調査結果に対する見解

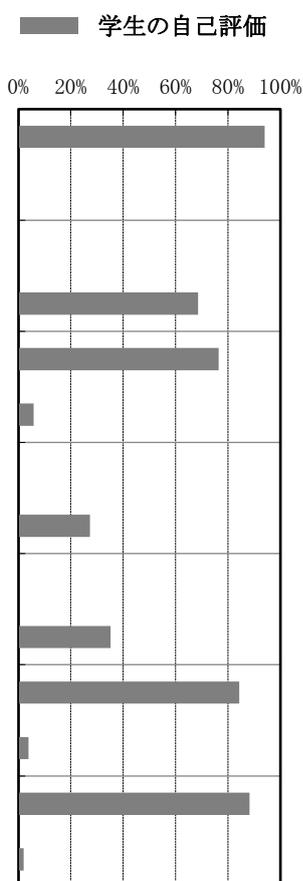
福祉・栄養・BCコースの教員のオムニバス授業であつたりコラボレーション授業であつたり、外部講師の授業があつたり、それぞれに1コマずつ展開しているのので、学生にとっては様々な考えを身に着ける機会になっていると考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉村 司 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活と未来 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1630 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 62名 **回答者数** : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	50名	-	1名	-	15名	30名	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.1%	
			54.9%	39.2%	5.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			68.6%	13.7%	3.9%	-	13.7%	-	68.6%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.5%	
			37.3%	39.2%	13.7%	3.9%	2.0%	3.9%	5.9%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	5.9%	7.8%	13.7%	13.7%	54.9%	3.9%	27.4%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	7.8%	13.7%	13.7%	21.6%	39.2%	3.9%	35.2%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
33.3%	51.0%				7.8%	3.9%	-	3.9%	3.9%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.3%	
			47.1%	41.2%	7.8%	-	2.0%	2.0%	2.0%	



調査結果に対する見解

オムニバス型授業のメリット・デメリットが垣間見れた。多くは多彩な教員とテーマの授業が展開され学生各位により刺激と知見をもたらしたようであるが、一方で教材や理解度確認において統一した動きが採りにくかった現実もある。特に教材は授業の個性にも直結するのでフォーマットや形式を一概に統一すべきではないのかもしれない。一方、評価項目1.7についてはいずれも比較的高位の評価となり、テーマの新規性や実ビジネスでの期待度を得た。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 松本 充史 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : こども家庭福祉 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1656 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	5名	-	-	5名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			60.0%	40.0%	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	時々する	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			60.0%	20.0%	-	-	20.0%	-	60.0%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	40.0%		
			20.0%	20.0%	40.0%	-	20.0%	-	20.0%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	20.0%	20.0%	-	20.0%	40.0%	-	40.0%			
		20.0%	-	20.0%	20.0%	40.0%	-	40.0%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	20.0%	-	20.0%	20.0%	40.0%	-	40.0%			
		20.0%	-	20.0%	20.0%	40.0%	-	40.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%		
			20.0%	80.0%	-	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			60.0%	40.0%	-	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

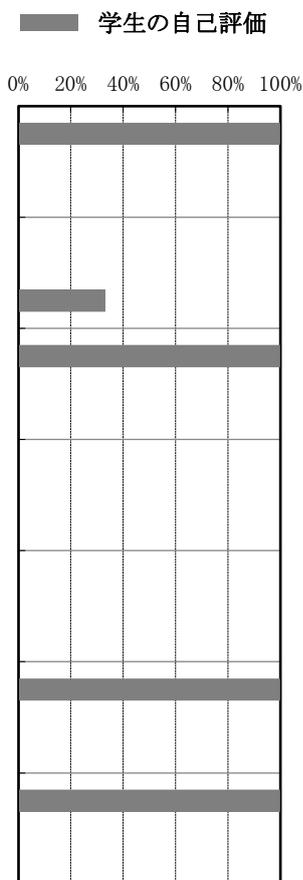
グループワークを取り入れた授業展開を多くの人が希望していることがわかりました。コロナ禍の影響もあり、なかなか実施できませんでした。今後、どのようにすれば実施できるのかも含めて検討していきたいと思ひます。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 小川 和代 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 相談援助の理論と方法 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1710 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 5名 **回答者数** : 3名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	-	3名	-	-	-	-	-	-	3名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			回 答 選 択 肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	時々する	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			33.3%	-	66.7%	-	-	-	33.3%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	100.0%	
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
-	-	-			66.7%	33.3%	-	0.0%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
			-	-	-	66.7%	33.3%	-	0.0%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%	
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

受講者数が少ないという事もあったが、回答者全員が新しい知識や教養を得ることができたと答えていること、授業内容から社会で活かそうと思う内容が得られたかどうかについての回答も概ねそう思うとのことから、授業の目標を達成することができたと感じる。予習・復習の時間が短かったことから、授業後に考えを深めることのできる「課題」をより提示することが必要であったのではないかと考える。それにより、より理解が深まったとも思う。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 保健医療サービス **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1735 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 1名 **回答者数** : 1名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	1名	-	-	1名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価 0% 20% 40% 60% 80% 100%
			回 答 選 択 肢								
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			-	-	-	-	100.0%	-	0.0%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	0.0%		
			-	-	100.0%	-	-	-	0.0%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	-	-	-	100.0%	-	-	0.0%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	-	-	-	100.0%	-	-	0.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%		
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

保健医療について基礎内容や多職種協働に、医療ソーシャルワーカーの機能と役割について学ぶ機会である。医療関係については福祉と違い、詳しい仕組みなど聴き慣れない面もあるため、テキストのみでなく、動画や資料を配布して授業を進めた。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 相談援助演習Ⅲ① **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1781 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 1名 **回答者数** : 1名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	1名	-	-	1名	-	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価 0% 20% 40% 60% 80% 100%
			回 答 選 択 肢								
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	■	
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	■	
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	100.0%	■	
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		■
-	-	-	-	100.0%	-	0.0%					
6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%	■		
		-	100.0%	-	-	-	-	0.0%			
7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	■		
		100.0%	-	-	-	-	-	0.0%			

調査結果に対する見解

高齢者福祉や地域福祉におけるあらゆる相談援助場面を想定し授業を展開した。高齢者では事例を基に介護計画の作成を試みたり、地域福祉では学生の方から興味を持った地域課題を提案し発表したりした。それぞれに他の講義科目で培った知識を用い、相談援助の基本的な視点をもって援助や援助計画が立てられるようになったと考える。

(3) 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

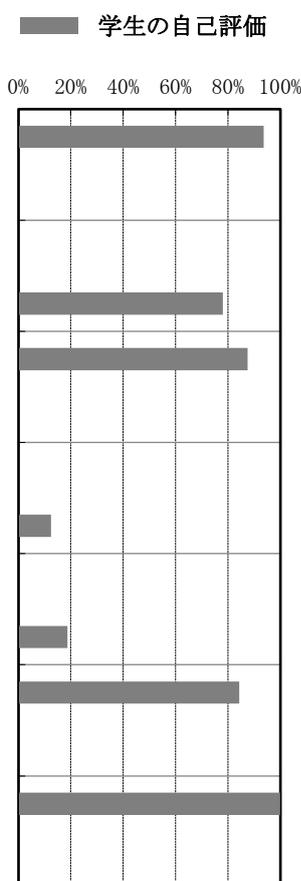
教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
65	社会福祉概論	森永 夕美	講義	72
66	人体の構造と機能 I	佐藤 広康	講義	73
67	運動生理学	松本 範子	講義	74
68	食品科学	池内 ますみ	講義	75
69	食品学実験	三浦 さつき	実習	76
70	食品衛生学	池内 ますみ	講義	77
71	食品衛生学実習	紀平 佐保子	実習	78
72	基礎栄養学	三浦 さつき	講義	79
73	応用栄養学	三浦 さつき	講義	80
74	食事療法論	紀平 佐保子	講義	81
75	食事療法実習	森山 廣江	実習	82
76	栄養指導論 I	飯田 晃朝	講義	83
77	栄養指導論実習 II	紀平 佐保子	実習	84
78	公衆栄養学	野原 潤子	講義	85
79	調理学	福田 小百合	講義	86
80	調理実習 I	島村 知歩	実習	87
81	調理実習 III	島村 知歩	実習	88
82	専門調理(製菓実習)	箕山 なおみ	実習	89

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 社会福祉概論 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2110 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 34名 **回答者数** : 32名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	30名	-	2名	-	-	32名	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			回 答 選 択 肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	93.7%	
			53.1%	40.6%	6.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			78.1%	9.4%	3.1%	-	9.4%	-	78.1%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	87.6%	
			31.3%	56.3%	12.5%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
3.1%	9.4%	-			28.1%	59.4%	-	12.5%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
			6.3%	9.4%	3.1%	37.5%	43.8%	-	18.8%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	84.4%	
			40.6%	43.8%	15.6%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			59.4%	40.6%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

この科目では、各種社会保障制度や社会福祉について学習し、また、現代社会のさまざまな問題について知り支援方法の理解を深めることとしている。興味関心の薄い分野かもしれないが、絵やグラフなどできるだけ最新の情報を取り入れたり、動画で現状を伝えたり理解しやすさを心がけた。また、授業の終わりにはGoogleフォームで知識の振り返りを行い、問題は15回の期間オープンにして繰り返し挑戦できるようにした。質疑応答の時間が少なかつたとの意見があつたので、次年度からはもう少し時間を取るように心がけたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 佐藤 広康 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 人体の構造と機能 I **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2115 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 36名 **回答者数** : 25名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	23名	-	2名	-	-	25名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	64.0%	
			28.0%	36.0%	28.0%	-	8.0%	-	8.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			80.0%	16.0%	-	-	4.0%	-	80.0%	
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.0%	
			40.0%	36.0%	24.0%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
4.0%	8.0%	4.0%			24.0%	60.0%	-	16.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			8.0%	12.0%	12.0%	28.0%	40.0%	-	32.0%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	80.0%	
			60.0%	20.0%	20.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	72.0%	
			40.0%	32.0%	24.0%	-	4.0%	-	4.0%	

調査結果に対する見解

必修科目として、授業の進行はできるだけ全員が理解できるように持っていかねばなりません。モチベーション、学力差が大きく、現状は難しいです。やる気のある学生、できる学生を伸ばすことが最大の課題と感じています。勿論、できない学生を見捨てるのではなく、尻を叩いて最低限の学力を身に付けさせたいと考えています。ルーブリック授業を目指し、配布講義プリントの中に空白の記入箇所を設け、授業はセクションを設け終了直後、自分で調べて記載させています。また、一方向授業ではなく、双方向的な授業をやる必要性があり、授業中、多くの質問や関連クイズなどで少しでも興味を引かせ参加させるようにしています。平等性に重点をおけば全員に均等に指名すべきであるが、実行は難しいです。今後とも、できるだけ学生の興味を持たせ、より理解を深める努力をしていく所存です。 学生からの要求は、大学設備に関するものも多く、対処をお願いしたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 食品科学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
 授業コード : 2145 授業形態 : 講義 受講者数 : 34名 回答者数 : 34名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	32名	-	2名	-	-	34名	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価
			回答選択肢						上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたか。 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			73.5%	26.5%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			79.4%	11.8%	2.9%	2.9%	2.9%	-	79.4%	
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	88.3%	
			32.4%	55.9%	11.8%	-	-	-	0.0%	
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	2.9%	5.9%	2.9%	41.2%	47.1%	-	11.7%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	5.9%	11.8%	5.9%	50.0%	26.5%	-	23.6%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	88.2%	
			52.9%	35.3%	11.8%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	97.1%	
			61.8%	35.3%	2.9%	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

食品の成分名や学構造など専門的な内容の理解が難しい捉えられないよう工夫した。毎回のパワーポイント資料は授業後 sahonavi に掲載し振り返り学修ができるようにした。毎時間の終わりには要点をまとめるための課題を classroom より配信し、理解度を確認した。1回生前期の授業であるため、定期試験を受けることへの不安があるようなので、授業の中で定期試験のための準備など早い段階で学生に伝えるようにしたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 食品衛生学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
 授業コード : 2160 授業形態 : 講義 受講者数 : 26名 回答者数 : 24名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	22名	2名	-	-	24名	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							
			回 答 選 択 肢						上段： 「5」+「4」	下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%
			50.0%	50.0%	-	-	-	-		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	79.2%
			79.2%	8.3%	4.2%	8.3%	-	-		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	91.6%	4.2%
			20.8%	70.8%	4.2%	4.2%	-	-		
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
8.3%	4.2%	4.2%			50.0%	33.3%	-			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	29.1%	
			8.3%	8.3%	12.5%	41.7%	29.2%	-		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	75.0%	0.0%
			12.5%	62.5%	25.0%	-	-	-		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%
			50.0%	50.0%	-	-	-	-		

調査結果に対する見解

栄養士業務に直結する「食中毒」の内容について時間をかけたが、アンケート結果より、学生に意図が伝わったことが確認できた。また、「食品衛生学実習」の内容とリンクさせながら説明するよう心掛けたが、それがわかりやすかったという記述があった。2回生の科目であるので、今後もそれまでに学んだことと結び付けられるように工夫し、栄養士に必要な知識を体系的に修得できるように授業を進めたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 紀平 佐保子 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品衛生学実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2165 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 18名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	17名	1名	-	-	18名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.4%	
			44.4%	50.0%	-	5.6%	-	-	5.6%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			72.2%	22.2%	5.6%	-	-	-	72.2%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	77.7%	
			44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	-	-	11.1%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
38.9%	5.6%	5.6%			27.8%	22.2%	-	50.1%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			55.6%	16.7%	-	16.7%	11.1%	-	72.3%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	88.9%	
			11.1%	77.8%	5.6%	5.6%	-	-	5.6%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.5%	
			38.9%	55.6%	5.6%	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

食品衛生学の講義で学んだ内容について、実験操作を通して体感し、実験結果の考察によって理解を深めることを目的とした授業で、学生の反応は、概ね狙い通りのものであった。身近な食品や環境の衛生検査を行ったことで、衛生管理の重要性を実感でき、衛生基準を理解するきっかけになったとの意見が見られ、将来栄養士を目指す学生にとっては、意義のある授業が展開できたと考えられる。一方で、「学生の理解度の確認」について工夫を求める意見があったので、今後は、操作手順、原理、結果から考察され得ることなど、学生が理解しづらさを感じる点を各々に確認しながらの進行に努めたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 三浦 さつき 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 基礎栄養学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
 授業コード : 2170 授業形態 : 講義 受講者数 : 36名 回答者数 : 30名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	25名	1名	4名	-	-	30名	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回 答 選 択 肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	96.7%			
			66.7%	30.0%	3.3%	-	-	-	0.0%			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合			
			90.0%	10.0%	-	-	-	-	90.0%			
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	96.7%			
			50.0%	46.7%	3.3%	-	-	-	0.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
6.7%			3.3%	10.0%	36.7%	43.3%	-	20.0%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合				
		10.0%	16.7%	10.0%	43.3%	20.0%	-	36.7%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	96.6%			
			53.3%	43.3%	3.3%	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	96.7%			
			66.7%	30.0%	3.3%	-	-	-	0.0%			

調査結果に対する見解

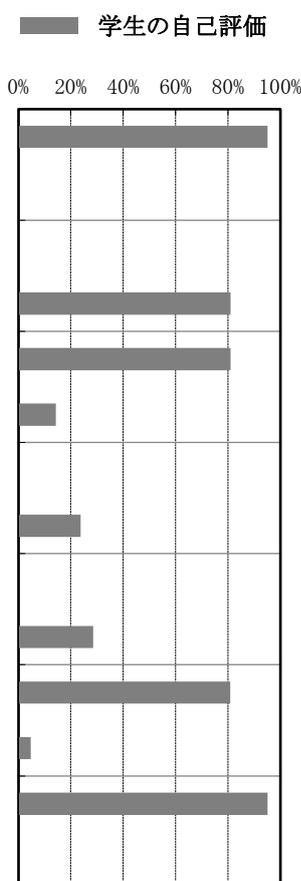
栄養士を目指す1回生が栄養に関する基礎的な知識について理解できるように、教科書だけでなく、スライドを見せながら、書き込みプリントを配布して進めている。分からない事があった時の対処、勉強しやすい環境づくり、授業後の学修時間は高い結果となっていたが、予習時間が少ない傾向があった。事前に教科書を読んだり、プリントに書き込んでくる課題を出したりすることで、理解がさらに深まるように声掛けしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 三浦 さつき 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 応用栄養学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
 授業コード : 2175 授業形態 : 講義 受講者数 : 24名 回答者数 : 21名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	18名	3名	-	-	21名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	95.2%	
			71.4%	23.8%	4.8%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できる だけする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			81.0%	9.5%	4.8%	4.8%	-	-	81.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できる だけする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	81.0%	
			42.9%	38.1%	4.8%	9.5%	4.8%	-	14.3%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
4.8%	9.5%	9.5%	38.1%		38.1%	-	23.8%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
4.8%		9.5%	14.3%	47.6%	23.8%	-	28.6%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	80.9%	
			19.0%	61.9%	14.3%	4.8%	-	-	4.8%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	95.2%	
			57.1%	38.1%	4.8%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

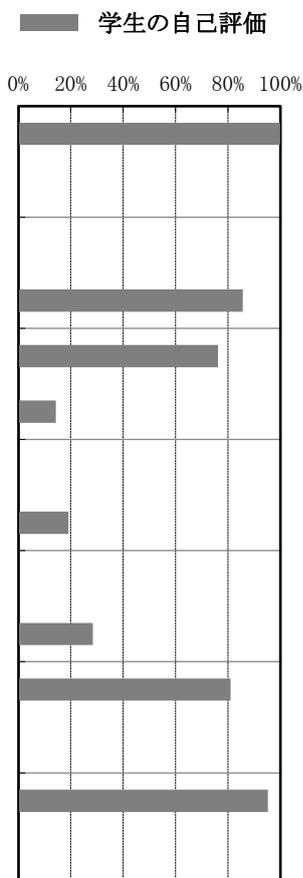
各ライフステージや運動時・特殊環境下の特徴や栄養アセスメントを学べるように、教科書だけでなく、スライドを見せながら、書き込みプリントを配布して進めている。写真やイラスト、具体的事例も提示してイメージしやすいように努めているが、授業後の学修時間がやや少ない傾向があることから、復習として実践的な事例を調べるなどの課題も検討したい。また、乳幼児や運動時の栄養については、もう少し学びたいという意見が聞かれており、詳しく解説していきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 紀平 佐保子 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 食事療法論 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
 授業コード : 2190 授業形態 : 講義 受講者数 : 27名 回答者数 : 21名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	19名	2名	-	-	21名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			61.9%	38.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	85.7%	9.5%	-	4.8%	-	-	85.7%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	76.2%	
	33.3%	42.9%	9.5%	14.3%	-	-	14.3%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
9.5%	4.8%	4.8%	42.9%	38.1%	-	19.1%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
9.5%	9.5%	9.5%	47.6%	23.8%	-	28.5%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	81.0%	
			14.3%	66.7%	19.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	95.3%	
			52.4%	42.9%	4.8%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

100%の学生が新しい知識や教養を得ることが出来たと回答し、また95.3%の学生が社会で活かそうと思う内容が得られたと回答していたことから、栄養士養成の専門科目として必要な授業内容が展開できたと考える。反面で、事前事後学修に関しては、大半の学生が十分な時間を確保していないと考えられ、「新しい知識が得られる」「社会で活かせる」と感じさせながらも、十分な学修動機を与えられていなかったことが推察される。今後の課題として、事前事後学修の具体的なテーマを提示し、フィードバックを充実させるなど、学生各自の学修時間が増えるよう努めたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 森山 廣江 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食事療法実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2195 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 24名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	18名	3名	-	-	21名	-	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	時々する	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			85.7%	4.8%	9.5%	-	-	-	85.7%		
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	時々する	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	90.4%		
			33.3%	57.1%	4.8%	4.8%	-	-	4.8%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
4.8%	19.0%	4.8%	42.9%	28.6%	-	28.6%					
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	90分以上	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
		19.0%	23.8%	14.3%	38.1%	4.8%	-	57.1%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	90.4%		
			19.0%	71.4%	9.5%	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	95.2%		
			57.1%	38.1%	4.8%	-	-	-	0.0%		

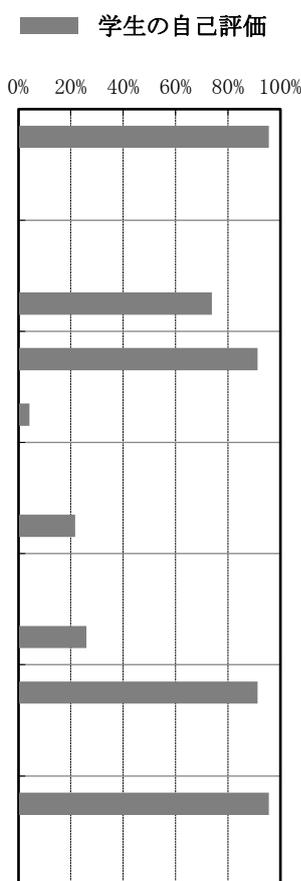
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 飯田 晃朝 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 栄養指導論 I **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2200 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 32名 **回答者数** : 23名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	23名	-	-	-	-	23名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	95.6%	
			65.2%	30.4%	4.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	73.9%	17.4%	8.7%	-	-	-	-	73.9%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	91.3%	
	47.8%	43.5%	4.3%	4.3%	-	-	-	4.3%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4.3%	8.7%	13.0%	30.4%	47.8%	-	-	21.7%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
4.3%	8.7%	13.0%	39.1%	34.8%	-	-	26.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	91.3%	
39.1%	52.2%	8.7%	-	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	95.7%	
60.9%	34.8%	4.3%	-	-	-	-	0.0%			



調査結果に対する見解

科目の特性上、複数の基礎的な科目の内容を理解した上で、学んだ内容を実際に対象者に使用する方法を学ぶ科目になります。他の科目と重複する内容もあるため、出来るだけ他の科目を踏まえての説明を心掛けました。他の科目を含めた予習・復習が大切となるため、授業では毎回、声掛けをしました。授業は教科書に沿って行い、授業で解らない箇所や書き写せない箇所がある場合は、自らで学修できるように資料を作成しました。また、今後必要になる内容については、繰り返し確認し、希望する学生には補習も行いました。しかし、それらを行わない学生にとっては、大変だったと思います。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 紀平 佐保子 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 栄養指導論実習Ⅱ **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2215 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 20名 **回答者数** : 19名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	18名	1名	-	-	19名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.7%	
			52.6%	42.1%	5.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			89.5%	10.5%	-	-	-	-	89.5%	
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	79.0%	
			31.6%	47.4%	10.5%	10.5%	-	-	10.5%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
5.3%	-	15.8%	21.1%		52.6%	5.3%	21.1%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
10.5%		-	10.5%	31.6%	47.4%	-	21.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	84.3%	
			21.1%	63.2%	10.5%	-	-	5.3%	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.7%	
			52.6%	42.1%	5.3%	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

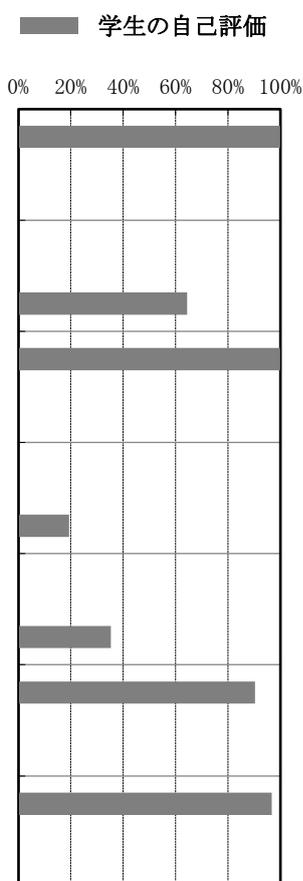
講義と演習を織り交ぜた授業を展開し、個別スピーチやグループロールプレイングで発表機会を設けた。授業時は、全学生が積極的に課題や発表に取り組んでいる様子が見られた。調査結果では、「伝えることの練習ができた」、「伝えることの難しさに気付けた」などの意見が見られ、多くの学生は特に発表機会に対して成果を実感できたと思われる。今後の展開としても、発表の場を設けながらディスカッションやグループワークを実践していきたい。また、発表計画や媒体作成の進行管理が十分でないところがあり、授業展開を遅くしてほしいとの意見が見られたので、学生が主体的に時間や計画の管理をできるような指導を行ってきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 福田 小百合 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 調理学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
 授業コード : 2250 授業形態 : 講義 受講者数 : 37名 回答者数 : 31名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	26名	-	5名	-	-	31名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			83.9%	16.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	あまりしない	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			64.5%	19.4%	9.7%	-	6.5%	-	64.5%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけの	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			54.8%	45.2%	-	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
-	9.7%	9.7%			25.8%	54.8%	-	19.4%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			3.2%	16.1%	16.1%	32.3%	32.3%	-	35.4%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.4%	
			32.3%	58.1%	9.7%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.8%	
			71.0%	25.8%	3.2%	-	-	-	0.0%	



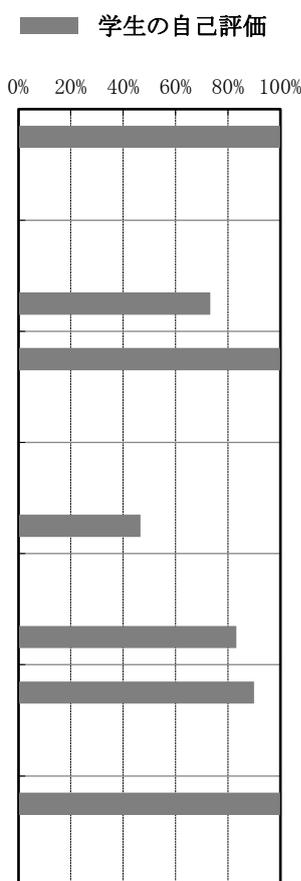
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 知歩 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 調理実習 I **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2255ab **授業形態** : 実習 **受講者数** : 34名 **回答者数** : 30名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	29名	-	1名	-	-	30名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			80.0%	20.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			73.3%	13.3%	6.7%	3.3%	3.3%	-	73.3%	
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			63.3%	36.7%	-	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
20.0%	16.7%	10.0%			16.7%	36.7%	-	46.7%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
		43.3%	30.0%	10.0%	6.7%	10.0%	-	83.3%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.0%	
			50.0%	40.0%	10.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			80.0%	20.0%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

調理実習 I では、献立に沿って、料理の由来から、食材の扱いのこと、栄養の特徴、調理の工程、ポイント、応用方法など多岐にわたって説明後、各グループに分かれて実習をした。説明は口頭だけでなく、テキストの図や配付レシピにカラー印刷で写真を載せる、またデモンストレーションをしてより具体的に考えてもらえるように、イメージしてもらえるようにしているが、やはりこれまでの調理の経験や料理体験の差から中には何もかもが初めてという学生もいた。その差が説明時に話を聞いて頭の中で具体化させる、また完成をイメージしながら調理をする差に繋がっている。受講後の事後学習は毎回レポート作成をすることで、再度工程をイメージしながらの振り返りをしているため皆それぞれに取り組んでいるが、授業時間の説明から料理へという部分をより具体化するためにも、事前学修に取組ませ、授業に繋げていくようにしていきたい。コロナ禍のため、説明は全ての料理を全体に行うが、前期後半は4名1グループの4品の料理を2つの実習台に分けて実施した。そうすると、学生1人が関わる料理や調理工程を目にする料理は2品くらいになってしまっていた。全ての学生に同じ機会を作るか、料理や料理の味を知る機会を減らすか悩んだが、後期の栄養士専門科目での献立作成では、料理を知らないことで献立作成が進まないという課題もあったため、学生1人1人に取組ませたい調理は取組めるように、季節の料理など料理の知識として修得してもらいたいものは分けて組み合わせる実習内容を構成した。この課題もクリアできるように考えていく必要がある。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 知歩 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 調理実習Ⅲ **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2265 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 26名 **回答者数** : 21名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	17名	4名	-	-	21名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			71.4%	28.6%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	66.7%	28.6%	4.8%	-	-	-	66.7%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.5%	
	38.1%	52.4%	9.5%	-	-	-	0.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
14.3%	19.0%	4.8%	23.8%	38.1%	-	38.1%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
38.1%	28.6%	4.8%	23.8%	4.8%	-	71.5%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.4%	
			19.0%	71.4%	9.5%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

調理実習Ⅲは、実習前半は調理のポイントの用紙を使用し、1回生時の調理実習や調理学の授業に結び付けながらの各料理の振り返りや食文化のことなどのまとめをした。その後、各料理の工程の確認、デモンストレーションを行った。特に、郷土料理や各国料理にはその土地それぞれの背景に由来したポイントや仕上げがあるため、そこはより具体的に伝えられるように写真なども用いながら説明した。献立もできるだけ教科書に掲載されているものを選んでいたので、2回生になると事前にテキストを確認してきたり、授業前に質問をしに來たりする学生もいて事前学修をしていることも伝わっていた。調理実習Ⅰでは皆で協力しながら完成させるスタイルであったが、調理実習Ⅲは各回4～5品のうち、1人1品を自身の担当料理として仕上げるように伝えていたため、失敗してグループメンバーに迷惑をかけたくない、おいしいものを味わってもらえるようにとの責任感から事前学修に取り組んでいたとも考えられる。事後学修は実習レポートの作成であったが、調理実習Ⅲでは栄養価計算も含めていたので、グループ内で使用量の情報共有や食品の選択の仕方など1回生時以上にグループ内でのコミュニケーションに繋がっていた。反省すべき点は、私が提出後のレポート返却をタイムリーに行っていなかったため、再度料理に取組みたいと思った学生の学修の妨げをしてしまったことは私自身の大きな課題である。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 箕山 なおみ 職名 : 助教 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 専門調理(製菓実習) 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
 授業コード : 2301 授業形態 : 実習 受講者数 : 9名 回答者数 : 6名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	5名	1名	-	-	6名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	83.3%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	16.7%	16.7%	-	-	66.7%	-	33.4%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	50.0%	33.3%	-	16.7%	-	-	83.3%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	83.4%	
			16.7%	66.7%	16.7%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

事前に課題などを出していないため、授業前の学修については、ほとんどの学生が積極的に取り組むことはしていないようである。お菓子作りについては、普段からやりたいと思っても、材料の準備や手間を考えるとなかなか実際には手を出せないようだが、製菓実習の授業を受けた事で、お菓子作りがより身近なものとなり、将来の仕事にも活かしていきたいと思っているようである。

(4) 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
83	日本企業論	上田 利博	講義	91
84	オフィススタディ	高橋 紀子	講義	92
85	ビジネス実務概論	上田 利博	講義	93
86	経理実務 I	橋本 祐樹	講義	94
87	マーケティング	吉村 司	講義	95
88	日本経済とビジネス	橋本 祐樹	講義	96
89	オフィス実務演習 I	上田 利博	演習	97
90	文書作成 II	中田 奈月	演習	98
91	プレゼンテーション・ビデオ編集	中田 奈月	演習	99
92	プレゼンテーション	中田 奈月	演習	100
93	イラスト・画像処理 I	加来 慎太郎	演習	101
94	イラスト・画像処理 III	加来 慎太郎	演習	102
95	ホスピタリティ論	碓 ともみ	講義	103
96	医薬と検査	牧 雪枝	講義	104
97	医療事務総論	垣内 美和子	講義	105
98	医療事務演習 I	垣内 美和子	演習	106
99	介護総論	森永 夕美	講義	107
100	公衆衛生学	野原 潤子	講義	108
101	社会福祉概論	森永 夕美	講義	109
102	ビジネス実践演習 II	東海 等	演習	110
103	ビジネス実践演習 II	吉村 司	演習	111
104	ゼミナール I (ビジネスキャリア)	上田 利博	演習	112
105	ゼミナール I (ビジネスキャリア)	吉村 司	演習	113
106	ゼミナール I (食物栄養)	池内 ますみ	演習	114
107	ゼミナール I (食物栄養)	飯田 晃朝	演習	115
108	ゼミナール I (食物栄養)	紀平 佐保子	演習	116
109	ゼミナール I (食物栄養)	島村 知歩	演習	117
110	ゼミナール I (食物栄養)	箕山 なおみ	演習	118
111	ゼミナール I (生活福祉)	島村 真理子	演習	119
112	ゼミナール I (生活福祉)	森永 夕美	演習	120
113	卒業研究 I	中田 奈月	演習	121
114	卒業研究 I	吉村 司	演習	122

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 高橋 紀子 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : オフィスタディ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3133 授業形態 : 講義 受講者数 : 9名 回答者数 : 7名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	7名	-	-	-	-	7名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			42.9%	57.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			42.9%	-	14.3%	14.3%	28.6%	-	42.9%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	57.2%	
			28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	-	-	14.3%	
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
		-	-	14.3%	28.6%	57.1%	-	14.3%		
	5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
			-	-	14.3%	28.6%	57.1%	-	14.3%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	71.4%	
			-	71.4%	28.6%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	85.8%	
			42.9%	42.9%	14.3%	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

授業に対する理解度の差が大きく、聞き取りやノートテイキング、発表にも差が大きかった。ディスカッションの仕方やまとめ方など、時間がかかる学生に対して丁寧に教えすぎると待たせてしまう学生が出てしまった。なかなか授業内の課題を取り組まない学生もいたので、工夫して欲しい項目の「意欲のない学生への対処」と言う項目が高かったのだと思う。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 上田 利博 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ビジネス実務概論 **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3138 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	8名	-	-	-	-	8名	-	-	-

学 修 成 果	評 価 項 目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価		
			回 答 選 択 肢									無回答	割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-					
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	87.5%	0.0%			
			37.5%	50.0%	12.5%	-	-	-					
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	50.0%			
			50.0%	12.5%	-	12.5%	25.0%	-					
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	62.5%	25.0%			
			12.5%	50.0%	12.5%	25.0%	-	-					
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			12.5%	
-	12.5%	-	37.5%	50.0%	-								
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	12.5%				
		-	12.5%	-	37.5%	50.0%	-						
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	62.5%	0.0%			
			12.5%	50.0%	37.5%	-	-	-					
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	87.5%	0.0%			
			37.5%	50.0%	12.5%	-	-	-					

調査結果に対する見解

この科目の学修成果に関する調査より、新しい知識や教養が蓄積され、社会で活かせる内容であると理解されたと思われる。授業の進め方で工夫を要する要望として、テキスト・板書などの教材、情報や事例の提供、質問時間の設定がともに25%との回答があるので、適宜授業内容の理解度を確認する必要があると思われる。これらを踏まえて、今後はこれまでの進め方を継続するものの、随所に理解度の確認を取り入れたいと考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 橋本 祐樹 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 経理実務 I **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3160 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 11名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5名	-	-	-	-	-	5名	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			80.0%	20.0%	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	あまり しない	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			60.0%	-	20.0%	-	20.0%	-	-		60.0%
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	60.0%		
			60.0%	-	40.0%	-	-	-	-		0.0%
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		60.0%
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	40.0%	-	20.0%	-	40.0%	-	60.0%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	40.0%	-	-	20.0%	40.0%	-	40.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	100.0%		
			80.0%	20.0%	-	-	-	-	-		0.0%
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			100.0%	-	-	-	-	-	-		0.0%

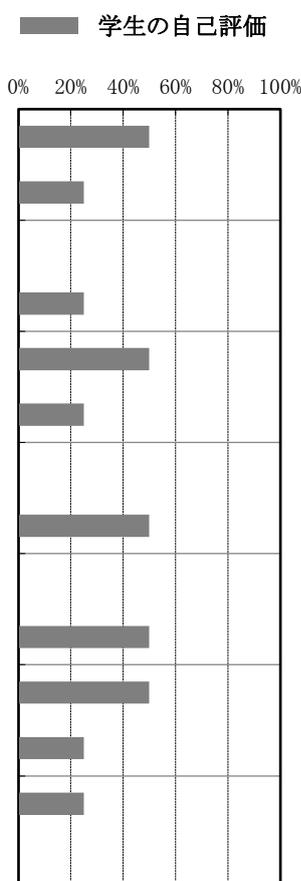
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : プレゼンテーション・ビデオ編集 **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3225 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 4名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	4名	-	-	-	-	4名	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			回 答 選 択 肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	50.0%	
			25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			25.0%	-	-	50.0%	25.0%	-	25.0%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	50.0%	
			50.0%	-	25.0%	25.0%	-	-	25.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
-	25.0%	25.0%			25.0%	25.0%	-	50.0%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
		-	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-	50.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	50.0%	
			25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	25.0%	
			25.0%	-	75.0%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

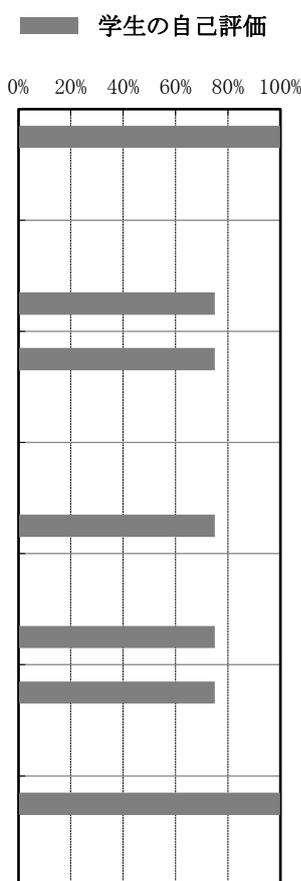
1回生と2回生の評価が大きく分かれました。ただしどちらの回生も事前学修、事後学修は大学設置基準にあるとおり実施している点が評価できます。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : プレゼンテーション 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3232 授業形態 : 演習 受講者数 : 9名 回答者数 : 4名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	4名	-	-	-	-	-	4名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			50.0%	50.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	75.0%	-	-	-	25.0%	-	75.0%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	75.0%	
	50.0%	25.0%	25.0%	-	-	-	0.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
75.0%	-	-	-	25.0%	-	75.0%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
75.0%	-	-	-	25.0%	-	75.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	75.0%	
50.0%	25.0%	25.0%	-	-	-	0.0%				
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
50.0%	50.0%	-	-	-	-	0.0%				



調査結果に対する見解

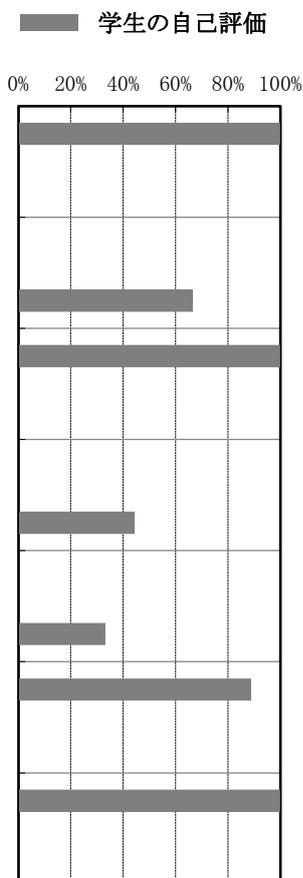
1回生と2回生の評価が大きく分かれました。ただしどちらの回生も事前学修、事後学修は大学設置基準にあるとおり実施している点が評価できます。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 加来 慎太郎 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : イラスト・画像処理 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3235 授業形態 : 演習 受講者数 : 10名 回答者数 : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	9名	-	-	-	-	-	9名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			77.8%	22.2%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
	66.7%	-	11.1%	22.2%	-	-	-	66.7%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	100.0%	
	66.7%	33.3%	-	-	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
33.3%	11.1%	-	11.1%	44.4%	-	-	44.4%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
33.3%	-	-	22.2%	44.4%	-	-	33.3%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	88.9%	
			77.8%	11.1%	11.1%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.0%	



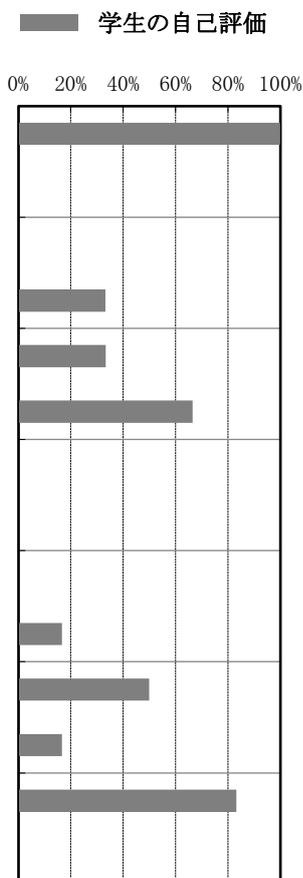
調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 加来 慎太郎 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : イラスト・画像処理Ⅲ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3237 授業形態 : 演習 受講者数 : 8名 回答者数 : 6名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	6名	-	-	-	-	6名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
	33.3%	33.3%	-	16.7%	16.7%	-	-	33.3%		
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	33.4%	
	66.6%	16.7%	16.7%	-	33.3%	33.3%	-	66.6%		
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
0.0%	-	-	-	16.7%	83.3%	-	-	0.0%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
16.7%	-	16.7%	-	-	-	83.3%	-	16.7%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	50.0%	
			-	50.0%	33.3%	-	16.7%	-	16.7%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	83.3%	
			33.3%	50.0%	16.7%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 碓 ともみ 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ホスピタリティ論 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3311 授業形態 : 講義 受講者数 : 11名 回答者数 : 6名

回答者 内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6名	-	-	-	-	-	6名	-	-	-

学修 成果	評価項目	教員 の 自己 評価	学生の自己評価							学生 の 自己 評価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			83.3%	-	-	-	16.7%	-	83.3%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	83.3%		
			50.0%	33.3%	16.7%	-	-	-	0.0%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	100.0%	-	-	-	-	-	100.0%			
		83.3%	16.7%	-	-	-	-	100.0%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	83.3%	16.7%	-	-	-	-	100.0%			
		83.3%	16.7%	-	-	-	-	100.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献し なかつた	無回答	100.0%		
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

この授業は、ただ単にサービス業におけるホスピタリティを学ぶというより、どのコミュニティの中でも貢献する心を養うように実例を通して授業を行った。それが自由記述欄で学習できていることで目的が達成できたと感じた。自分で資料を作成することやそれをプレゼンテーションする経験を難しかったのではないかと感じるころではあったものの、勉強になったと意見があった。次回の課題であるが、日本語をよく理解していない外国人留学生への授業の進め方については課題が残ることとなった。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 牧 雪枝 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 医薬と検査 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3340 授業形態 : 講義 受講者数 : 8名 回答者数 : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	7名	-	-	-	-	-	7名	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回 答 選 択 肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%			
			85.7%	14.3%	-	-	-	-	0.0%			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合			
			71.4%	-	-	14.3%	14.3%	-	71.4%			
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	85.7%			
			57.1%	28.6%	14.3%	-	-	-	0.0%			
			90分以上	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答		「45分程度」 以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	90分以上	14.3%	42.9%	-	14.3%	28.6%	-	57.2%				
		28.6%	14.3%	-	28.6%	28.6%	-	42.9%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合				
		28.6%	14.3%	-	28.6%	28.6%	-	42.9%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%			
			71.4%	28.6%	-	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	85.7%			
			85.7%	-	14.3%	-	-	-	0.0%			

調査結果に対する見解

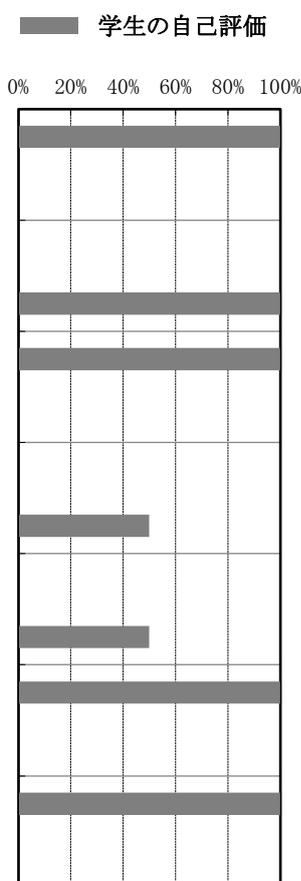
予習と復習の時間が少ないのが気になりました。次回授業の予習ポイントの具体的な説明を行う、また小テストを数多く行い復習の必要性を理解できるような授業展開を考えていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 垣内 美和子 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 医療事務総論 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3341 授業形態 : 講義 受講者数 : 6名 回答者数 : 2名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	2名	-	-	-	-	-	2名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	-	50.0%	-	50.0%	-	-	50.0%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	-	50.0%	-	50.0%	-	-	50.0%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
50.0%	50.0%				-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

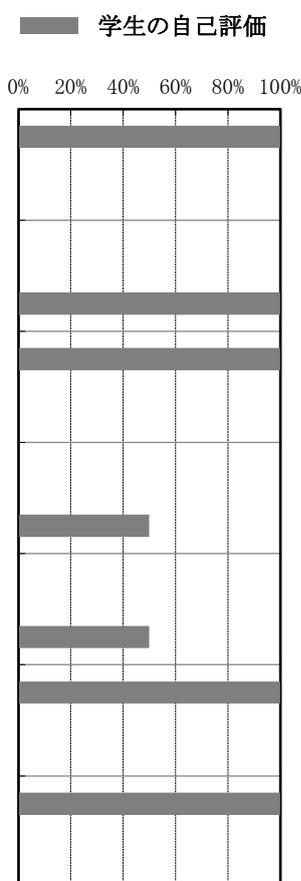
出席率は良好であり、新しい知識の習得を得ることができたと全員が回答しています。講義形式で毎回終了時に課題に取り組む時間を設け、その日の内容の振り返りを行いました。医療事務総論は医療機関で必要な医療保険の基本知識の習得です。わからないまま進むことがないよう質問や感想を聞き、よりコミュニケーションをとって、説明不十分な箇所はその都度補い、また、実務経験のある講師から実践的に役立つテクニック、知識を学べるようにして興味関心を持ってもらえるよう配布資料を工夫していきます。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 垣内 美和子 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 医療事務演習 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3345 授業形態 : 演習 受講者数 : 6名 回答者数 : 2名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	2名	-	-	-	-	-	2名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%	
			90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	50.0%	-	-	50.0%	-	-	50.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	50.0%	-	-	50.0%	-	-	50.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			50.0%	50.0%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

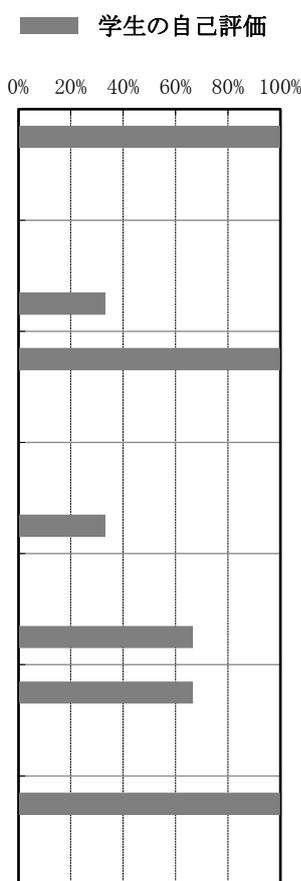
医療事務演習は医療費の計算、レセプトの書き方の学習です。積み重ねの授業のため、特に繰り返し演習することは欠かせません。学生の自己評価では予習復習が不十分であると思われます。毎回小テストを実施して、理解度を点検し、できる限り個別対応を考えていきます。また、理解の個人差については習熟度別にクラスを分けるのが理想ですが、開講コマ数の増加を伴うため実現困難と思われます。難易度についても資格試験にむけた基礎となるため、レベルを下げるわけにはいきません。例えば、問題演習のみを行う補習を設けるなど授業内容を復習して消化するための機会を提供することが必要と考えます。授業だけで理解するのは困難です。プロセスごとに学生の理解を確認し、個別にアドバイスするなどの対応を考えていきます。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 野原 潤子 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 公衆衛生学 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3370 授業形態 : 講義 受講者数 : 5名 回答者数 : 3名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	3名	-	-	-	-	3名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			33.3%	33.3%	-	-	33.3%	-	33.3%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	0.0%	
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
33.3%			-	-	33.3%	33.3%	-	33.3%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
		66.7%	-	-	33.3%	-	-	66.7%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	66.7%	
			-	66.7%	33.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			33.3%	66.7%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

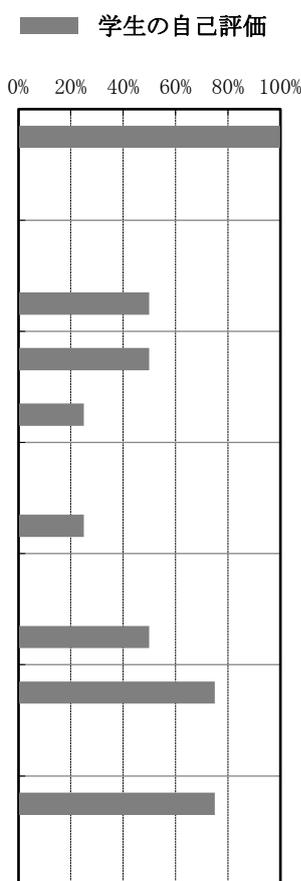
今回の授業では、テストを持ち込み可能としたものの、点数のいい学生と悪い学生で2分されたので、レポート課題の取り組み方に問題がある学生がいたと考えました。座学のみで、ボリュームも多く、授業スピードも速かったため、来年度は要点を絞ったレジメを作成し、授業スピードを遅くする予定です。また、そのレジメに沿ったレポート課題にすることで、要点が自分なりに整理できると考えます。ただ、グループワークの実施は授業内容の性質上、難しいと考えます。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 東海 等 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ビジネス実践演習Ⅱ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3820 授業形態 : 演習 受講者数 : 8名 回答者数 : 4名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	4名	-	-	-	-	4名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			-	100.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	50.0%	-	25.0%	-	25.0%	-	-	50.0%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	50.0%	
	25.0%	-	50.0%	25.0%	25.0%	-	-	25.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
25.0%	-	25.0%	-	25.0%	50.0%	-	-	25.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
50.0%	-	50.0%	-	-	50.0%	-	-	50.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	75.0%	
0.0%	-	75.0%	25.0%	-	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	75.0%	
0.0%	-	75.0%	25.0%	-	-	-	-	0.0%		



調査結果に対する見解

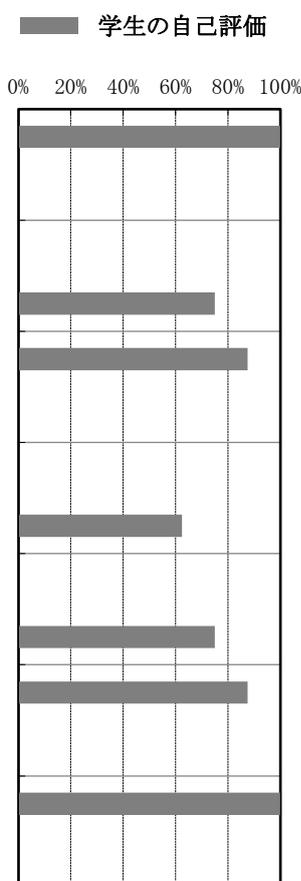
テキストはなく、私が決めた事案を題材とした講義&アクティブラーニング形式であったが、学生たちはあまり授業参加に活発ではなかったため、ディスカッションとプレゼンテーションを中心の内容にした。既定のカリキュラム、定められた知識の獲得と共に、学生たちが自発的に考え、自分の意見をまとめて、人に伝わる発表ができるような授業時間をもっと割いていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 上田 利博 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ゼミナール I (ビジネスキャリア) 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3905 授業形態 : 演習 受講者数 : 10名 回答者数 : 8名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	8名	-	-	-	-	-	8名	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			75.0%	25.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
		75.0%	-	-	12.5%	12.5%	-	75.0%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	87.5%	
		62.5%	25.0%	12.5%	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
	50.0%	-	12.5%	12.5%	25.0%	-	62.5%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	87.5%	
			75.0%	12.5%	12.5%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			87.5%	12.5%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

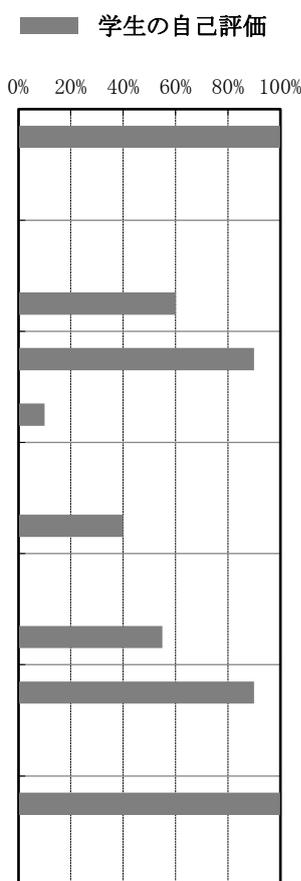
この科目の学修成果に関する調査より、事前・事後学習にパラつきはみられるものの、新しい知識や教養が蓄積され、社会で活かせる内容であると理解されたと思われる。ただ、授業の進め方で工夫を要する要望として、板書、資料などの教材と到達目標の明示が25.0%との回答があり、資料と到達目標の明示を確認する必要があると思われる。これらを踏まえて、今後はこれまでの進め方を継続するものの、随所に学生の反応等の確認を取り入れたいと考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 池内 ますみ 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ゼミナール I (食物栄養) 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3911 授業形態 : 演習 受講者数 : 26名 回答者数 : 20名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	18名	2名	-	-	20名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			55.0%	45.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	60.0%	5.0%	25.0%	-	10.0%	-	60.0%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.0%	
	40.0%	50.0%	-	10.0%	-	-	10.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
10.0%	15.0%	15.0%	30.0%	30.0%	-	40.0%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
10.0%	20.0%	25.0%	20.0%	25.0%	-	55.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.0%	
			30.0%	60.0%	10.0%	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			45.0%	55.0%	-	-	-	0.0%		



調査結果に対する見解

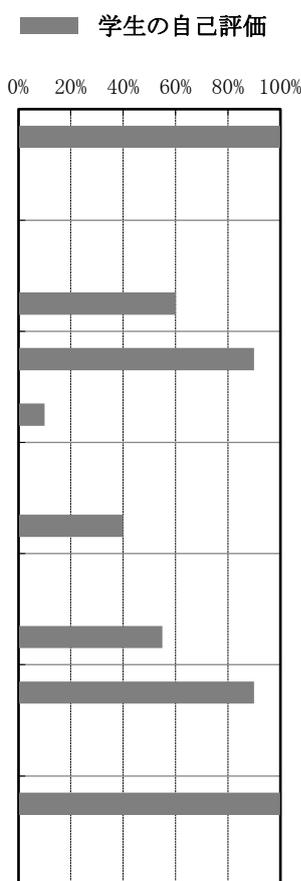
2020年後期～2021年前期にかけての通年授業、2020年後期のみ担当した。フードビジネスルードでは、商品開発の取り組みの一つとして、レシピコンテストに応募した。受賞には至らなかったが、実際にレシピを考え、商品化するまでに失敗を繰り返しながら改良していく過程を経験できたことは良い学びになったと考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 紀平 佐保子 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ゼミナール I (食物栄養) 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3911 授業形態 : 演習 受講者数 : 26名 回答者数 : 20名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	18名	2名	-	-	20名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			55.0%	45.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	60.0%	5.0%	25.0%	-	10.0%	-	60.0%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.0%	
	40.0%	50.0%	-	10.0%	-	-	10.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
10.0%	15.0%	15.0%	30.0%	30.0%	-	40.0%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
10.0%	20.0%	25.0%	20.0%	25.0%	-	55.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.0%	
			30.0%	60.0%	10.0%	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			45.0%	55.0%	-	-	-	0.0%		



調査結果に対する見解

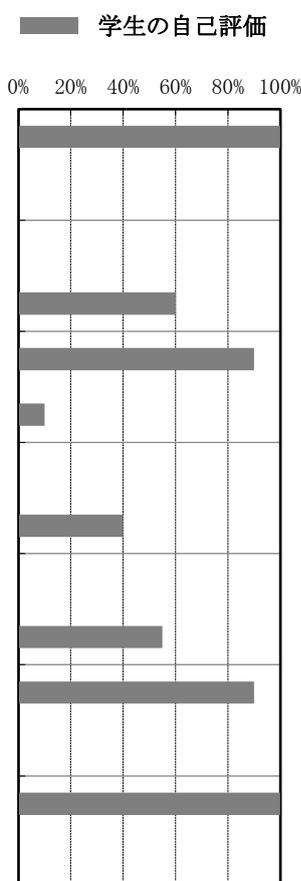
複数教員担当科目であり、医療福祉フィールドのゼミ活動を担当した。介護食や療養食の理解のための指導を行いながら、複数テーマでのコンテスト応募を通して、課題研究と計画立案を実施した。学生自身が選択したテーマによる活動であったため、皆が意欲的に課題に取り組み、学修成果を上げていた。「栄養士としての就職後、将来に活かせる」との意見が複数あったことから、成果の実感が推察された。実践的な知識技術の修得を、今後も目標としていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 知歩 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナール I (食物栄養) **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3911 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 26名 **回答者数** : 20名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	18名	2名	-	-	20名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			55.0%	45.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	60.0%	5.0%	25.0%	-	10.0%	-	60.0%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.0%	
	40.0%	50.0%	-	10.0%	-	-	10.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
10.0%	15.0%	15.0%	30.0%	30.0%	-	40.0%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
10.0%	20.0%	25.0%	20.0%	25.0%	-	55.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.0%	
			30.0%	60.0%	10.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			45.0%	55.0%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

ゼミナール I は4つのフィールドに分かれての授業である。本来は、どのフィールドにおいても大学行事やイベント等で対人へ実践活動を行うものであるが、コロナ禍のため、行事等が中止になったため、各フィールド、それぞれにテーマ設定を行い、学生の取り組みたい内容やコンテストなどに挑戦した。やはりリアルな実践活動であれば、学生も緊張感をもって計画準備などを行ったと考えるが、自分たちのとなると、取組具合に個人差がでたことが、授業の前後の取組みの結果に現れている。中には、翌週実施することをイメージできず取組めなかった学生もいるかもしれないので、各回の授業で達成することや、次までにやるべきことを明確にし、自発的に取り組めるようにする仕組みが必要と考えた。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 箕山 なおみ 職名 : 助教 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ゼミナール I (食物栄養) 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3911 授業形態 : 演習 受講者数 : 26名 回答者数 : 20名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	18名	2名	-	-	20名	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			55.0%	45.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	60.0%	5.0%	25.0%	-	10.0%	-	60.0%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.0%	
	40.0%	50.0%	-	10.0%	-	-	10.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
10.0%	15.0%	15.0%	30.0%	30.0%	-	40.0%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
10.0%	20.0%	25.0%	20.0%	25.0%	-	55.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.0%	
			30.0%	60.0%	10.0%	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			45.0%	55.0%	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

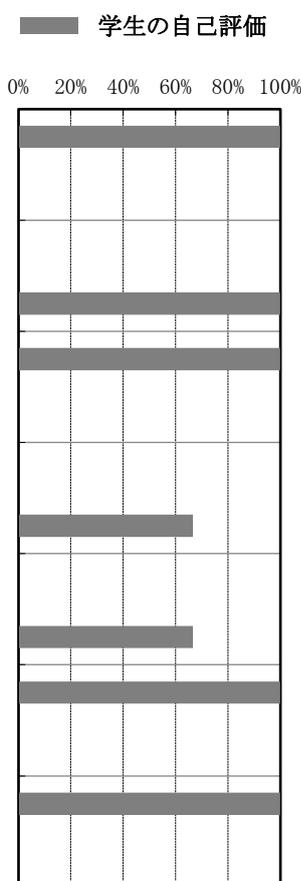
それぞれに興味のある分野を、少人数のグループで更に深く掘り下げて学ぶことで、将来自分の進む道への知識と技術の向上に役立っていると感じる。こちらから決まった事をやらせるのではなく、自分達のやりたいことについて意見を出し合い、課題に取り組むことで、学生の満足度も高かったのではないかと感じる。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 島村 真理子 職名 : 講師 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ゼミナール I (生活福祉) 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3930 授業形態 : 演習 受講者数 : 18名 回答者数 : 6名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	6名	-	-	6名	-	-	-	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
16.7%	33.3%	16.7%			16.7%	16.7%	-	66.7%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
		33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	-	66.7%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

研究したいテーマはあるが、どのように進めていけばいいのかわからない学生が多いように感じる。ここに至るまで、研究や調査について学ぶ科目はないため、ほぼゼロからの指導となる。また、留学生は日本語で表現するといった難しさが生じる。授業開始前までに提示できるような資料作成が必要なのではないかと考える。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中田 奈月 職名 : 教授 所属 : 生活未来科
 科目名称 : 卒業研究 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3951 授業形態 : 演習 受講者数 : 8名 回答者数 : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	7名	-	-	-	-	7名	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回 答 選 択 肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	85.7%	0.0%		
			28.6%	57.1%	14.3%	-	-	-	-			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	42.9%		
			42.9%	-	14.3%	14.3%	28.6%	-	-			
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	71.5%	0.0%		
			28.6%	42.9%	28.6%	-	-	-	-			
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満			無回答
14.3%	-	14.3%	42.9%		28.6%	14.3%	-					
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	57.2%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	71.4%	0.0%		
			-	71.4%	28.6%	-	-	-	-			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%		
			28.6%	71.4%	-	-	-	-	-			

調査結果に対する見解

自ら事前学修、事後学修に取り組む姿が学修成果に関する調査からみえます。課題以上に学生が取り組んだ様子がうかがえました。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉村 司 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 卒業研究 I **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3951 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 8名 **回答者数** : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	7名	-	-	-	-	7名	-	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	ある程度 思う	そう 思う 28.6%	ある程度 思う 57.1%	どちらとも 言えない 14.3%	あまり 思わない -	全く 思わない -	無回答 -	85.7%	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回 42.9%	欠席回数 1回 -	欠席回数 2回 14.3%	欠席回数 3回以上 14.3%	分から ない 28.6%	無回答 -	「欠席回数 0回」の割合 42.9%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする 28.6%	できる だけする 42.9%	時々する 28.6%	あまり しない -	全く しない -	無回答 -	71.5%	0.0%	
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上 14.3%	60分 程度 -	45分 程度 14.3%	30分 程度 42.9%	15分 未満 28.6%	無回答 -	「45分程度」 以上の割合 28.6%		
	5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上 -	60分 程度 14.3%	45分 程度 42.9%	30分 程度 28.6%	15分 未満 14.3%	無回答 -	「45分程度」 以上の割合 57.2%		
	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した -	ある程度 貢献した 71.4%	どちらとも 言えない 28.6%	あまり 貢献 しなかつた -	全く 貢献 しなかつた -	無回答 -	71.4%	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う 28.6%	ある程度 思う 71.4%	どちらとも 言えない -	あまり 思わない -	全く 思わない -	無回答 -	100.0%	0.0%	

調査結果に対する見解

予習のウエイトが消極的な事は自発的課題の設定が弱く、一方で授業でのディスカッションによる学生各位のアドバイスや教員の指示・チャレンジ促進により復習時間のウエイトが増加しており、各自の研究テーマについてテーマの深掘りや文献探索、論述展開の推敲など、学生自身がより研究の質を高められるようリードしていきたい。評価項目7については上段=100%の評価となり、実ビジネスでの期待度や自らの研究成果の手ごたえが垣間見えた。

(5) 地域こども学科 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
115	相談援助演習Ⅲ①	森永 夕美	演習	125
116	社会福祉	松本 充史	講義	126
117	こども家庭福祉・児童家庭福祉	松本 充史	講義	127
118	保育・教職入門	樹下 堅	講義	128
119	保育・教職入門	吉田 香代子	講義	129
120	保育原理	石上 浩美	講義	130
121	学習・発達論	勝田 麻津子	講義	131
122	こども家庭支援の心理学	石上 浩美	講義	132
123	こどもの保健	大越 幸代	講義	133
124	幼児理解の理論と方法・幼児理解	勝田 麻津子	講義	134
125	カリキュラム論	樹下 堅	講義	135
126	カリキュラム論	吉田 香代子	講義	136
127	保健医療サービス	森永 夕美	講義	137
128	こどもと言葉Ⅰ	石上 浩美	演習	138
129	保育内容(表現・音楽)	大山 宮和瑚	演習	139
130	保育内容(表現・音楽)	中島(上杉) 倍代	演習	140
131	保育内容(表現・音楽)	奥田 尚子	演習	141
132	保育内容(表現・音楽)	大山 宮和瑚	演習	142
133	保育内容(表現・音楽)	大山 宮和瑚	演習	143
134	保育内容(表現・音楽)	和田 宏一	演習	144
135	保育内容(表現・音楽)	大山 宮和瑚	演習	145
136	保育内容(表現・音楽)	大城 弓恵	演習	146
137	保育内容(表現・音楽)	大山 宮和瑚	演習	147
138	保育内容(表現・音楽)	紺谷 志野	演習	148
139	保育表現演習Ⅰ	生駒 英法	演習	149
140	乳児保育Ⅰ	福鹿 慶子	講義	150
141	障害児保育	中島 順子	演習	151
142	社会的養護Ⅱ	松本 充史	演習	152
143	教育方法の理論と実践	樹下 堅	講義	153
144	総合演習(表現遊び)	生駒 英法	演習	154
145	総合演習(表現遊び)	福鹿 慶子	演習	155
146	総合演習(心と発達)	石上 浩美	演習	156
147	総合演習(スポーツ)	大石 祥寛	演習	157
148	総合演習(自然と遊び)	木田 一芳	演習	158
149	総合演習(自然と遊び)	吉田 香代子	演習	159

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
150	総合演習(音楽)	大山 宮和瑚	演習	160
151	音楽Ⅰ	大山 宮和瑚	演習	161
152	音楽Ⅲ	大山 宮和瑚	演習	162
153	音楽Ⅲ	山下 玲子	演習	163
154	音楽Ⅲ	奥田 尚子	演習	164
155	音楽Ⅲ	和田 宏一	演習	165
156	音楽Ⅲ	玉井 奈摘	演習	166
157	音楽Ⅲ	紺谷 志野	演習	167
158	器楽演習Ⅰ	大山 宮和瑚	演習	168
159	器楽演習Ⅰ	山下 玲子	演習	169
160	器楽演習Ⅰ	大山 宮和瑚	演習	170
161	器楽演習Ⅰ	中島(上杉) 倍代	演習	171
162	器楽演習Ⅰ	大山 宮和瑚	演習	172
163	器楽演習Ⅰ	宮田 眞理	演習	173
164	器楽演習Ⅰ	大山 宮和瑚	演習	174
165	器楽演習Ⅰ	大城 弓恵	演習	175
166	器楽演習Ⅰ	大山 宮和瑚	演習	176
167	器楽演習Ⅰ	玉井 奈摘	演習	177
168	図画工作	生駒 英法	演習	178
169	体育	大石 祥寛	演習	179
170	ゼミナールⅠ(音楽表現)	大山 宮和瑚	演習	180
171	ゼミナールⅠ(造形表現)	生駒 英法	演習	181
172	ゼミナールⅠ(自然と遊び)	木田 一芳	演習	182
173	ゼミナールⅠ(子育て支援)	勝田 麻津子	演習	183
174	ゼミナールⅠ(幼児体育)・ ゼミナールⅠ(スポーツ)	杉島 尚徳	演習	184
175	ゼミナールⅠ(こども教育)	樹下 堅	演習	185
176	ゼミナールⅡ(地域こども)	福鹿 慶子	演習	186
177	ゼミナールⅡ(地域こども)	吉田 香代子	演習	187
178	教育実習指導(幼稚園)	大石 祥寛	演習	188
179	教育実習指導Ⅰ(幼稚園)	大石 祥寛	演習	189
180	教育実習指導Ⅰ(幼稚園)	吉田 香代子	演習	190
181	教育実習指導Ⅱ(幼稚園)・教育実習指導 b	大石 祥寛	演習	191
182	教育実習指導Ⅱ(幼稚園)・教育実習指導 b	吉田 香代子	演習	192
183	保育実習指導Ⅱ	生駒 英法	演習	193
184	保育実習指導Ⅱ	福鹿 慶子	演習	194
185	保育実習指導Ⅲ	松本 充史	演習	195

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 松本 充史 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 社会福祉 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 61000ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 66名 **回答者数** : 52名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	50名	2名	-	-	-	1名	-	51名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	98.1%		
			67.3%	30.8%	1.9%	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	時々する	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			61.5%	17.3%	7.7%	5.8%	5.8%	1.9%	61.5%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	69.3%		
			23.1%	46.2%	23.1%	1.9%	3.8%	1.9%	5.7%		
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	5.8%	3.8%	1.9%	23.1%	65.4%	-	11.5%			
		5.8%	3.8%	5.8%	23.1%	61.5%	-	15.4%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	5.8%	3.8%	5.8%	23.1%	61.5%	-	15.4%			
		5.8%	3.8%	5.8%	23.1%	61.5%	-	15.4%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	86.5%		
			36.5%	50.0%	11.5%	1.9%	-	-	1.9%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	96.2%		
			73.1%	23.1%	1.9%	1.9%	-	-	1.9%		

調査結果に対する見解

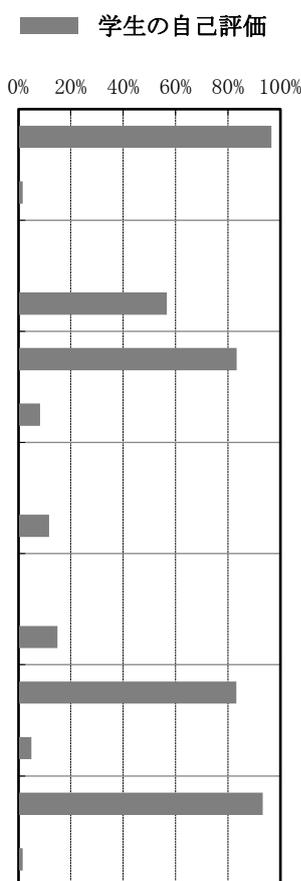
授業で分からないことがあつたり、授業を欠席したりした場合、自分で対処する学生の割合が低いことは注目に値します。常に習熟度を気にしたり、欠席者のフォローを丁寧に行っていかなければならないと感じています。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 松本 充史 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : こども家庭福祉・児童家庭福祉 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 61030ab・51031 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 75名 **回答者数** : 60名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	60名	-	-	9名	-	-	51名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.7%	
			71.7%	25.0%	1.7%	1.7%	-	-	1.7%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	時々する	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			56.7%	18.3%	13.3%	1.7%	10.0%	-	56.7%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	83.4%	
			36.7%	46.7%	8.3%	5.0%	3.3%	-	8.3%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	5.0%	1.7%	5.0%	41.7%	46.7%	-	11.7%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	5.0%	3.3%	6.7%	38.3%	46.7%	-	15.0%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
40.0%	43.3%				11.7%	3.3%	1.7%	-	5.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	93.3%	
			63.3%	30.0%	5.0%	1.7%	-	-	1.7%	



調査結果に対する見解

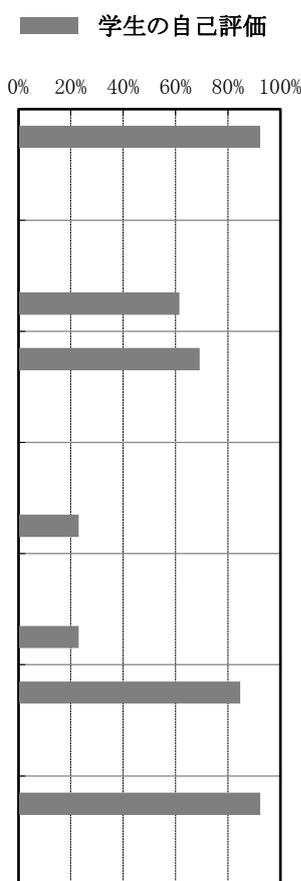
授業の受ける前と、受けた後の学修時間に問題を感じています。教科書の授業該当箇所を読んだり、講義の内容に則した新聞記事を読めるような時間をもっと創出していくことが必要と感じています。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 樹下 堅 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育・教職入門 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 61045ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 67名 回答者数 : 13名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	13名	-	-	-	-	-	-	-	13名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			回 答 選 択 肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	92.3%	
			53.8%	38.5%	7.7%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分 か ら な い	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			61.5%	30.8%	-	-	7.7%	-	61.5%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	69.3%	
			30.8%	38.5%	30.8%	-	-	-	0.0%	
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	61.5%	-	23.1%		
		90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	61.5%	-	23.1%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答
38.5%	46.2%				15.4%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	92.3%	
			38.5%	53.8%	7.7%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

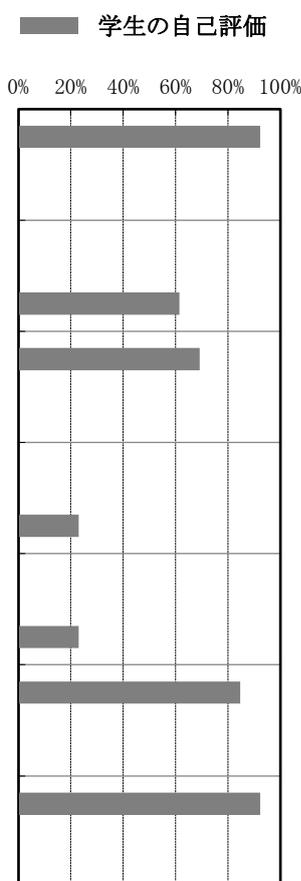
保育・教職入門に関しては、幼稚園での指導経験がある教員と小学校での指導経験がある教員とで授業を行った。現場のことが理解できる、現場で役立つことを中心に授業を進めた。グーグルクラスルーム等を活用し、教員から質問、学生が回答することで、いろいろな意見を交流することができた。コロナ禍で席を移動してのグループワークが制限される中、ガラスルームの活用は効果的であった。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉田 香代子 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育・教職入門 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 61045ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 67名 回答者数 : 13名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	13名	-	-	-	-	-	-	-	13名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	92.3%	
			53.8%	38.5%	7.7%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			61.5%	30.8%	-	-	7.7%	-	61.5%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	69.3%	
			30.8%	38.5%	30.8%	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	61.5%	-	23.1%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	61.5%	-	23.1%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
38.5%	46.2%				15.4%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	92.3%	
			38.5%	53.8%	7.7%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

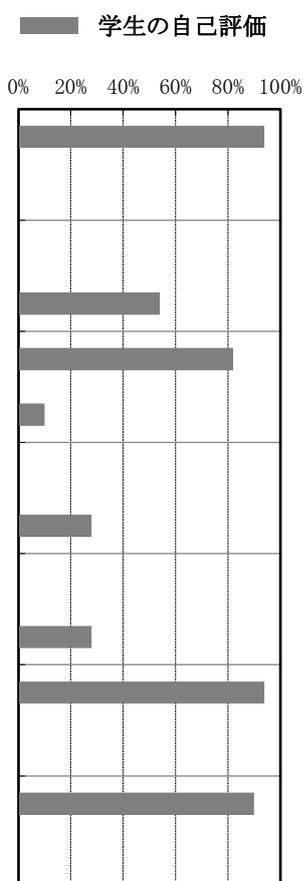
今回小学校と就学前の保育について2名の教員で担当をして行ってきた。小学校、就学前の保育についての理解が進んだと考える。小学校、就学前のそれぞれの保育・教育についての本質的理解と、それぞれの保育、教育者として大切にしなければならないことを理解できるような授業に内容、携帯について調査結果を参考に検討、改善を図っていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 石上 浩美 **職名** : 准教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育原理 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 61050ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 63名 **回答者数** : 50名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	50名	-	-	-	-	-	-	-	50名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.0%	
			72.0%	22.0%	6.0%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	54.0%	14.0%	10.0%	10.0%	12.0%	-	-	54.0%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	82.0%	
	28.0%	54.0%	8.0%	8.0%	2.0%	-	-	10.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
6.0%	6.0%	16.0%	32.0%	40.0%	-	-	28.0%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
8.0%	8.0%	12.0%	34.0%	38.0%	-	-	28.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	94.0%	
			60.0%	34.0%	6.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	90.0%	
			66.0%	24.0%	10.0%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

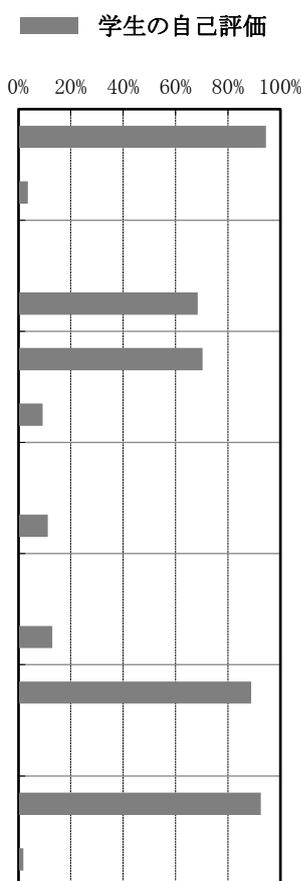
保育原理は、保育に関する歴史や理念、思想史など基礎理論を理解することが目標となる。また、『保育所保育指針』や指定テキストなど、ある程度のボリュームのある文章を読むことが求められる。そのため、初学者にとっては言葉の定義や意味を理解するのに時間がかかるかもしれない。授業方法についてはおおむね好評であったため、今後は専門用語であっても、できる限り簡便な表現で学生に伝えることを心がけ、授業改善に努めたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 勝田 麻津子 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 学習・発達論 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 61080ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 68名 回答者数 : 54名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	54名	-	-	-	-	-	-	-	54名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	94.5%	
			59.3%	35.2%	1.9%	3.7%	-	-	3.7%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			68.5%	9.3%	9.3%	3.7%	9.3%	-	68.5%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	70.4%	
			18.5%	51.9%	20.4%	9.3%	-	-	9.3%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
7.4%	1.9%	1.9%			42.6%	46.3%	-	11.2%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			7.4%	1.9%	3.7%	48.1%	38.9%	-	13.0%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	88.9%	
			31.5%	57.4%	11.1%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	92.6%	
			55.6%	37.0%	5.6%	1.9%	-	-	1.9%	



調査結果に対する見解

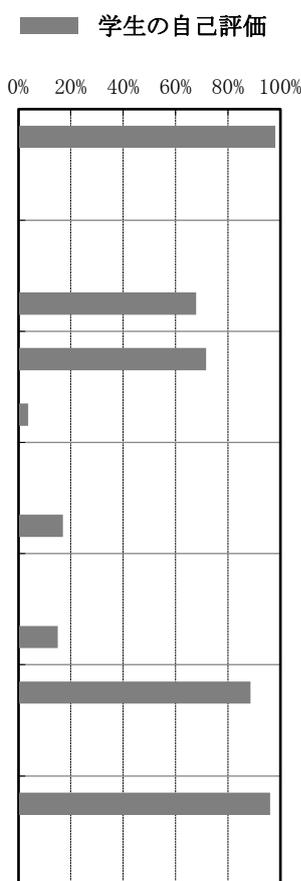
クラスルームを活用した資料提示での授業と、プリントを配布して理解を深めるところを確認した「基礎的な理論や知識の習得」に務めた授業方法ですすめた。グループフォームでの学生間の意見交換が多く、対面でのグループワークをコロナ禍の現状を考慮して取り入れられなかった。今後はチャットやインタビュー、対面でのグループワーク等の工夫をしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大越 幸代 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : こどもの保健 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 61110ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 64名 **回答者数** : 53名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	53名	-	-	-	-	-	-	-	53名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.1%	
			71.7%	26.4%	1.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			67.9%	13.2%	11.3%	1.9%	5.7%	-	67.9%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	71.7%	
			22.6%	49.1%	24.5%	1.9%	1.9%	-	3.8%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
3.8%	5.7%	7.5%			32.1%	50.9%	-	17.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
		5.7%	7.5%	1.9%	39.6%	45.3%	-	15.1%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	88.7%	
			41.5%	47.2%	11.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.2%	
			67.9%	28.3%	3.8%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

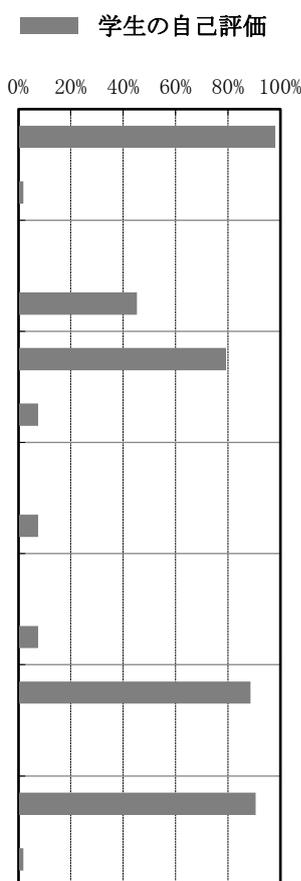
講義形式で各章ごとに小テストし、学習の学びの確認をしていった。専門用語や統計データ等馴染みのない授業もあり、毎回次週の予習をするように促し、欠席者にも課題の受付などの対応をしていた。しかし、アンケートの結果では事前事後学習において30分程度の学習であった為、さらに学生が事前事後にも学習を深められるような課題の工夫を考えたい。授業の内容については、役立つと考えている学生が全体よりやや高かったことから、関心の高い科目であると考え。授業の中で、学生の理解状況を確認し、学生の学びが深まるように質問しやすいような工夫とともに、興味をもてるような内容にしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 勝田 麻津子 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 幼児理解の理論と方法・幼児理解 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 61140ab・52220 授業形態 : 講義 受講者数 : 67名 回答者数 : 53名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	51名	2名	-	-	-	-	53名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.1%	
			62.3%	35.8%	-	1.9%	-	-	1.9%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			45.3%	24.5%	11.3%	5.7%	13.2%	-	45.3%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	79.3%	
			32.1%	47.2%	13.2%	5.7%	1.9%	-	7.6%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	1.9%	-	5.7%	26.4%	66.0%	-	7.6%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	1.9%	1.9%	3.8%	28.3%	64.2%	-	7.6%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
45.3%	43.4%				11.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	90.6%	
			60.4%	30.2%	3.8%	1.9%	-	3.8%	1.9%	



調査結果に対する見解

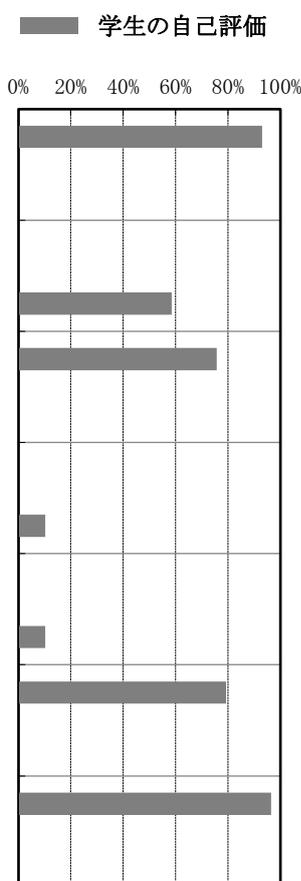
保育の現場で出会うであろう事例中心に授業展開をしてきたことが、より深いこども理解につながっていることが受講者の意見からよくわかった。対面でのグループワークをコロナ禍の現状を考慮して取り入れられなかったが、グループフォームでの意見の方が「書きやすかった」との声もあり、今後は対面とフォームを併用しつつすすめる方法を考えたい。また、毎回のリフレクションを丁寧に返して進めていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 樹下 堅 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : カリキュラム論 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 61160ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 67名 回答者数 : 29名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	29名	-	-	-	-	-	-	-	29名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			回 答 選 択 肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	93.1%	
			55.2%	37.9%	6.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			58.6%	17.2%	3.4%	3.4%	17.2%	-	58.6%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	75.8%	
			17.2%	58.6%	24.1%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
3.4%	6.9%	-			17.2%	72.4%	-	10.3%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
			3.4%	6.9%	-	24.1%	65.5%	-	10.3%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	79.3%	
			31.0%	48.3%	20.7%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	96.5%	
			58.6%	37.9%	3.4%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

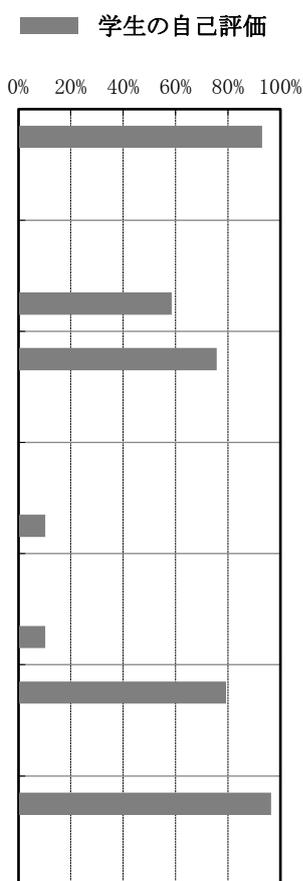
幼稚園での指導経験がある教員と小学校での指導経験がある教員とで授業を行った。そのため、「これから絶対に必要になることのやり方を教えてもらった」「わかりやすく現場の話も交えて説明してくれる」などの回答がみられたと考えている。カリキュラム論は「理論」が中心となるが、それが現場でどのように展開されているのか、学生ができるだけわかりやすいように指導していきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉田 香代子 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : カリキュラム論 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 61160ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 67名 回答者数 : 29名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	29名	-	-	-	-	-	-	-	29名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	93.1%	
			55.2%	37.9%	6.9%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			58.6%	17.2%	3.4%	3.4%	17.2%	-	58.6%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	75.8%	
			17.2%	58.6%	24.1%	-	-	-	0.0%	
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
		3.4%	6.9%	-	17.2%	72.4%	-	10.3%		
	5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
			3.4%	6.9%	-	24.1%	65.5%	-	10.3%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	79.3%	
			31.0%	48.3%	20.7%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.5%	
			58.6%	37.9%	3.4%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

今回小学校と就学前の保育について2名の教員で担当をして行ってきた。小学校、就学前の保育についての理解が進んだと考える。小学校、就学前のそれぞれのカリキュラム授業の内容について、この調査参考に学生が理解できるよう改善を図りたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 石上 浩美 **職名** : 准教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : こどもと言葉 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 63045ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 68名 **回答者数** : 49名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	49名	-	-	-	-	-	-	-	49名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回 答 選 択 肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	95.9%			
			81.6%	14.3%	4.1%	-	-	-	0.0%			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合			
			57.1%	16.3%	8.2%	10.2%	8.2%	-	57.1%			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	79.6%			
			34.7%	44.9%	10.2%	6.1%	4.1%	-	10.2%			
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満		無回答	「45分程度」 以上の割合
6.1%	6.1%	12.2%			34.7%	40.8%	-	24.4%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合				
		6.1%	8.2%	6.1%	42.9%	36.7%	-	20.4%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	89.8%			
			53.1%	36.7%	10.2%	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	95.9%			
			79.6%	16.3%	4.1%	-	-	-	0.0%			

調査結果に対する見解

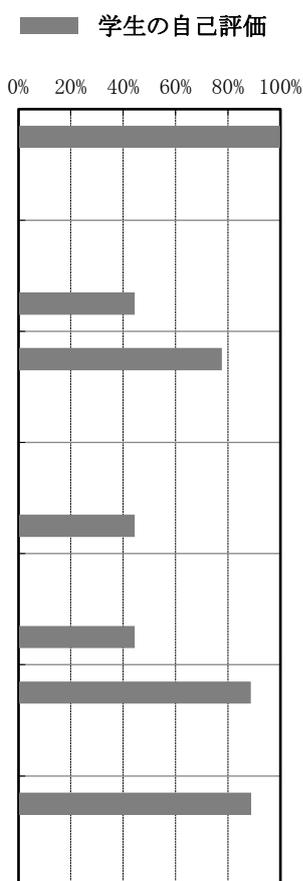
こどもと言葉 I は、発達心理学の観点から乳幼児期の言語獲得に関する基礎知識を理解することが目標となり、ある程度のボリュームのある文章を読むことが求められる。そのため、初学者にとっては言葉の定義や意味を理解するのに時間がかかるかもしれない。授業方法についてはおおむね好評であったため、今後は専門用語であっても、できる限り簡便な表現で学生に伝えることを心がけ、授業改善に努めたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育内容(表現・音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63050aa・ba 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	9名	-	-	-	-	-	-	9名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	44.4%	22.2%	22.2%	-	11.1%	-	44.4%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	77.7%	
	44.4%	33.3%	22.2%	-	-	-	0.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
22.2%	22.2%	-	44.4%	11.1%	-	44.4%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
22.2%	22.2%	-	44.4%	11.1%	-	44.4%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	88.8%	
			44.4%	44.4%	11.1%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.9%	
			66.7%	22.2%	11.1%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

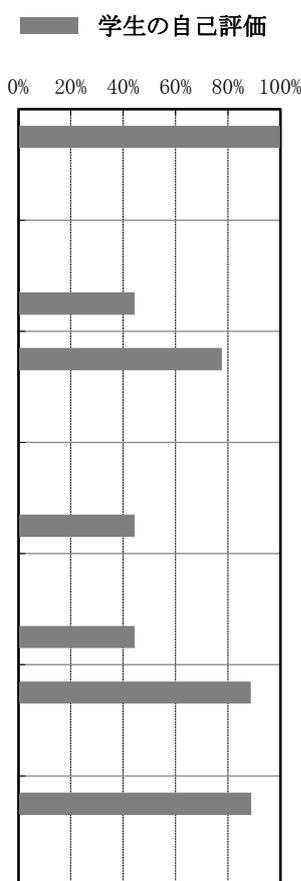
45分が講義、45分が個人指導型を主とした授業である。単元ごとに授業内容の理解の確認を行い、質問は随時受けるようにしているが、講義と個人指導型授業の入れ替わりに多少時間がかかることもある。「質問時間の設定」の数値は、この慌ただしさが原因のように思われる。当該学年はクロームブックを所持しておらず、尚且つ授業実施教室にプロジェクタが設置されていないため、授業はプリント配布と板書で進めた。「テキスト、板書、資料などの教材」については、このような状況下でのクラスルーム他の活用法などを含め、効果的な方法を考えていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中島(上杉) 倍代 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育内容(表現・音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 63050aa・ba **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	9名	-	-	-	-	-	9名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			44.4%	22.2%	22.2%	-	11.1%	-	44.4%	
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	できる だけする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	77.7%	
			44.4%	33.3%	22.2%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
22.2%	22.2%	-			44.4%	11.1%	-	44.4%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
			22.2%	22.2%	-	44.4%	11.1%	-	44.4%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	88.8%	
			44.4%	44.4%	11.1%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	88.9%	
			66.7%	22.2%	11.1%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

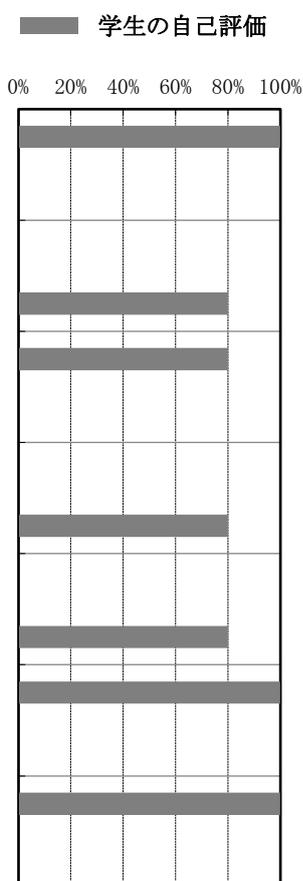
クラス授業と弾き歌いの個人レッスンとを行っている。自由記述では 個人個人のペースに合わせて進めている事を歓迎しているのが分かった。しかし、やはり若干名が到達目標の明示を希望している。この授業も合格目標の曲数を明示しているので、もっと具体的にどういふことを明示して欲しいのか知りたい。 先ずは個人としっかり話をして、どういふ所に疑問を持っているのか注意したい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育内容(表現・音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63050ab・bb 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 5名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	5名	-	-	-	-	-	-	5名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			80.0%	20.0%	-	-	-	-	80.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	80.0%	
			80.0%	-	20.0%	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	20.0%	20.0%	40.0%	-	20.0%	-	80.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	20.0%	20.0%	40.0%	-	20.0%	-	80.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			40.0%	60.0%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			80.0%	20.0%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

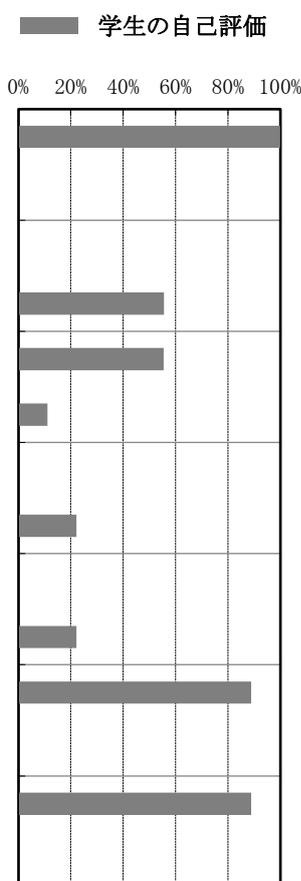
45分が講義、45分が個人指導型を主とした授業である。單元ごとに授業内容の理解の確認を行い、質問は随時受けるようにしているが、講義と個人指導型授業の入れ替わりに多少時間がかかることもある。「質問時間の設定」の数値は、この慌ただしさが原因のように思われる。当該学年はクロームブックを所持しておらず、尚且つ授業実施教室にプロジェクタが設置されていないため、授業はプリント配布と板書で進めた。「テキスト、板書、資料などの教材」については、このような状況下でのクラスルーム他の活用法などを含め、効果的な方法を考えていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育内容(表現・音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63050ac・bc 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	8名	1名	-	-	-	-	-	9名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	55.6%	33.3%	-	11.1%	-	-	55.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	55.5%	
	33.3%	22.2%	33.3%	-	11.1%	-	11.1%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
22.2%	-	-	55.6%	22.2%	-	22.2%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
22.2%	-	-	44.4%	33.3%	-	22.2%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	88.9%	
66.7%	22.2%	11.1%	-	-	-	0.0%				
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.9%	
77.8%	11.1%	11.1%	-	-	-	0.0%				



調査結果に対する見解

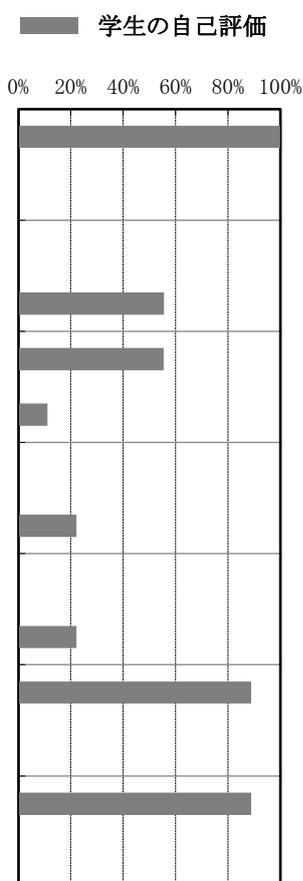
45分が講義、45分が個人指導型を主とした授業である。単元ごとに授業内容の理解の確認を行い、質問は随時受けるようにしているが、講義と個人指導型授業の入れ替わりに多少時間がかかることもある。「質問時間の設定」の数値は、この慌ただしさが原因のように思われる。当該学年はクロームブックを所持しておらず、尚且つ授業実施教室にプロジェクタが設置されていないため、授業はプリント配布と板書で進めた。「テキスト、板書、資料などの教材」については、このような状況下でのクラスルーム他の活用法などを含め、効果的な方法を考えていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 和田 宏一 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育内容(表現・音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 63050ac・bc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	8名	1名	-	-	-	-	9名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	55.6%	33.3%	-	11.1%	-	-	55.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	55.5%	
	33.3%	22.2%	33.3%	-	11.1%	-	11.1%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
22.2%	-	-	55.6%	22.2%	-	22.2%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
22.2%	-	-	44.4%	33.3%	-	22.2%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	88.9%	
66.7%	22.2%	11.1%	-	-	-	0.0%				
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.9%	
77.8%	11.1%	11.1%	-	-	-	0.0%				



調査結果に対する見解

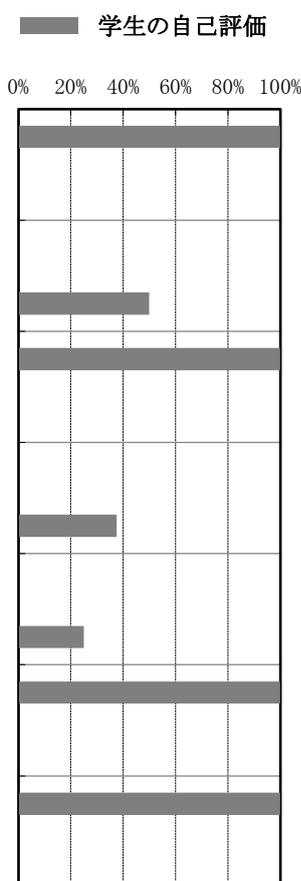
今年度は弾き歌いの個人レッスンを担当した。結果を拝見して、この教科の重要性は一応認識しているが、1週間トータルでの授業前・後の学修時間がそれぞれ30分程度と、1日平均では5分程度（おそらく週に1～2日練習するかどうか？）であることが残念であった。やはり1日あたりで2～30分は練習してもらいたいものである。一応その旨指導はしているが、アルバイトや他教科の学修などでなかなか手が回らない学生が多いようだ。特に、ピアノが得意な学生ではなく、苦手意識のある学生ほど練習時間が短くなる傾向があるので、そのような学生にいかにして練習する気を起こさせるかが引き続きの課題であると考えている。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育内容(表現・音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63050ad・bd 授業形態 : 演習 受講者数 : 13名 回答者数 : 8名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	8名	-	-	-	-	-	-	8名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	50.0%	25.0%	12.5%	-	12.5%	-	50.0%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
	50.0%	50.0%	-	-	-	-	0.0%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	-	37.5%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
-	-	25.0%	37.5%	37.5%	-	25.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			37.5%	62.5%	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			75.0%	25.0%	-	-	-	0.0%		



調査結果に対する見解

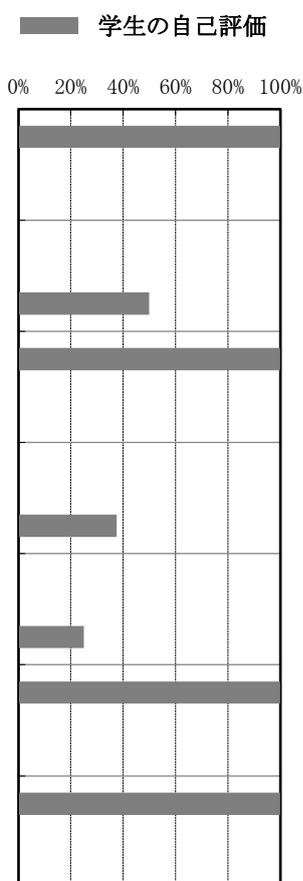
45分が講義、45分が個人指導型を主とした授業である。単元ごとに授業内容の理解の確認を行い、質問は随時受けるようにしているが、講義と個人指導型授業の入れ替わりに多少時間がかかることもある。「質問時間の設定」の数値は、この慌ただしさが原因のように思われる。当該学年はクロームブックを所持しておらず、尚且つ授業実施教室にプロジェクタが設置されていないため、授業はプリント配布と板書で進めた。「テキスト、板書、資料などの教材」については、このような状況下でのクラスルーム他の活用法などを含め、効果的な方法を考えていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大城 弓恵 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育内容(表現・音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63050ad・bd 授業形態 : 演習 受講者数 : 13名 回答者数 : 8名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	8名	-	-	-	-	-	-	8名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			50.0%	25.0%	12.5%	-	12.5%	-	50.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			50.0%	50.0%	-	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	-	37.5%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	-	-	25.0%	37.5%	37.5%	-	25.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			37.5%	62.5%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			75.0%	25.0%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

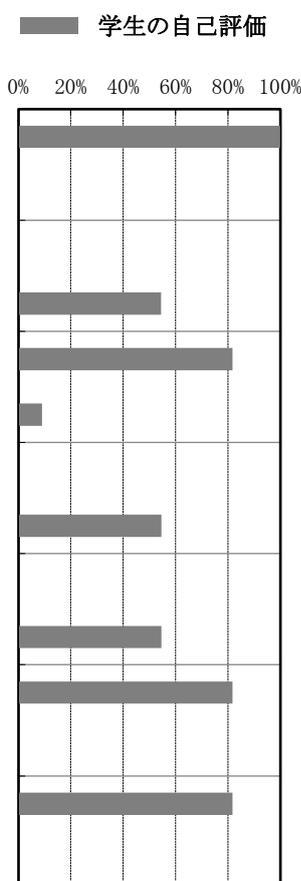
回答の通り、どの学生も新しい知識として弾き歌いに真摯に取り組んでくれていた。意欲や意識も高く、能動的に受講していた学生が多かった。実習や就職を目前にして、実践的な弾き歌いの技術取得を必要と感じたのではないかと思う。1回生からピアノを始めた学生が多かったが、どの学生もとても成長した姿をみせてくれた。継続して練習することの大切さ、また継続さえすれば必ず上達をすることを感じてもらえたら嬉しく思う。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育内容(表現・音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63050ae・be 授業形態 : 演習 受講者数 : 13名 回答者数 : 11名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	11名	-	-	-	-	-	-	11名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			72.7%	27.3%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	54.5%	18.2%	9.1%	-	18.2%	-	54.5%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	81.8%	
	54.5%	27.3%	9.1%	-	9.1%	-	9.1%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	27.3%	-	54.6%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	27.3%	-	54.6%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	81.8%	
			63.6%	18.2%	18.2%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	81.8%	
			54.5%	27.3%	18.2%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

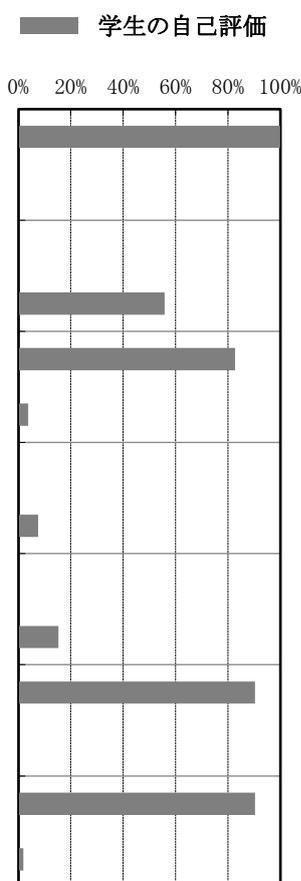
45分が講義、45分が個人指導型を主とした授業である。単元ごとに授業内容の理解の確認を行い、質問は随時受けるようにしているが、講義と個人指導型授業の入れ替わりに多少時間がかかることもある。「質問時間の設定」の数値は、この慌ただしさが原因のように思われる。当該学年はクロームブックを所持しておらず、尚且つ授業実施教室にプロジェクタが設置されていないため、授業はプリント配布と板書で進めた。「テキスト、板書、資料などの教材」については、このような状況下でのクラスルーム他の活用法などを含め、効果的な方法を考えていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 生駒 英法 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育表現演習 I **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 63080ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 61名 **回答者数** : 52名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	51名	1名	-	-	-	-	52名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			84.6%	15.4%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導を していますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
	55.8%	28.8%	7.7%	-	7.7%	-	55.8%			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	82.7%		
	55.8%	26.9%	13.5%	-	3.8%	-	3.8%			
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
3.8%	-	3.8%	26.9%	65.4%	-	7.6%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
3.8%	-	11.5%	30.8%	53.8%	-	15.3%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	90.4%	
			57.7%	32.7%	9.6%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	90.4%	
			76.9%	13.5%	7.7%	-	1.9%	-	1.9%	



調査結果に対する見解

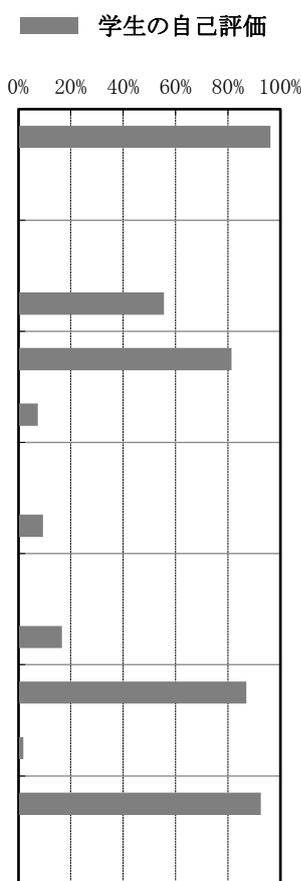
1回生では個人で制作するスタイルが主であったが、今回は2回生ということもありグループで1つの作品を制作する内容を行った。保育現場でも複数人で制作する場面があるためでもある。自由記述には、グループで制作することにより個人で制作するよりも良い作品ができたとの記述があった。その一方で、グループで行うための分担することを指導してほしいとの記述があったため、来年度は、グループで製作時の分担についても指導していきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中島 順子 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 障害児保育 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63130ab・53211 授業形態 : 演習 受講者数 : 65名 回答者数 : 54名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	52名	2名	-	-	-	-	54名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	96.3%	
			83.3%	13.0%	3.7%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	55.6%	22.2%	11.1%	-	11.1%	-	55.6%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	81.4%	
	48.1%	33.3%	11.1%	3.7%	3.7%	-	7.4%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
1.9%	1.9%	5.6%	37.0%	53.7%	-	9.4%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
1.9%	3.7%	11.1%	31.5%	51.9%	-	16.7%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	87.0%	
53.7%	33.3%	11.1%	1.9%	-	-	1.9%				
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	92.6%	
77.8%	14.8%	7.4%	-	-	-	0.0%				



調査結果に対する見解

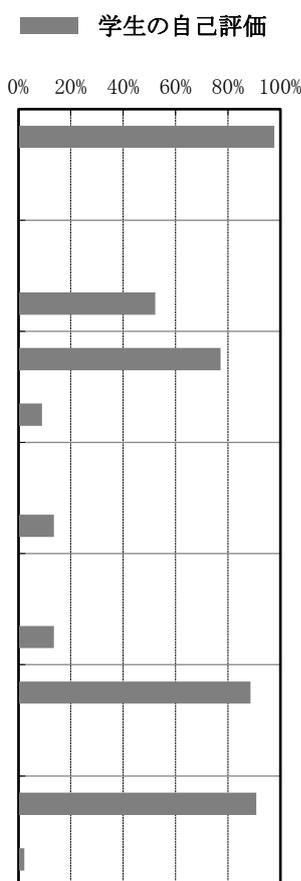
授業の進行はシラバスに準じ、コロナ感染予防の観点から対面授業は講義形式で進めました。授業内容については、事前・事後学習が取り組みやすいように単元ごとにその内容をまとめて読み物として、どこでも（通学時間など）読んで学べるように工夫しました。さらに、授業で確認できるように具体的に視覚的な支援としてパワーポイント、映像、写真などを使用し「見てわかる」「聞いてわかる」授業の展開を工夫し進めました。学生の評価からも、評価項目1・7や自由記述のたくさんコメントからもよりよい評価を受けたように考えられました。毎回の授業終了後は、学生の積極的な質問や感想を多く受け「知りたい」「学びたい」という意欲も感じられました。私自身も授業を行うことが楽しかったです。ありがとうございました。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 樹下 堅 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育方法の理論と実践 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 63170ab・54101 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 66名 **回答者数** : 44名

回答者 内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	42名	2名	-	-	-	-	44名	-	-

学修 成果	評価項目	教員 の 自己 評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う 68.2%	ある程度 思う 29.5%	どちらとも 言えない 2.3%	あまり 思わない -	全く 思わない -	無回答 -	97.7%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけの す	欠席回数 0回 52.3%	欠席回数 1回 27.3%	欠席回数 2回 6.8%	欠席回数 3回以上 -	分から ない 13.6%	無回答 -	「欠席回数 0回」の割合 52.3%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする 38.6%	できる だけの す 38.6%	時々する 13.6%	あまり しない 2.3%	全くしない 6.8%	無回答 -	77.2%	
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	90分 以上 4.5%	60分 程度 2.3%	45分 程度 6.8%	30分 程度 25.0%	15分 未満 61.4%	無回答 -	「45分程度」 以上の割合 13.6%	
	5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	45分程度	90分 以上 4.5%	60分 程度 2.3%	45分 程度 6.8%	30分 程度 29.5%	15分 未満 56.8%	無回答 -	「45分程度」 以上の割合 13.6%	
	III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した 38.6%	ある程度 貢献した 50.0%	どちらとも 言えない 11.4%	あまり 貢献 しなかつた -	全く 貢献 しなかつた -	無回答 -	88.6%
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう 思う	そう 思う 59.1%	ある程度 思う 31.8%	どちらとも 言えない 4.5%	あまり 思わない -	全く 思わない 2.3%	無回答 2.3%	90.9%	



調査結果に対する見解

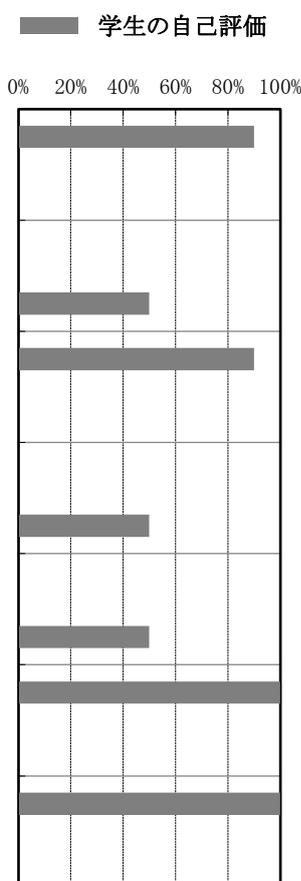
国のGIGAスクールの流れもあることから、実践として園だよりや指導案作りをPCで行う授業も取り入れるようにした。幼稚園、保育園の指導案の型を示すことで、手書きのものをデジタル化することができるようになった。図についてもパワーポイントを併用することで、思うような図を挿入することができるようになり、アンケートの自由記述にも表れている。理論面としては学習指導要領を中心に進め、結果として新しい知識や教養を得ることができたと回答した学生は98%近くになった。また、社会で生かそうとする内容が得られたかについても90%以上の学生が肯定的な回答をしている。一方で、小学校、幼稚園、保育園の内容のバランスには再考が必要であると考えている。小学校就職希望者がゼロのクラスもあり、保幼小連携も含め指導したが、今後幼稚園、保育園の内容をもっと増やすべきであると考えている。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 石上 浩美 **職名** : 准教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(心と発達) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 63200b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 14名 **回答者数** : 10名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	9名	1名	-	-	-	-	-	10名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	90.0%	
			80.0%	10.0%	10.0%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	-	-	50.0%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	90.0%	
	50.0%	40.0%	10.0%	-	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
10.0%	-	40.0%	40.0%	10.0%	-	-	-	50.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
20.0%	-	30.0%	50.0%	-	-	-	-	50.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			70.0%	30.0%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			90.0%	10.0%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

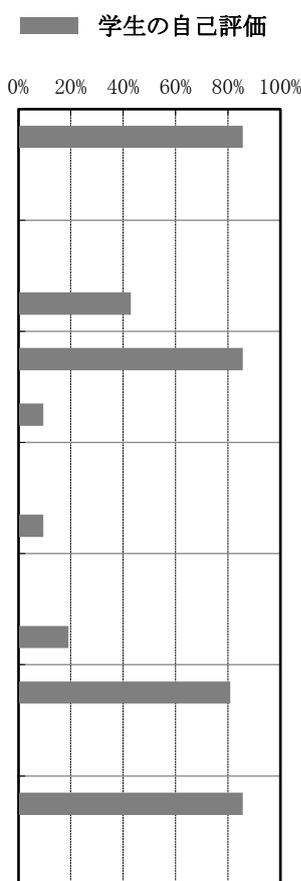
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防の影響による不安が学生にあるようで、当初計画を大幅に修正せざるを得なかった。前年度から2グループで作成していた手づくり絵本(紙芝居)はほぼ完成し、音楽表現との融合を試みた。学生の自主性を尊重しつつ今後の授業改善に努めたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大石 祥寛 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(スポーツ) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 63200c **授業形態** : 演習 **受講者数** : 22名 **回答者数** : 21名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	21名	-	-	-	-	-	-	21名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	85.7%	
			71.4%	14.3%	14.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			42.9%	23.8%	9.5%	4.8%	19.0%	-	42.9%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	85.7%	
			52.4%	33.3%	4.8%	4.8%	4.8%	-	9.6%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	9.5%	-	-	33.3%	57.1%	-	9.5%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	9.5%	4.8%	4.8%	23.8%	57.1%	-	19.1%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
61.9%	19.0%				19.0%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	85.7%	
			66.7%	19.0%	14.3%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

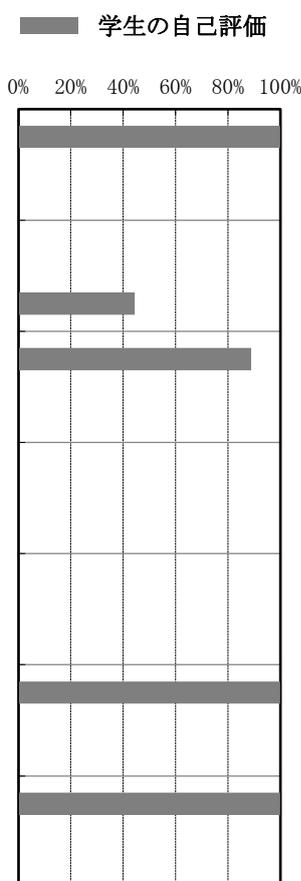
本科目の学修内容である「幼少期の運動遊びを豊かにするために必要とされる基本的な知識や技能を子どもが習得することの必要性を理解し、子どもが安全に楽しく動かすための指導上の工夫や手だて、発達の特性に合った運動指導の方法や具体的な援助の仕方について実践的に学習する。」ことに1年間通して取り組むために、前期の前半は様々な運動遊びに触れ、様々な運動パターンとバリエーションを引き出す環境づくりと指導について理解を深めるために様々な実技を実施した。また、附属幼稚園年長クラスの運動遊び指導を計画・指導実践をすることで、到達目標である「1. 子どもが安全についての理解を深めながら、安全に楽しく遊べる環境を整えることができる。」「2. 子どもが自発的に体を動かして遊びたいようになるように環境構成を工夫することができる。」ことが達成できるように準備と実践、振り返りを行った。本科目は前期・後期を通して到達目標の達成を目指しているため、調査の時期は到達目標達成のための取組途中の段階であった。調査の結果、「1. この授業で新しい知識や教養を得ることができましたか。」の設問に対して85.7%が「そう思う(71.4%)」又は「ある程度そう思う(14.3%)」に回答していた。学習成果を感じたと判断できる回答が授業開講時期の途中で得られたことは評価ができるものの、14.3%の学生が「どちらとも言えない」と学修効果を感じていないと言える回答をしているため、今後の授業充実のために要因の検討が必要となる。自由記述において「附属幼稚園の運動指導についての授業以外のときは子どもの運動指導について学ぶことがほとんどない」との回答があった。実際は、運動のレポーターおよびバリエーションについて考えを深めるために授業を行っていたが、そのねらいは伝わっていなかったと推察できる。今後は、授業開始前に本時の課題(めあて)を明確に提示し、課題に対する振り返りの充実を図りたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉田 香代子 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 総合演習(自然と遊び) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63200d・54201d 授業形態 : 演習 受講者数 : 11名 回答者数 : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	-	8名	1名	-	-	-	-	-	9名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							
			回答選択肢							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			44.4%	44.4%	11.1%	-	-	-	44.4%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	88.9%	
			55.6%	33.3%	11.1%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答
-	-	-			22.2%	77.8%	-	0.0%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	15分未満	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
		-	-	-	22.2%	77.8%	-	0.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%	
			44.4%	55.6%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

どのように子どもが自然に親しみを持ち、自然との関わりを楽しめるかについて教材についての研究、演習をしてきた。学生が自ら調べ、実践に生かしていけるように授業を進めていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 総合演習(音楽) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 63200g 授業形態 : 演習 受講者数 : 7名 回答者数 : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	-	5名	-	-	-	-	-	-	5名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢						無回答		上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	ある程度 思う	そう 思う 100.0%	ある程度 思う -	どちらとも 言えない -	あまり 思わない -	全く 思わない -	無回答 -	100.0%	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回 60.0%	欠席回数 1回 -	欠席回数 2回 -	欠席回数 3回以上 20.0%	分から ない 20.0%	無回答 -	「欠席回数 0回」の割合 60.0%		
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする 40.0%	できる だけする 20.0%	時々する 20.0%	あまり しない 20.0%	全く しない -	無回答 -	60.0%	20.0%	
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上 40.0%	60分 程度 20.0%	45分 程度 -	30分 程度 40.0%	15分 未満 -	無回答 -	「45分程度」 以上の割合 60.0%		
	5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上 40.0%	60分 程度 40.0%	45分 程度 -	30分 程度 20.0%	15分 未満 -	無回答 -	「45分程度」 以上の割合 80.0%		
	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した 80.0%	ある程度 貢献した -	どちらとも 言えない 20.0%	あまり 貢献 しなかつた -	全く 貢献 しなかつた -	無回答 -	80.0%	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う 80.0%	ある程度 思う 20.0%	どちらとも 言えない -	あまり 思わない -	全く 思わない -	無回答 -	100.0%	0.0%	

調査結果に対する見解

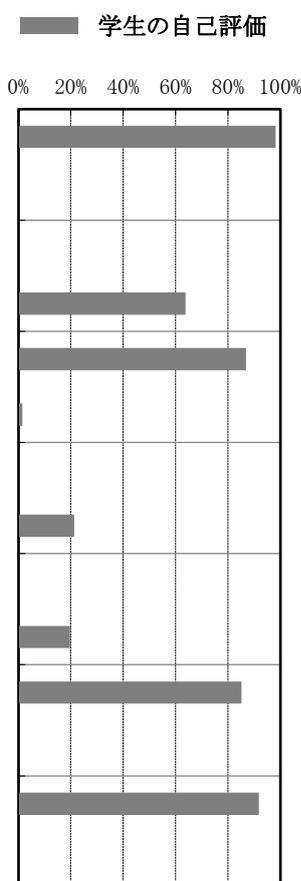
読譜力や演奏技術について、受講生にかなりバラつきがある。このバラつきは、特に楽器演奏に関する授業に関して「授業展開を遅くしてほしい」の項目数値に表れているのではないかと考える。受講生全員の学修進捗状況を揃えることはかなり難しいが、到達目標を少し低めに設定し、工夫をしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 音楽 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64060ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 67名 回答者数 : 61名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	61名	-	-	-	-	-	-	-	61名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.3%	
			77.0%	21.3%	1.6%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	63.9%	11.5%	16.4%	1.6%	6.6%	-	63.9%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	86.9%		
	36.1%	50.8%	9.8%	1.6%	-	1.6%	1.6%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4.9%	4.9%	11.5%	37.7%	41.0%	-	21.3%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
4.9%	6.6%	8.2%	47.5%	32.8%	-	19.7%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	85.2%	
42.6%	42.6%	14.8%	-	-	-	0.0%				
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	どちらとも言えない	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	91.8%	
59.0%	32.8%	8.2%	-	-	-	0.0%				



調査結果に対する見解

講義形式で、3回の振り返りテストを実施した。授業では單元ごとに教科書を補足する形のPPT資料をクラスルームで配付し、進めている。ある程度進むたびに理解出来ているかどうかの確認を取り、振り返りテストは自分の弱いところが明確になるような設問にしている。また、希望する学生には授業外指導も実施しているが、特に5線譜を全く読めない状態で入学してきた学生にとっては情報が多く、授業展開に付いてくるのが精いっぱいである。「授業展開を遅くしてほしい」という項目の数値はこの層の学生によるものと思われる。このような学生を対象に、特に振り返りテスト後に理解の定着を図る工夫をしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 音楽Ⅲ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64080a・55321 授業形態 : 演習 受講者数 : 9名 回答者数 : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	-	5名	2名	-	-	-	-	-	7名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回 答 選 択 肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	どちらも 言えない	そう 思う	ある程度 思う	どちらも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	85.7%			
			57.1%	28.6%	14.3%	-	-	-	0.0%			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合			
			57.1%	14.3%	28.6%	-	-	-	57.1%			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	71.4%			
			14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	-	-	14.3%			
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	-	14.3%	-	71.4%	14.3%	-	14.3%				
		14.3%	14.3%	-	57.1%	14.3%	-	28.6%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合				
		14.3%	14.3%	-	57.1%	14.3%	-	28.6%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	どちらも 言えない	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	85.7%			
			14.3%	71.4%	14.3%	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	85.7%			
			57.1%	28.6%	14.3%	-	-	-	0.0%			

調査結果に対する見解

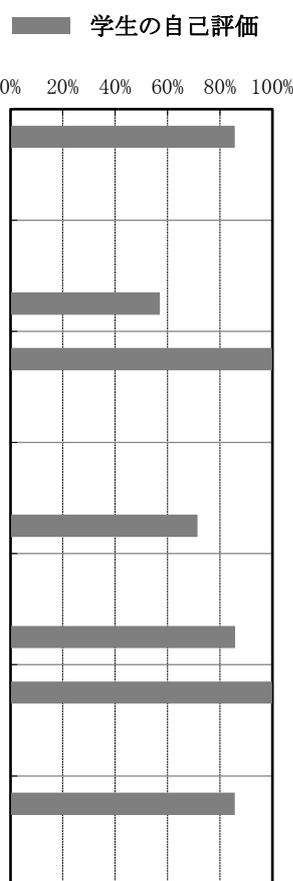
この授業は非常勤講師も含め6名の教員で実施している個人指導型を主とした授業であるが、1コマに50名強の学生が受講した。そのため、教員が授業内で一受講生あたりに避ける指導時間はかなり短かったように思う。希望者には専任教員による質問受付や授業外指導を実施しているが、授業担当教員が非常勤講師の受講生については、授業外の質問に消極的な印象である。「質問時間の設定」の数値は、この現状の表れであると思われる。個人指導型授業のためグループワークは難しいが、コマ数と教員配置も含め、授業設定の見直しを行いたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 和田 宏一 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 音楽Ⅲ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64080ad 授業形態 : 演習 受講者数 : 10名 回答者数 : 7名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	7名	-	-	-	-	-	-	7名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	85.7%	
			85.7%	-	14.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			57.1%	14.3%	-	-	28.6%	-	57.1%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			71.4%	28.6%	-	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	-	71.5%		
		90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	42.9%	14.3%	28.6%	-	14.3%	-	85.8%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答
71.4%	28.6%				-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	85.7%	
			85.7%	-	14.3%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

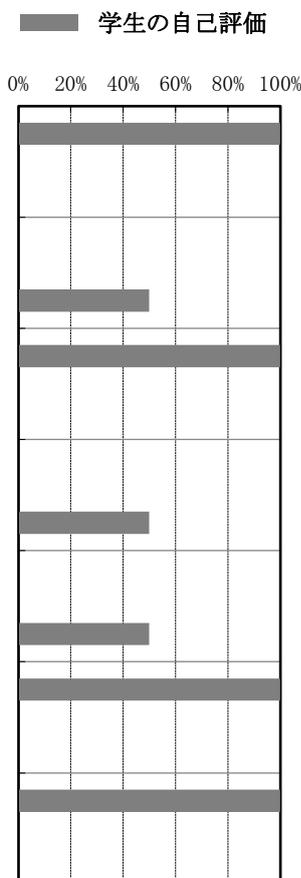
今年度の音楽Ⅲは学生を10人担当したため、一人あたりのレッスン時間が9分となってしまう、そのことに対する意見が自由記述の前半2つに反映されていると思う。しかし、その時間的制約の中で、コツやポイントに的を絞ったレッスンを意識したことが自由記述の後半2つに表われており、一応の評価を得られたものにとらえている。興味深いのは、前述の保育内容（表現・音楽）に比べ授業前後の学修時間が概ね多いことで、音楽Ⅲの方に重点を置いて練習している学生が多いことがうかがえる。今後はこれら2つの授業が器楽演習Ⅲに集約されるため、就職のことを考えると、ピアノ曲だけでなく、弾き歌いの課題にも積極的に取り組むように工夫する必要があるように思う。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 玉井 奈摘 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅲ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 64080ae **授業形態** : 演習 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 4名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	4名	-	-	-	-	-	-	4名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			75.0%	25.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	50.0%	-	50.0%	-	-	-	-	50.0%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
	75.0%	25.0%	-	-	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
25.0%	25.0%	-	50.0%	-	-	-	50.0%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
25.0%	25.0%	-	50.0%	-	-	-	50.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
75.0%	25.0%	-	-	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
75.0%	25.0%	-	-	-	-	-	0.0%			



調査結果に対する見解

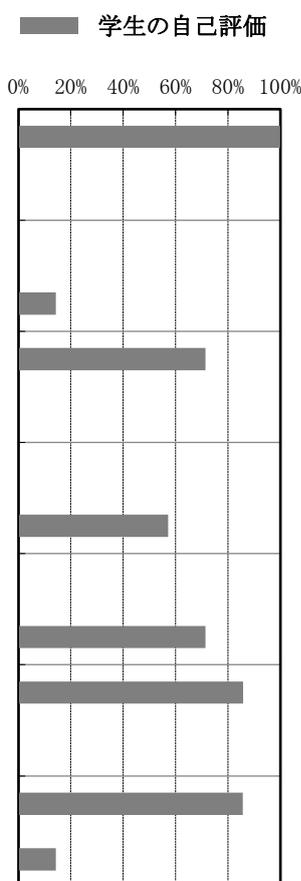
受講人数が多く、90分で7人の個人レッスンをしなければならないため、毎時間一番気になるところ（改善点・伝えたいこと）を重点的にレッスンすることを心掛けた。各々レベルもバラバラであり、指番号や音の確認で終わってしまう生徒、音の向きや曲想にあったタッチの仕方など踏み込んだ内容のレッスンができる生徒等、様々であった。この音楽Ⅲ開講時は、保育（表現）の弾き歌い授業も並行して行われており、両方の課題をこなすことが困難な生徒もみられた。初心者が躓く読譜の最大のポイントはリズムであり、まだまだリズムの理解度が低いと感じた。改善策として「リズム譜」を用いたリズム奏や、苦手なリズムパターン（八分音符+四分音符+八分音符など）を繰り返し実践していければと思う。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 紺谷 志野 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 音楽Ⅲ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64080af 授業形態 : 演習 受講者数 : 8名 回答者数 : 7名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	7名	-	-	-	-	-	-	7名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			71.4%	28.6%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			14.3%	57.1%	-	-	28.6%	-	14.3%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけの	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	71.4%	
			57.1%	14.3%	28.6%	-	-	-	0.0%	
			90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	28.6%	-	28.6%	42.9%	-	-	57.2%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	45分程度	42.9%	-	28.6%	28.6%	-	-	71.5%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	85.8%	
			42.9%	42.9%	14.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	85.7%	
			71.4%	14.3%	-	14.3%	-	-	14.3%	



調査結果に対する見解

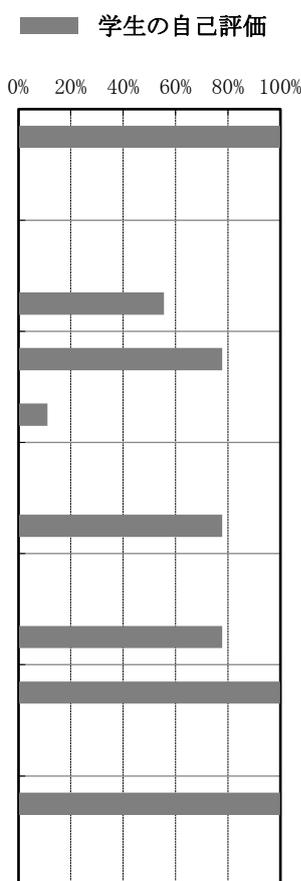
音楽Ⅲの「学生による学修成果に関する調査」の結果は、概ね想定通りの結果であった。前期は1コマの担当学生が例年以上に多く、個人レッスンの時間は短かったが、上達できる練習方法や前向きに授業に取り組める雰囲気づくりを心掛け、継続して学ぶ姿勢を育てることを重視した指導を行った。今後も音楽の先生方と協力して、学生の自主的に学ぶ力を育てられるよう努力したい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105aa.ba 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	9名	-	-	-	-	-	-	-	9名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	55.6%	11.1%	22.2%	-	11.1%	-	55.6%			
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	77.8%	
	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	-	-	11.1%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
55.6%	-	22.2%	22.2%	-	-	77.8%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			77.8%	22.2%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

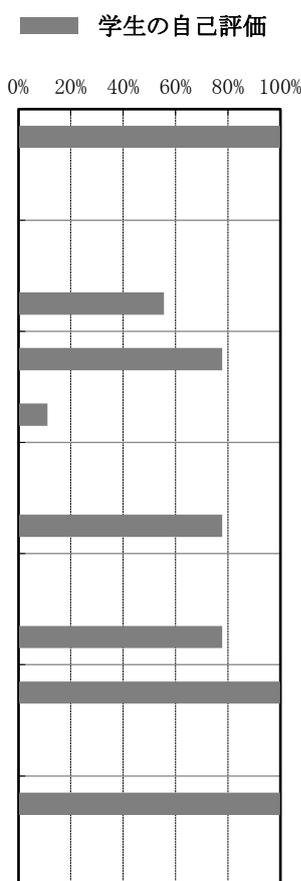
当該授業はグループ型指導45分+個人型指導45分で実施している。全体の6割以上がピアノ初心者ではあるものの、初心者と経験者が混在しているため到達目標については設定しづらいところがあるが、特にグループ型指導では15回の授業内での中期目標、長期目標も毎回明示し、授業を進めていくようにしたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 山下 玲子 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105aa・ba 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	9名	-	-	-	-	-	-	-	9名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			55.6%	11.1%	22.2%	-	11.1%	-	55.6%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけの	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	77.8%	
			55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	-	-	11.1%	
			90分以上	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度以上の割合」
4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	90分以上	55.6%	-	22.2%	22.2%	-	-	77.8%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	55.6%	11.1%	11.1%	22.2%	-	-	77.8%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			77.8%	22.2%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

初心者が多く、学生達がピアノに対して不安と期待を抱いていることを多々感じつつ、器楽演習 I では、段階を踏みながら、練習方法などを個々に応じて丁寧に指導をするよう心がけた。学生が、レッスン時間内で習得したことを、それだけで満足してしまうのではなく、それを日々の練習で繰り返し積み重ね、そこから演奏技術上達の実感を得ていくのが望ましい。後期の器楽演習 II ではなお一層の努力を必要とするので、事前事後学修の時間を増やして確保し、保育の現場で役立つ学修を継続していけるよう、指導に工夫していく。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ab・bb 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	9名	-	-	-	-	-	-	-	9名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢						無回答		上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			55.6%	22.2%	-	11.1%	11.1%	-	55.6%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	でき る だけ する	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	100.0%		
			77.8%	22.2%	-	-	-	-	0.0%		
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未 満		無回答
22.2%	11.1%	22.2%			33.3%	11.1%	-	55.5%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未 満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
11.1%	11.1%	11.1%	44.4%	22.2%	-	33.3%					
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しな かつた	全く 貢献 しな かつた	無回答	100.0%		
			77.8%	22.2%	-	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%		
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

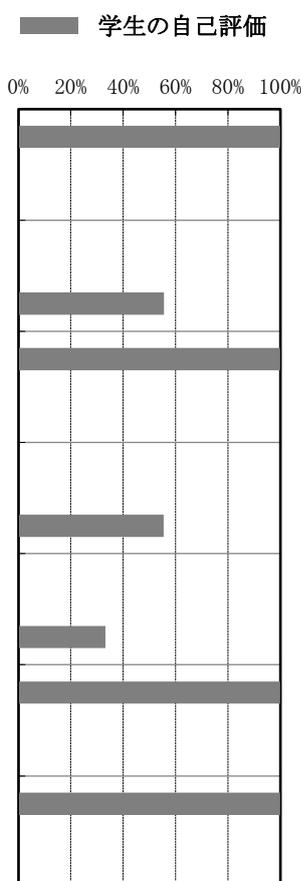
当該授業はグループ型指導45分+個人型指導45分で実施している。全体の6割以上がピアノ初心者ではあるものの、初心者と経験者が混在しているため到達目標については設定しづらいところがあるが、特にグループ型指導では15回の授業内での中期目標、長期目標も毎回明示し、授業を進めていくようにしたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 中島(上杉) 倍代 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ab・bb 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 9名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	9名	-	-	-	-	-	-	-	9名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけのする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			55.6%	22.2%	-	11.1%	11.1%	-	55.6%	
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけのする	必ずする	できるだけのする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
			77.8%	22.2%	-	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
22.2%	11.1%	22.2%			33.3%	11.1%	-	55.5%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			11.1%	11.1%	11.1%	44.4%	22.2%	-	33.3%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			77.8%	22.2%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

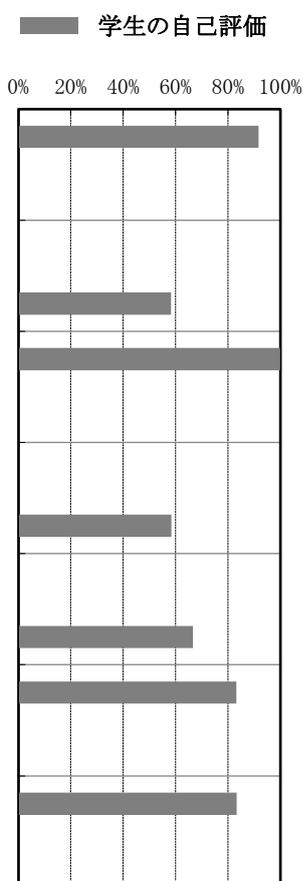
弾き歌いのクラス授業とピアノの個人レッスンを組み合わせた授業であったが、担当の学生全員が社会で役立つ事が出来る
 と回答したのは良かったと感じる。また、少数が到達目標の明示を希望していた。ピアノはグレード制なので到達目標は分かり
 易いのではないかと考えていたが 個人個人ともしっかり確認をして目標をしっかり把握する事を心がけたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ac・bc 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 12名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	12名	-	-	-	-	-	-	-	12名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	91.7%	
			75.0%	16.7%	8.3%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	58.3%	16.7%	8.3%	-	16.7%	-	-	58.3%		
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	100.0%	
	75.0%	25.0%	-	-	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
16.7%	16.7%	25.0%	25.0%	16.7%	-	-	58.4%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
25.0%	25.0%	16.7%	16.7%	16.7%	-	-	66.7%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	83.3%	
			50.0%	33.3%	16.7%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると思えますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	83.4%	
			66.7%	16.7%	16.7%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

当該授業はグループ型指導45分+個人型指導45分で実施している。全体の6割以上がピアノ初心者ではあるものの、初心者と経験者が混在しているため到達目標については設定しづらいところがあるが、特にグループ型指導では15回の授業内での中期目標、長期目標も毎回明示し、授業を進めていくようにしたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 宮田 眞理 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ac・bc 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 12名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	12名	-	-	-	-	-	-	-	12名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価 0% 20% 40% 60% 80% 100%
			回 答 選 択 肢								
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	91.7%		
			75.0%	16.7%	8.3%	-	-	-	0.0%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			58.3%	16.7%	8.3%	-	16.7%	-	58.3%		
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	100.0%		
			75.0%	25.0%	-	-	-	-	0.0%		
			90分以上	90分以上	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	90分以上	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	90分以上	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	83.3%		
			50.0%	33.3%	16.7%	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	83.4%		
			66.7%	16.7%	16.7%	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

器楽演習 I はピアノの初歩の授業で、今まで楽譜を読んだことのない学生も多数見受けられ、個々の力量の差も見られるので、授業では1週間の練習成果を見るだけでなく、次の授業までの1週間を見通して、練習のポイント・練習の仕方を伝え自宅学習がスムーズに出来るように努めている。よって学生による学修成果調査では「学習成果II-4・5」にいつも注目している。ここに表れる練習時間の多少を、今後の個々の学生への指導の目安にしたいと思っている。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ad・bd 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	8名	-	-	-	-	-	-	-	8名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	-		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	87.5%	
			87.5%	12.5%	-	-	-	-	-		
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	75.0%	75.0%	
			62.5%	12.5%	25.0%	-	-	-	-		
			0.0%								
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	75.0%		
		62.5%	12.5%	-	25.0%	-	-	-			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	75.0%		
		50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	-	-	-			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	87.5%	87.5%	
			62.5%	25.0%	12.5%	-	-	-	-		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	87.5%	87.5%	
			75.0%	12.5%	-	12.5%	-	-	-		

調査結果に対する見解

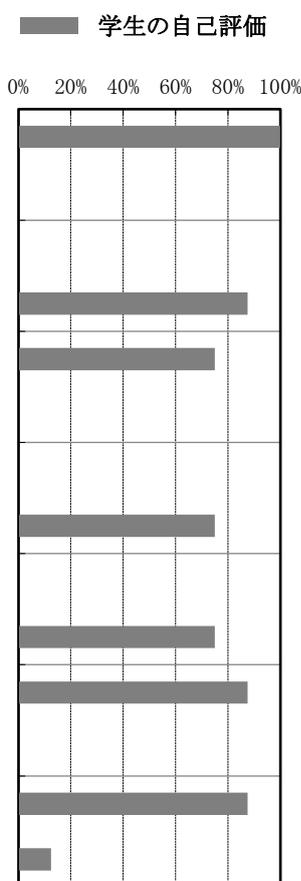
当該授業はグループ型指導45分+個人型指導45分で実施している。全体の6割以上がピアノ初心者ではあるものの、初心者と経験者が混在しているため到達目標については設定しづらいところがあるが、特にグループ型指導では15回の授業内での中期目標、長期目標も毎回明示し、授業を進めていくようにしたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大城 弓恵 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ad・bd 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 8名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	8名	-	-	-	-	-	-	-	8名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			87.5%	12.5%	-	-	-	-	87.5%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	75.0%	
			62.5%	12.5%	25.0%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
62.5%	12.5%	-			25.0%	-	-	75.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	-	-	75.0%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	87.5%	
			62.5%	25.0%	12.5%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	87.5%	
			75.0%	12.5%	-	12.5%	-	-	12.5%	



調査結果に対する見解

回答の通り、本授業で担当した学生は欠席も少なく、課題に対して真摯に取り組んでくれた様に感じる。ピアノ初心者の学生も多くあったが目標課題をクリアし、発表会ではそれぞれに成長を感じられる演奏を聞かせてくれた。自由記述の「レッスン時間の差」に関しては、レッスン順ではなくレベルによってどうしても起こってしまう。上級者は曲の自体の長さがあるのでどうしても初心者と同じ時間では内容的に平等な指導が出来かねる為である。そこを理解してもらえるよう丁寧な説明が必要だと感じた。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ae・be 授業形態 : 演習 受講者数 : 11名 回答者数 : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	6名	-	-	-	-	-	-	-	6名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回 答 選 択 肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%		
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	-			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	83.3%		
			83.3%	-	16.7%	-	-	-	-			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	83.3%	16.7%		
			50.0%	33.3%	-	16.7%	-	-	-			
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満			無回答
33.3%	16.7%	-	50.0%		-	-	-					
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合	50.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	100.0%	0.0%		
			66.7%	33.3%	-	-	-	-	-			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	0.0%		
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	-			

調査結果に対する見解

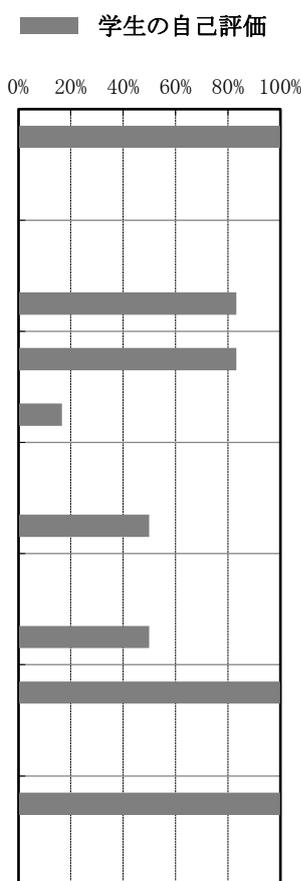
当該授業はグループ型指導45分+個人型指導45分で実施している。全体の6割以上がピアノ初心者ではあるものの、初心者と経験者が混在しているため到達目標については設定しづらいところがあるが、特にグループ型指導では15回の授業内での中期目標、長期目標も毎回明示し、授業を進めていくようにしたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 玉井 奈摘 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 器楽演習 I 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64105ae・be 授業形態 : 演習 受講者数 : 11名 回答者数 : 6名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	6名	-	-	-	-	-	-	-	6名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			83.3%	16.7%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	83.3%	-	16.7%	-	-	-	-	83.3%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	83.3%	
	50.0%	33.3%	-	16.7%	-	-	-	16.7%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
33.3%	16.7%	-	50.0%	-	-	-	50.0%			
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
33.3%	16.7%	-	50.0%	-	-	-	50.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
66.7%	33.3%	-	-	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
83.3%	16.7%	-	-	-	-	-	0.0%			



調査結果に対する見解

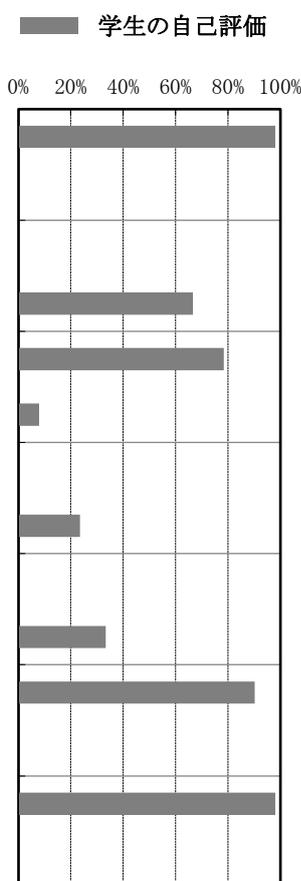
担当となった生徒は初心者・経験ありが半々であり、どちらもとても雰囲気良く取り組めていたと感じる。初心者には基本となる「姿勢・指の形・脱力」など、変な癖がついてしまわないよう毎時間アドバイスするようにしていた。手を見て弾いてしまう生徒が多く、なるべく楽譜を見て弾くようにレッスンしていると、弾きなおなどのミスも減り演奏技術も上達したように思う。今期から弾き歌いも授業内でレッスンしなければならず、短いレッスン時間での時間配分に苦労した。グレード制であることが教員側からは学生の到達点がわかりやすく、また学生にとってもモチベーションを維持するのにとても有効であった。コロナ対策による個人練習室の割り当ても、学生の入替わりがスムーズになり改善された。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 生駒 英法 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 図画工作 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64125ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 67名 回答者数 : 51名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	51名	-	-	-	-	-	-	-	51名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.1%	
			86.3%	11.8%	2.0%	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合 66.7%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	78.4%	
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合 23.6%	
	5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合 33.4%	
	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.2%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	98.1%	
			82.4%	15.7%	2.0%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

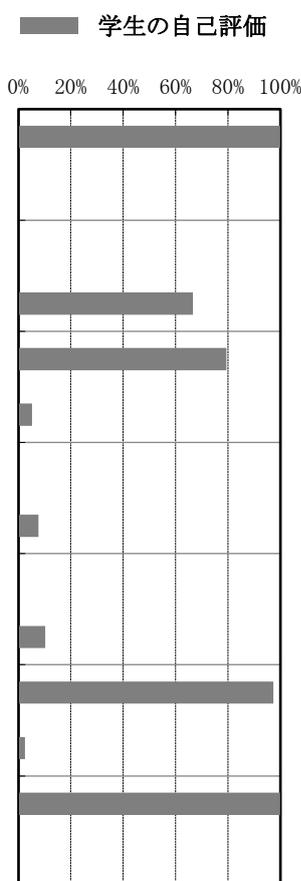
1回生対象として、絵画の基礎的内容を指導してきた。自由記述では、概ね学びになったとの記述があったが、課題数が多く授業時間内に提出できないとの記述があったが、これは製作時間に個人差があるため改善が難しいと考える。また、クレヨンや画用紙といった備品についても改善が必要な記述があったため、来年度より検討していきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大石 祥寛 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 体育 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64140ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 67名 回答者数 : 39名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	39名	-	-	-	-	-	-	-	39名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			82.1%	17.9%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけの	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	66.7%	15.4%	5.1%	5.1%	7.7%	-	66.7%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	79.5%	
	30.8%	48.7%	12.8%	2.6%	2.6%	2.6%	5.2%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
2.6%	5.1%	-	28.2%	61.5%	2.6%	7.7%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
2.6%	7.7%	-	35.9%	53.8%	-	10.3%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	97.4%	
			53.8%	43.6%	-	2.6%	-	-	2.6%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			76.9%	23.1%	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

時間、本時の課題(めあて)を示したうえで実技を行い、最後の振り返りの時間を設けた。また、履修学生の学修成果の程度を確認するためにsaho naviによる課題提出を課し、2日後までの提出を求めた。学習成果に関する調査の結果、「1. この授業で新しい知識や教養を得ることができましたか。」との質問に対して回答者全員が「そう思う」又は「ある程度そう思う」に回答していたこと、自由記述にて「子どもに対する指導の仕方や発展の基礎を学ぶことができた」「毎授業ねらいが明確に掲示されており、授業後の振り返りがしやすい」「どうすれば子ども達が楽しんで身体を動かせるのかを考えることができた。」「子どもの自己や怪我などの危険なことに意識を向けて取り組めるようになっていた」などの解答が得られたことから、本科目の到達目標である「1. 実技実習を通して各種運動能力を高めるとともに、各技能の獲得過程から子どもの補助ならびに援助の仕方を学び、指導できるようになる。」「2. 器具・用具の配置や使い方を工夫し、安全面、発達段階及び運動課題の難易度を配慮して、幼少期の子どもの運動遊びを構成できるようになる。」ことを実感している学生は多かったものと考えられた。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大山 宮和瑚 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナール I (音楽表現) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64200a 授業形態 : 演習 受講者数 : 5名 回答者数 : 3名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	3名	-	-	-	-	-	-	-	3名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	0.0%
			100.0%	-	-	-	-	-	-	-
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	66.7%
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	66.7%	0.0%
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	0.0%
	5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	0.0%
	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	0.0%
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	0.0%

調査結果に対する見解

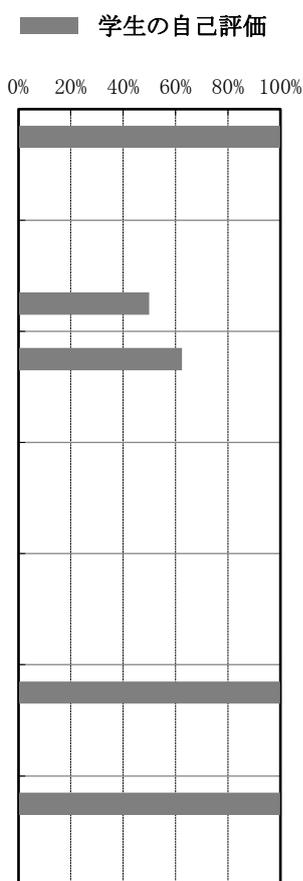
前期は楽器作りとハンドベル演奏を中心として授業を展開した。「グループワークの実施」の数値に見られるように、学生は楽器作りよりもハンドベルの方が、より楽しんで取り組めるようである。楽器作りの際には「情報や事例の提供」について工夫をし、ハンドベル演奏への取り組みでメリハリを付けつつ、適度なバランスで授業を進めていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 木田 一芳 職名 : 教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナール I (自然と遊び) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64200d 授業形態 : 演習 受講者数 : 9名 回答者数 : 8名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	8名	-	-	-	-	-	-	-	8名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			87.5%	12.5%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	50.0%	12.5%	12.5%	-	25.0%	-	-	50.0%		
	3 分からない事があつたり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	62.5%	
	25.0%	37.5%	37.5%	-	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
-	-	-	-	37.5%	62.5%	-	-	0.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
-	-	-	-	37.5%	62.5%	-	-	0.0%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	大いに配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
50.0%	50.0%	-	-	-	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
75.0%	25.0%	-	-	-	-	-	-	0.0%		



調査結果に対する見解

将来、保育士や幼稚園教諭として勤務した時に、すぐに役立つように保育所・幼稚園で行われている野菜・草花の栽培活動法や収穫物の活用法について学修することに重点を置いている。特に、学生が栽培体験を経験する中で、常に植物の変化に「気付く」時間を設定し、観察する力の養成に努めている。「この授業の内容から社会で活かそうと思う内容が得られましたか」という項目で「思うが100%」はこのためだと思う。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 勝田 麻津子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (子育て支援) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 64200f **授業形態** : 演習 **受講者数** : 8名 **回答者数** : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	7名	-	-	-	-	-	-	-	7名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							
			回 答 選 択 肢						上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学 生 の 自 己 評 価
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			85.7%	14.3%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			42.9%	14.3%	28.6%	-	14.3%	-	42.9%	
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	85.7%	
			28.6%	57.1%	14.3%	-	-	-	0.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	
-	14.3%	14.3%			42.9%	28.6%	-	28.6%		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
		-	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	-	28.6%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献しなかつた	全く 貢献しなかつた	無回答	100.0%	
			28.6%	71.4%	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			42.9%	57.1%	-	-	-	-	0.0%	

調査結果に対する見解

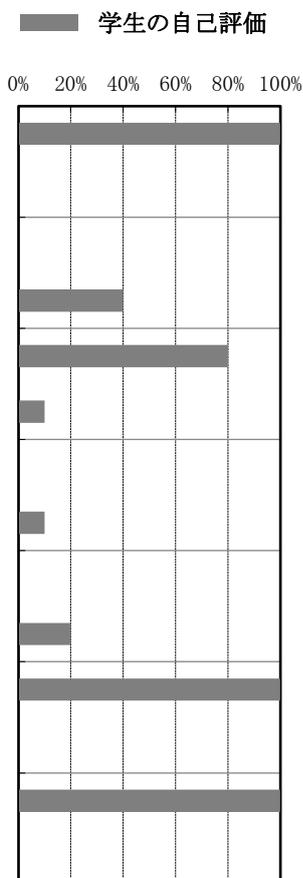
ゆめの丘SAHO「子育て支援センター」への実践活動をフィールドとして、学びを深めことがゼミ活動の目的であったが、コロナ禍の現状で実現できず試行錯誤の前期活動となった。後期は「子育て支援センター」活動参加の回数を増やし、ゼミ学生一人ひとりの学びの目的を明確にして、子育て支援活動からの実践的学びを深めていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 杉島 尚徳 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナール I (幼児体育)・ゼミナール I (スポーツ) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64200g・64200gc 授業形態 : 演習 受講者数 : 18名 回答者数 : 10名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	10名	-	-	-	-	-	-	-	10名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	時々する	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
			40.0%	20.0%	10.0%	-	30.0%	-	40.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	できるだけする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	80.0%	
			60.0%	20.0%	10.0%	-	10.0%	-	10.0%	
			4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答
10.0%	-	-			10.0%	80.0%	-	10.0%		
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	15分未満	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
			10.0%	-	10.0%	10.0%	70.0%	-	20.0%	
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			100.0%	-	-	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 樹下 堅
 職名 : 教授
 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナール I (こども教育)
 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64200h
 授業形態 : 演習
 受講者数 : 10名
 回答者数 : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	5名	-	-	-	-	-	-	-	5名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢								上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	そう思う	そう 思う 80.0%	ある程度 思う 20.0%	どちらとも 言えない -	あまり 思わない -	全く 思わない -	無回答 -	100.0%	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回 80.0%	欠席回数 1回 20.0%	欠席回数 2回 -	欠席回数 3回以上 -	分から ない -	無回答 -	「欠席回数 0回」の割合	80.0%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする 40.0%	できる だけする 40.0%	時々する 20.0%	あまり しない -	全くしない -	無回答 -	80.0%	0.0%	
	4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上 -	60分 程度 20.0%	45分 程度 -	30分 程度 -	15分 未満 80.0%	無回答 -	「45分程度」 以上の割合	20.0%	
	5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上 20.0%	60分 程度 -	45分 程度 -	30分 程度 -	15分 未満 80.0%	無回答 -	「45分程度」 以上の割合	20.0%	
	III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	大いに 配慮した	大いに 貢献した 40.0%	ある程度 貢献した 60.0%	どちらとも 言えない -	あまり 貢献 しなかった -	全く 貢献 しなかった -	無回答 -	100.0%	0.0%
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う 60.0%	ある程度 思う 40.0%	どちらとも 言えない -	あまり 思わない -	全く 思わない -	無回答 -	100.0%	0.0%	

調査結果に対する見解

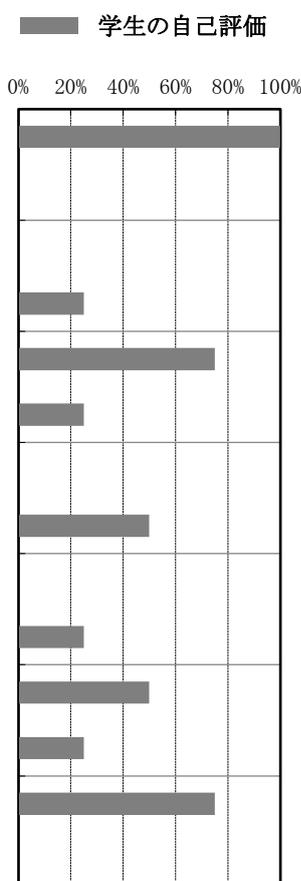
栽培活動を中心に行った。新しい知識や教養を得ることができた、社会で生かそうと思う内容が得られたかについては、100%の学生が肯定的な回答をした。将来の就職先である園や学校において、栽培活動は100%行われているが、現場の教員の実践力は低いのが現状である。栽培が好きな学生が先生として活躍し子どもたちが目を輝かせる日を楽しみにしている。なお、本授業については、グループワークを基本としている。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉田 香代子 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナールⅡ(地域こども) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 64210a 授業形態 : 演習 受講者数 : 7名 回答者数 : 4名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	-	4名	-	-	-	-	-	-	4名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと 思いますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			50.0%	50.0%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合 25.0%	
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	75.0% 25.0%	
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合 50.0%	
	5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	60分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合 25.0%	
	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	50.0% 25.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	75.0%	
			50.0%	25.0%	25.0%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

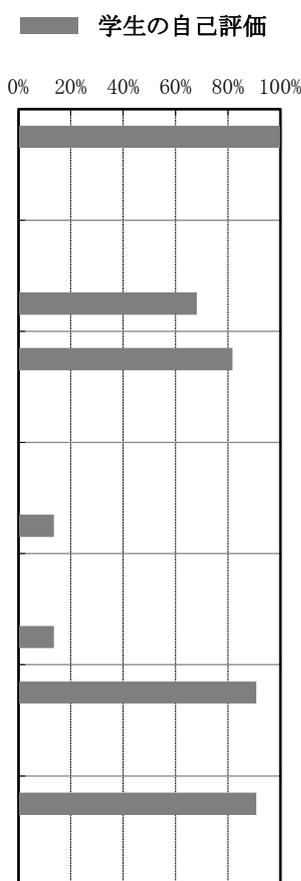
零年度に向けて、結果分析をし、零年度の対策に生かし、内容についても改善を図っていきたい

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大石 祥寛 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育実習指導 I (幼稚園) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 65116ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 59名 **回答者数** : 22名

回答者 内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	21名	-	1名	-	-	-	-	-	22名	-	-

学修 成果	評価項目	教員 の 自己 評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	100.0%	
			68.2%	31.8%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合	
			68.2%	18.2%	9.1%	-	4.5%	-	68.2%	
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	でき る だけ する	時々する	あまり し な い	全く し な い	無回答	81.8%	
			31.8%	50.0%	18.2%	-	-	-	0.0%	
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未 満	無回答	「45分程度」 以上の割合	
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	9.1%	-	4.5%	31.8%	54.5%	-	13.6%		
		90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未 満	無回答	「45分程度」 以上の割合		
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	4.5%	-	9.1%	50.0%	36.4%	-	13.6%		
		III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢 献 し な か つ た	全く 貢 献 し な か つ た	無回答
36.4%	54.5%				9.1%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思 わ な い	全く 思 わ な い	無回答	90.9%	
			54.5%	36.4%	9.1%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

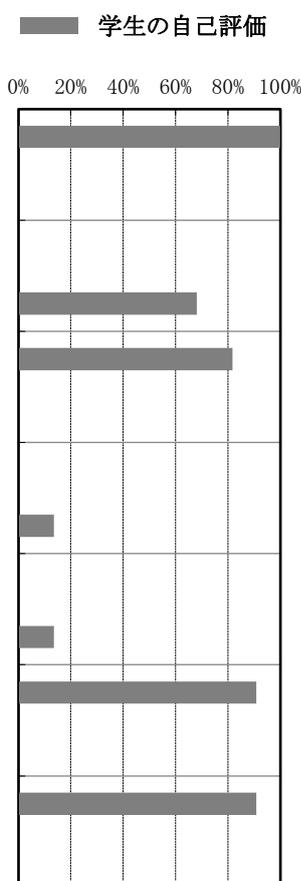
9月の幼稚園教育実習に向けて実践的な準備を行う科目であり、学修成果・到達目標の1に「1. 幼稚園における実習の意義、目的、内容、方法を理解し、実践的な準備ができる。」と定めた。授業では、教育実習の心構え、幼稚園生活の流れ、実習日誌の書き方等を学習し、映像を基に日誌を書く作業も行った。また、実習に向けて教材を作成したり、手遊びの模擬保育を実践したり、実践的な授業であった。調査の結果、「1. この授業で新しい知識や教養を得ることができましたか。」との設問に対して「そう思う」「ある程度そう思う」のどちらかを回答した学生は100%であった。また、自由記述において「実習に行くにあたって、観察の仕方を分かりやすく丁寧に教えてくださり、実習を頑張ろうという意欲につながりました。」「映像などが使用され、とても分かりやすい。」との回答を得た。このことから、本科目は、教育実習に参加する前の準備としての学修効果を感じた学生が多かったものと考えられる。しかしながら、実際の教育実習後に実習準備および授業の評価をしていないため、次年度以降の授業改善については、実習後の学生からのコメントをもとに行うべきであろう。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉田 香代子 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 教育実習指導 I (幼稚園) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 65116ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 59名 回答者数 : 22名

回答者内訳	学年				学科・コース						
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	21名	-	1名	-	-	-	-	-	22名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	100.0%	
			68.2%	31.8%	-	-	-	-	0.0%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	できるだけする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	68.2%	18.2%	9.1%	-	4.5%	-	68.2%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	81.8%	
	0.0%	31.8%	50.0%	18.2%	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
9.1%	-	4.5%	31.8%	54.5%	-	13.6%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
4.5%	-	9.1%	50.0%	36.4%	-	13.6%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.9%	
0.0%	36.4%	54.5%	9.1%	-	-	-	0.0%			
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	そう思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	90.9%	
0.0%	54.5%	36.4%	9.1%	-	-	-	0.0%			



調査結果に対する見解

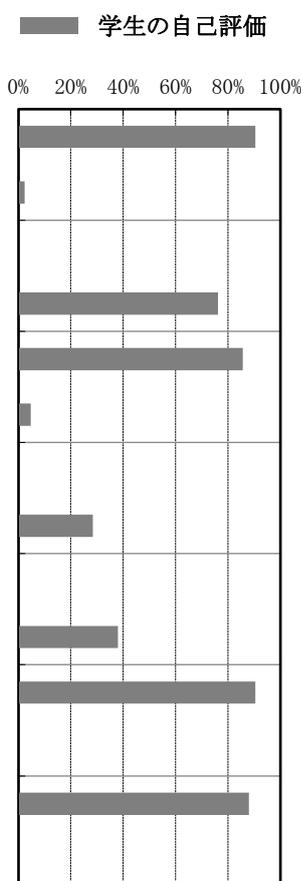
実際の保育現場で必要な知識や実技について学生たちの身につけていくように、演習の充実を図っていく

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 大石 祥寛 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育実習指導Ⅱ(幼稚園)・教育実習指導b **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 65117ab・65112 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 53名 **回答者数** : 42名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	41名	1名	-	-	-	-	42名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢						無回答	
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-		
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができたと感じていますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	90.5%	
			73.8%	16.7%	7.1%	2.4%	-	-	2.4%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	-	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	76.2%	7.1%	7.1%	-	9.5%	-	76.2%			
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	-	必ずする	できるだけする	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	85.7%	
	52.4%	33.3%	9.5%	4.8%	-	-	4.8%			
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
7.1%	9.5%	11.9%	28.6%	42.9%	-	28.5%				
5 事後学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	-	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合		
9.5%	9.5%	19.0%	28.6%	33.3%	-	38.0%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	90.5%	
			40.5%	50.0%	9.5%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができると感じていますか。	-	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	88.1%	
			71.4%	16.7%	11.9%	-	-	-	0.0%	



調査結果に対する見解

当初予定していた6月の教育実習において3週間の実習期間を通して自己の保育・教育実践力等を振り返り、自己の向上に努めることができるように、また、責任実習を自信をもってとりくむことができるように、指導案作成や模擬保育を実施した。調査の結果、「1. この授業で新しい知識や教養を得ることができましたか。」との設問に対して、「そう思う」「ある程度思う」のどちらかに回答した学生、すなわち学習効果を実感したと回答した学生は90.5%であり、自由記述では「指導案の書き方等、実習に向けて学べたので良かったです。」「実習の大切さや注意点を教えていただき、安心して実習に行くことができます。」など、ポジティブな回答が得られた。このことから、本科目は、教育実習に臨む学生の知識や実践力の向上に貢献していた可能性が考えられる。しかしながら、「1. この授業で新しい知識や教養を得ることができましたか。」との設問に対して7.1%が「どちらとも言えない」、2.4%が「あまり思わない」と学修効果をあまり感じていない回答が得られ、また、自由記述では「もう少し早くから記録簿や指導案について詳しく授業してほしい」との回答が得られたことから、他科目とも連携して指導案を作成する力をつけたり、指導案作成を行う授業の時期を検討したりすることが必要であるだろう。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 吉田 香代子 **職名** : 准教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育実習指導Ⅱ(幼稚園)・教育実習指導b **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 65117ab・65112 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 53名 **回答者数** : 42名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	-	41名	1名	-	-	-	-	-	42名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教 員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価
			回 答 選 択 肢								
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答		
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	90.5%		
			73.8%	16.7%	7.1%	2.4%	-	-	2.4%		
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	できる だけする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か らない	無回答	「欠席回数 0回」の割合		
			76.2%	7.1%	7.1%	-	9.5%	-	76.2%		
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	85.7%		
			52.4%	33.3%	9.5%	4.8%	-	-	4.8%		
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	30分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満		無回答
7.1%	9.5%	11.9%			28.6%	42.9%	-	28.5%			
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
		9.5%	9.5%	19.0%	28.6%	33.3%	-	38.0%			
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	90.5%		
			40.5%	50.0%	9.5%	-	-	-	0.0%		
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	88.1%		
			71.4%	16.7%	11.9%	-	-	-	0.0%		

調査結果に対する見解

今年度6月の実習に向けて、取り組んできたが、コロナ感染により、10月に延長になり授業の進め方も変更することがあった。学生の意見を検討し、されに改善をし実習に向けての力を受けられるようにしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 生駒 英法 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育実習指導Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 65320ab・57212 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 50名 **回答者数** : 36名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	-	36名	-	-	-	-	-	-	36名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができましたと 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	88.9%			
			77.8%	11.1%	11.1%	-	-	-	0.0%			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	-	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分か ら ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合			
			50.0%	22.2%	13.9%	5.6%	8.3%	-	50.0%			
	3 分からない事があったり 欠席したりした学生に 対応していますか。	-	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全く しない	無回答	75.0%			
			44.4%	30.6%	19.4%	2.8%	2.8%	-	5.6%			
			4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満		無回答	「45分程度」 以上の割合
11.1%	11.1%	5.6%	36.1%		36.1%	-	27.8%					
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	-	90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合				
11.1%	13.9%	8.3%	25.0%	41.7%	-	33.3%						
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	-	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献し なかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	86.2%			
55.6%	30.6%	11.1%	-	2.8%	-	2.8%						
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	-	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	86.1%			
69.4%	16.7%	11.1%	-	-	2.8%	0.0%						

調査結果に対する見解

保育実習指導Ⅱでは、模擬保育を主に進めてきた。今回学生を主体にグループで模擬保育を行ってみたが、しっかり準備をしていない学生や集中できない学生がいたため、来年度は内容を検討したい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 福鹿 慶子 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育実習指導Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 65320ab・57212 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 50名 **回答者数** : 36名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	長期履修 学生	その他	生活未来科			地域 こども 学科	日本語 教育 別科	その他	
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース				
	-	36名	-	-	-	-	-	-	36名	-	-

学 修 成 果	評価項目	教員 の 自 己 評 価	学 生 の 自 己 評 価							上段： 「5」+「4」 下段： 「1」+「2」	学生 の 自 己 評 価	
			回答選択肢									割合
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答			
I	1 学生に新しい知識や教養を 与えることができました と思いますか。	ある程度 思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	88.9%			
			77.8%	11.1%	11.1%	-	-	-	0.0%			
II	2 欠席した学生に指導をして いますか。	必ずする	欠席回数 0回	欠席回数 1回	欠席回数 2回	欠席回数 3回以上	分から ない	無回答	「欠席回数 0回」の割合			
			50.0%	22.2%	13.9%	5.6%	8.3%	-	50.0%			
	3 分からない事があつたり 欠席したりした学生に 対応していますか。	必ずする	必ずする	できる だけする	時々する	あまり しない	全くしない	無回答	75.0%			
			44.4%	30.6%	19.4%	2.8%	2.8%	-	5.6%			
			90分 以上	60分 程度	45分 程度	30分 程度	15分 未満	無回答	「45分程度」 以上の割合			
4 事前学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	11.1%	11.1%	5.6%	36.1%	36.1%	-	27.8%				
		11.1%	13.9%	8.3%	25.0%	41.7%	-	33.3%				
5 事後学習や課題を1週間で 合計どれぐらい課しましたか。	60分程度	11.1%	13.9%	8.3%	25.0%	41.7%	-	33.3%				
		11.1%	13.9%	8.3%	25.0%	41.7%	-	33.3%				
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに 配慮しましたか。	ある程度 配慮した	大いに 貢献した	ある程度 貢献した	どちらとも 言えない	あまり 貢献 しなかつた	全く 貢献 しなかつた	無回答	86.2%			
			55.6%	30.6%	11.1%	-	2.8%	-	2.8%			
IV	7 この授業の内容は社会で 活かすことができると 思いますか。	そう思う	そう 思う	ある程度 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	86.1%			
			69.4%	16.7%	11.1%	-	-	2.8%	0.0%			

調査結果に対する見解

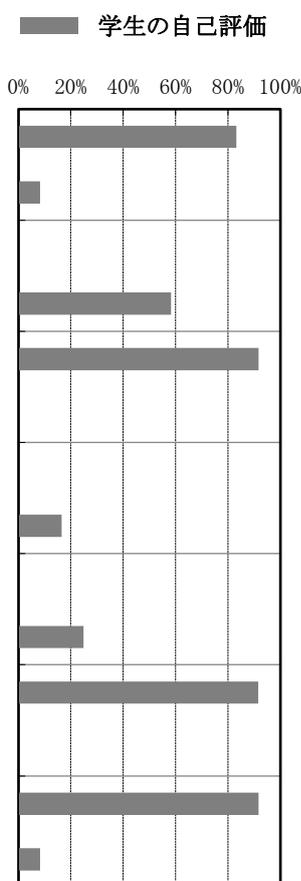
指導案の書き方や模擬保育など、学生が実習に行ったときに活かせるように一つ一つ丁寧に伝えていくことが必要だと感じる。保育技術や書くことは、今後身につくことなので、実習指導では、挨拶や掃除の仕方、謙虚な気持ちや感謝の気持ちを忘れないという基本的なことを伝えていくことが重要である。時間配分を考えながら実習前の指導として自信をもって送り出せるような授業にしていきたい。

教員による学修成果に関する調査 (2021年度 前期)

教員名 : 松本 充史 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育実習指導Ⅲ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 65340 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 13名 **回答者数** : 12名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	長期履修学生	その他	生活未来科			地域こども学科	日本語教育別科	その他
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	11名	1名	-	-	-	-	12名	-	-

学修成果	評価項目	教員の自己評価	学生の自己評価							割合
			回答選択肢							
			「5」	「4」	「3」	「2」	「1」	-	無回答	
I	1 学生に新しい知識や教養を与えることができましたか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	83.3%	
			75.0%	8.3%	8.3%	8.3%	-	-	8.3%	
II	2 欠席した学生に指導をしていますか。	必ずする	欠席回数0回	欠席回数1回	欠席回数2回	欠席回数3回以上	分からない	無回答	「欠席回数0回」の割合	
	58.3%	33.3%	8.3%	-	-	-	-	58.3%		
	3 分からない事があったり欠席したりした学生に対応していますか。	必ずする	必ずする	できるだけ	時々する	あまりしない	全くしない	無回答	91.7%	
	50.0%	41.7%	8.3%	-	-	-	-	0.0%		
	4 事前学習や課題を1週間で合計どれくらい課しましたか。	30分程度	90分以上	60分程度	45分程度	30分程度	15分未満	無回答	「45分程度」以上の割合	
-	8.3%	8.3%	8.3%	25.0%	58.3%	-	-	16.6%		
III	6 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	ある程度配慮した	大いに貢献した	ある程度貢献した	どちらとも言えない	あまり貢献しなかった	全く貢献しなかった	無回答	91.6%	
			33.3%	58.3%	8.3%	-	-	-	0.0%	
IV	7 この授業の内容は社会で活かすことができますか。	ある程度思う	そう思う	ある程度思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない	無回答	91.7%	
			66.7%	25.0%	-	8.3%	-	-	8.3%	



調査結果に対する見解

意欲の無い学生への対処として、まずは意欲が駆り立てられるような授業を実施していかなければならないと感じています。保育実習Ⅰ（施設）や、相談援助実習で既習した部分も取り上げていたので見直しを行いたいと思います。もっと魅力ある授業を実施していけるよう教材研究に努めてまいります。